

1 総合基礎教育科目 (三学科共通)

総合基礎教育科目

科目名	頁
心理学	1
教育学	3
哲学	6
自然科学	10
自然科学演習	17
数学	23
統計学	30
環境学<放送大学>	33
生命倫理学	47
スポーツ学	49
経済学	52
社会学	55
政治学	58
国際関係論	66
人間関係・コミュニケーション論	74
文章表現法	77
文学<放送大学>	83
文化人類学	91
宗教学	94
英語Ⅰ	98
英語Ⅱ	101
英語プレゼンテーション	104
英語表現法Ⅰ	107
英語表現法Ⅱ	116
医療英会話	122
実践英語	127
韓国語	133
中国語	137
アカデミックリテラシー	139
情報科学・情報リテラシー	141
問題解決思考<放送大学>	143
地元(やまがた)探求Ⅰ	147
地元(やまがた)探求Ⅱ	149

授業科目	心理学	科目英語表記	Psychology
職名、担当教員氏名	非常勤講師 志水 貴紀 非常勤講師 佐竹 真次		
科目責任者氏名	志水 貴紀		
学内連絡教員氏名	安保寛明：研究室15 hambo@yachts.ac.jp		
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択
授業形態	講義	開講時期	前期
		単位数	2単位
授業概要	心理学は学習心理学や教育心理学、認知心理学等のさまざまな分野に発展的に分岐しているが、この科目ではそれらの基本となる基礎心理学（一般心理学）を概論する。しかし、単に理論を講じるだけではなく、人間の心理や行動に関する具体的ケースを提示し、実質的な理解を深める。なお、本講義の第5回から、第11回はオンデマンド動画配信による講義となる。		
到達目標	到達目標1：心理学における基礎的知識を理解して述べることができる。 到達目標2：心理学の知識を使った手法を用いることができる。 到達目標3：心理的諸機能を理解し、社会、他者とのかかわりを学ぶ。		
成績評価方法	授業参加度：毎回、ミニッツペーパーなどを使用。ミニッツペーパーの内容、および、授業中の発言、質問などの授業参加度に応じて、評価します。(30点) 到達目標3を評価 理解度チェック（試験等）：(70点) 到達目標1, 2を評価		
成績評価基準	特に優れている；心理学の基礎的知識、手法を十分に理解できていて、社会、他者とのかかわりを学ぶことができている。 優れている；心理学の基礎的知識、手法を十分に理解できている。 良好である；心理学の基礎的知識、手法を基本的に理解できている。 最低限の到達；心理学の基礎的知識、またはその手法の、どちらかの理解が不十分である。 目標に到達していない；心理学の基礎的知識、手法もどちらも理解ができていない。		

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	心理学の意義と方法	公共性、反復性、体系性等	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
2	学習	三項随伴性、弁別、強化、般化等	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
3	行動	オペラントとレスポナント等	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
4	カウンセリング	カウンセリングスキル、非言語的手法	講義、演習	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
5	感覚	モダリティの決定因、刺激閾、弁別閾	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
6	知覚・認知	図と地、群化の要因等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
7	記憶	記銘、保持、検索等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
8	情動	感情、情動発生の主要なモデル	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
9	動機づけ	動機と葛藤と行動等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
10	言語・概念・思考	失語症、概念学習、思考の発達等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習	佐竹

				しておく。	
11	知能・パーソナリティ	知能テスト、パーソナリティ・テスト等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
12	集団と人間関係	偏見、リーダーシップ理論等	オンデマンド動画配信講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	佐竹
13	発達	発達の定義・段階、発達の障がい	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
14	心理アセスメント	心理アセスメント、心理療法等	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水
15	総まとめ	これまでの学習の検討	講義	各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。	志水

日付

6.4. 8 (月) 4
6.4.15 (月) 4
6.4.22 (月) 4
6.5.13 (月) 4
6.5.20 (月) 4
6.5.27 (月) 4
6.6. 3 (月) 4
6.6.10 (月) 4
6.6.17 (月) 4
6.6.24 (月) 4
6.7. 1 (月) 4
6.7. 8 (月) 4
6.7.22 (月) 4
6.7.22 (月) 5
6.7.29 (月) 4

教科書	教科書：内山靖・藤井浩美・立石雅子（編）リハベーシック 心理学・臨床心理学（医歯薬出版）
参考書	参考図書：Smith,E.E.（著）内田一成（監訳）ヒルガードの心理学（ブレーン出版） 大川一郎ら（編著）医療現場で役立つ心理学（ミネルヴァ書房）
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学1／理学5／作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教務学生課
備考	第1回から第4回、第12回から第15回は、通常講義形式で、志水が対面で講義。 第5回から第11回は、オンデマンド動画配信方式で、佐竹先生が担当する。 オンデマンド形式の授業であっても質問は受け付ける。

授業科目	教育学	科目英語表記	Pedagogy		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 渡邊 誠一				
科目責任者氏名	渡邊 誠一				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	<p>①古代ギリシア、中世キリスト教全盛期、ルネサンス期、近代において身体がどのように考えられてきたか、身体観の歴史の変遷、およびその身体を鍛錬するその目的の歴史の変遷について解説する。</p> <p>②近代の教育思想家の感覚、身体の活動、その具体的な活動としての労作・労働を活用した教育論を解説する。</p> <p>③普段の生活の教育的意義に注目したキャリア教育の職業教育上の意義について解説する。</p>				
到達目標	<p>①各教育論（方法論と目的論）を、その根拠となる感覚論、身体論などと関連づけて説明できる。</p> <p>②各教育思想家の教育論の特徴を理解した上で、その有効性について自分の考えを論理的に説明できる。</p> <p>③他者の考えを柔軟に受け入れ、話し合うことができる。</p>				
成績評価方法	<p>(1) 到達目標①②③の評価方法：復習小テストと授業への参加態度 70%</p> <p>(2) 到達目標①②の評価方法：レポート 30%</p>				
成績評価基準	<p>(1) の評価基準</p> <p>特に優れている：授業内容を的確に理解し、他者の考えも柔軟に理解受容した上で自分の考えを表明している。</p> <p>優れている：授業内容を的確に理解し、自分の考えを積極的に表明している。</p> <p>良好である：授業内容を理解し、自分の考えを表明している。</p> <p>最低限の到達：授業内容の理解に若干問題があるが、疑問点を積極的に述べている。</p> <p>目標を達成していない：授業内容の理解が不十分なので、自分の考えも表明できない。</p> <p>(2) の評価基準</p> <p>特に優れている：授業内容を的確に理解し、各教育論の有効性を比較考量し、自分の考えをしっかりと論述している。</p> <p>優れている：授業内容を的確に理解し、各教育論の有効性について論理的に記している。</p> <p>良好である：授業内容を理解し、各教育論の有効性を簡潔に論述している。</p> <p>最低限の到達：授業内容の理解に若干問題があるが、一部の教育論の有効性は論述している。</p> <p>目標を達成していない：授業内容の理解が不十分なので、自分の考えを論述できていない。</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	理学療法、作業療法の定義	身体の活動と脳の知的・精神的発達との関係	演習	復習；配付したプリントを通して理学療法士協会・作業療法士協会が規定した定義を整理しておく。	渡邊
2	古代ギリシアの人間観、特に肉体論	古代ギリシアの市民育成としての身体(body)鍛錬	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習した古代の人間観に基づく人間観、特に肉体論に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
3	中世キリスト教の肉体論	中世の肉体(flesh)観とむち打ちによる教育	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習した中世の人間観、特に肉体観に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
4	ルネサンス期の感覚論	感覚重視の思潮と感覚を活用した教育法	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したルネサンス期の感覚論に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
5	ロックの認識論	「健康な身体に健全な精神が宿る」の背景	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したロックの人間観や認識論に基づく教育論をまとめておく。	渡邊

6	ルソーの発達段階論	人間修行としての指物師(職人)修業による教育	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したルソーの人間観・発達観に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
7	ベスタロッチの認識論	実物教授(直観教授)法による事物・社会認識の教育	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したベスタロッチの真理観や認識論に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
8	フレーベルの遊戯観	遊び(自己表現活動)による全面発達の教育論	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したフレーベル遊戯観・発達観に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
9	ケルシェンシュタイナーの作業観	労作教育による公民教育	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したケルシェンシュタイナーの作業観に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
10	デューイのコミュニティー論	コミュニティー化した学校での生活による教育	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したデューイの発達観やコミュニティー論に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
11	モンテッソーリの感覚論	感覚教育を通しての知的教育	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したモンテッソーリの感覚観に基づく教育論をまとめておく。	渡邊
12	クループスカヤの総合技術教育論	労働と教育を結合させた社会主義教育論	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習したクループスカヤの労働観に基づく総合技術教育論をまとめておく。	渡邊
13	学習理論	行動主義の学習理論と認知理論に基づく学習理論	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して学習した代表的な学習理論とそれを応用した学習意欲の喚起の方法をまとめておく。	渡邊
14	キャリア教育	職業・社会的自立を意図した新しいキャリア教育	演習	復習；配付したプリントや授業中の意見交換を通して社会的・職業的自立に大きな役割が期待されるキャリア教育とその日常生活との関連について整理しておく。	渡邊
15	いろいろな感覚の活動や身体活動や労働の発達論	感覚活動・身体活動・労働の発達に果たす役割	演習	復習；授業のまとめとして教育思想家が提唱してきた教育論の特徴・長短を比較考量し、各自自分なりの教育論をレポートにまとめる。	渡邊

日付

6. 4.12 (金) 4
6. 4.19 (金) 4
6. 4.26 (金) 4
6. 5.10 (金) 4
6. 5.17 (金) 4
6. 5.24 (金) 4
6. 5.31 (金) 4
6. 6.14 (金) 4
6. 6.21 (金) 4
6. 6.28 (金) 4
6. 7. 5 (金) 4
6. 7.12 (金) 4
6. 7.19 (金) 4

6. 7.24 (水) 4

6. 7.26 (金) 4

教科書	教科書は、特に使用しない。授業資料は、毎回プリントして配付する。
参考書	参考書は、『系統看護学講座 教育学』（医学書院）新井保幸編著『教育基礎学』（培風館）
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学1／理学5／作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	渡邊誠一：seiichi48@kxe.biglobe.ne.jp
備考	

授業科目	哲学	科目英語表記	Philosophy
職名、担当教員氏名	非常勤講師 小原 拓磨		
科目責任者氏名	小原 拓磨		
学内連絡教員氏名			
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択
授業形態	講義	開講時期	後期
		単位数	2単位
授業概要	哲学の問題や諸主題について、資料の解説後、受講者同士で議論してもらおう。これによって、「哲学的に考える」「哲学をする」とはどんなことなのかを実際に体験してもらおう。また、自分と異なる視点に触れることで自己反省を促し、自分の価値観と他者の価値観を客観的かつ公正に観察できるようになることを目標とする。		
到達目標	①哲学的な諸主題についての基本的な考え方を習得できる。 ②言葉ならびに文章を丁寧に読み解き、その真意を正確に把握できるようになる。 ③自分の考えや意見を適切に表現できる。 ④他者の考えや意見を誠実に聴き、理解し、自分と異なるものであっても尊重できるようになる。		
成績評価方法	議論での積極性（40%）、テキストの理解度（30%）、授業後のコメントペーパーへの記述内容（30%）をあわせて評価する。		
成績評価基準	<p>到達目標①哲学的な諸主題についての基本的な考え方を習得できる。</p> <p>A：前回までの授業で扱った問題や知識を当日の議論で適切な仕方では使える。 B：前回までの授業で扱った問題や知識と当日の議論のテーマとのつながりに気づける。 C：前回までの授業で扱った問題や知識を説明できる。 D：前回までの授業で扱った問題や知識をプリントやノートを使って説明できる。 F：前回までの授業で扱った問題や知識を説明できない。</p> <p>到達目標②言葉ならびに文章を丁寧に読み解き、その真意を正確に把握できるようになる。</p> <p>A：テキストの文脈をふまえて、段落全体の文意を正確に説明できる。 B：テキストの文脈をふまえて、各文の意味を正確に説明できる。 C：前後の文にそくして文の意味を説明できる。 D：前後の文にそくして文の意味を推測できる。 F：文脈を無視して文意を憶測で述べている。</p> <p>到達目標③自分の考えや意見を適切に表現できる。</p> <p>A：適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる。 B：根拠をふまえて論理的に説明できる。 C：根拠をもちいて、ある程度論理的に説明できる。 D：論理的に説明しようと努力している。 F：表現や説明が論理的でない。</p> <p>到達目標④他者の考えや意見を誠実に聴き、理解し、自分と異なるものであっても尊重できるようになる。</p> <p>A：他者の発言を理解し、その要点をおさえてまとめることができ、さらには自分の意見との異同を表現できる。 B：他者の発言を理解し、その要点をおさえてまとめることができる。 C：他者の発言を理解し、自分の意見と違っているかいないか気づける。 D：他者の発言を理解できる。 F：他者の発言を聴いていない、もしくは誤解している。</p>		

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	イントロダクション	前半は「哲学」という学問の簡単な解説と、本授業全体の概要。後半は次回以降の授業の導入と実践。	前半は資料を使って説明します。後半はグループ討論のさいの注意点を示し、実際に演習をおこなってもらいます。	授業前：不要 授業後：前半の解説と後半の演習をふまえて、履修を検討する。	小原
2	自由（1）	「自由」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくす	小原

				るために必要な点をおさえておく。	
3	自由 (2)	「自由」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
4	神 (1)	「神」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
5	神 (2)	「神」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
6	愛 (1)	「愛」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
7	愛 (2)	「愛」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
8	道徳 (1)	「道徳」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
9	道徳 (2)	「道徳」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
10	死 (1)	「死」について書かれたテキストを全体で確認し、その内	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。	小原

		容についてグループで討論する。	終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	
11	死（2）	「死」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
12	人間（1）	「人間」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
13	人間（2）	「人間」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
14	看護（1）	「看護」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原
15	看護（2）	「看護」について書かれたテキストを全体で確認し、その内容についてグループで討論する。	提示する問いに従って、テキストの解釈をグループで検討してもらいます。 終了前に、今回の議論で学んだことや発見したこと等をコメントペーパーに記述し、提出してもらいます。	授業前：配付された資料を読み、自分なりの解釈を準備しておく。 授業後：扱ったテキストの要点を再確認する。議論時の自身の態度や発言を振り返って、次回の議論をよりよくするために必要な点をおさえておく。	小原

日付

6. 9.27（金）2
6.10. 4（金）2
6.10.11（金）2
6.10.18（金）2
6.10.25（金）2
6.11. 1（金）2
6.11. 8（金）2
6.11.15（金）2
6.11.22（金）2
6.12. 6（金）2
6.12.13（金）2
6.12.20（金）2
7. 1.10（金）2
7. 1.17（金）2
7. 1.24（金）2

教科書	毎回、資料を配布します。
参考書	A・コント＝スポンヴィル『哲学はこんなふう』河出文庫
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護1／理学1／理学5／作業4／作業5
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	小原拓磨：e1141208@g.tohoku-gakuin.ac.jp
備考	グループ討論がメインの授業になりますので、参加者ひとりひとりに意見を述べてもらうことになります。自分の向き不向きをよく考えながら、履修を検討してください。

授業科目	自然科学	科目英語表記	Natural science		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 遠藤 龍介 (物理) 官 宏 (化学) 菱沼 佑 (生物)				
科目責任者氏名	遠藤 龍介				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	看・理－必修 作 業－選 択		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	周囲で起こっている科学現象や生命現象を正しく理解する上で必要な物理・化学・生物の基本的原理を、具体的な例や実験を提示しながら講義する。高校での選択科目の違いによって講義の理解度に差が生じない様に、随時復習を行いながら授業を進める。				
到達目標	(物理) 日常の中で接する物理現象に関係する概念や背後にある物理法則を理解し、説明できる。 (化学) 物質の性質や反応について理解を深め、身の回りの現象を科学的に考えることができる。 (生物) 生物到達目標1：生物の最小単位である細胞の構造や機能、代謝、増殖のしくみを理解し、生命の本質を説明できる。 生物到達目標2：日常生活で接する生命現象のいくつかについて、適切な用語を用いて細胞レベルで説明することができる。 生物到達目標3：生物の進化について、細胞レベルでその概略を述べるることができる。				
成績評価方法	(物理) 授業参加度20% 毎回のレポート課題80% (化学) 授業参加度20% 毎回のレポート課題80% (生物) 授業への参加度20% 課題レポート40% 試験40% 到達目標1, 2, 3				
成績評価基準	(物理) 到達目標：日常の物理現象に関係する物理法則や概念を理解し、説明できる。 特に優れている：定性的にも定量的にも理解しており、実際の現象に即した説明ができる。 優れている：定性的に理解しており、実際の現象に即した説明ができる。 良好である：考えている物理現象に関係する物理法則・概念をつかった計算ができる。 最低限の到達：考えている物理現象に関係する物理法則・概念が何かを言える。 到達していない：考えている物理現象に関係する物理法則・概念が何か言えない。 (化学) 到達目標：日常の化学現象に関係する化学法則や概念を理解し、説明できる。 特に優れている：定性的にも定量的にも理解しており、実際の現象に即した説明ができる。 優れている：定性的に理解しており、実際の現象に即した説明ができる。 良好である：考えている化学現象に関係する化学法則・概念をつかった計算ができる。 最低限の到達：考えている化学現象に関係する化学法則・概念が何かを言える。 到達していない：考えている化学現象に関係する化学法則・概念が何か言えない。 (生物) 到達目標：細胞進化の事実、細胞の構造や代謝活動、細胞分裂を理解し、様々な生命現象を具体的に説明できる。 特に優れている：細胞の進化の事実、細胞の構造や機能との関係を十分理解し、様々な生命現象と細胞構造や反応経路等の関係を適切な用語を用いて具体的に説明ができる。 優れている：細胞進化の事実、細胞の構造や機能との関係を理解し、生命現象と細胞構造や反応経路等の関係を具体例を挙げて相応の説明ができる。 良好である：細胞進化の事実、細胞の構造や機能との関係を理解し、生命現象と細胞構造や反応経路等の関係を大略的に説明ができる。 最低限の到達：細胞進化や生命現象を細胞構造の特徴や反応経路等と関連させ、ある程度適切な用語を使用して、おおよそ説明ができる。 到達していない：細胞進化や生命現象を細胞構造の特徴や反応経路等と関連させ、用語を適切に用いて説明ができない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	(物理①) 運動と力 (化学) 物質の構成 (生物③) 生命の特徴 原核細胞と真核細胞 共生説 細胞小器官の構造と機能	(物理) 物理量の種類と単位 力のつり合いと作用反作用 運動の表し方 (化学) 原子 イオン (生物) 生命の特徴とは何か、細胞の特性との関係について論ずる。また細胞には原	(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントと	物理 授業で出された課題のレポートを作成する。 化学 授業で課したレポートを作成する。 生物 講義資料や各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある	(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼

		核細胞と真核細胞の2種類があり、進化の過程で原核細胞から細胞内共生により真核細胞は生じたと考えられ、特徴的な構造と機能を持つ細胞小器官であるミトコンドリアや葉緑体は原核細胞に由来することをいくつかの事実をもとに理解する。またこれら以外の細胞小器官の構造や機能の概略を学ぶ。授業はパワーポイントとその講義資料を使って授業を行う。	なる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (生物) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。	課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第2章原形質膜の構造と機能などを読み予習する。	
2	(物理①) 仕事とエネルギー (化学) 物質の変化① (生物③) 細胞膜(生体膜)の重要性 生体膜の基本構造と特性 流動モザイクモデル 物質輸送のしくみ	(物理) 運動の法則 仕事とエネルギー、力学的エネルギー保存の法則 (化学) 物質質量 化学反応式 (生物) 細胞膜(生体膜)は重要な生命現象に関与し、生命の存在に不可欠であることを論ずる。細胞膜(生体膜)はリン脂質二重層や膜タンパク質などからなる流動性のある構造体で、生体膜は様々な機能を持つが、その一つに物質の輸送があり、細胞内環境の保持やエネルギー生産等に関係していることを学ぶ。この物質輸送には受動輸送や能動輸送以外に二次能動輸送などのしくみがあることを学習する。	(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。	物理 授業で出された課題のレポートを作成する。 生物 講義資料や生物資料、各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第3章細胞呼吸などを読み予習する。	(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼
3	(物理①) 熱とエネルギー (化学) 物質の状態 (生物③) 細胞呼吸 ミトコンドリア 解糖系 クエン酸回路 電子伝達系 電気化学的勾配	(物理) 熱とエネルギー、熱まで含めたエネルギーの保存法則 (化学) 溶液の性質 (生物) 細胞呼吸とは何か、ミトコンドリアにおけるATP合成のしくみと関連して論ずる。生体エネルギーであるATPは細胞質ゾルにある解糖系、ミトコンドリア内にあるクエン酸回路、電子伝達系などを介して進行する酸化還元反応であることを学ぶ。多量のATPは電気化学的勾配を利用した酸化的リン酸化により生じるが、ミトコンドリアには、熱発生や炭素代謝の中核としての役割もあることを理解する。	(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。	物理 授業で出された課題のレポートを作成する。 化学 授業で課したレポートを作成する。 生物 講義資料や生物資料、各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第4章光合成などを読み予習する。	(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼
4	(物理①) 波動 (化学) 物質の変化② (生物③) 光合成と葉緑体 光化学反応 カルビン回路 ルビスコ(Rubisco) C4光合成	(物理) 波の諸量(波長、振動数、周期、速さ) 縦波と横波 波の重ね合わせ 音の性質 (化学) 酸と塩基 (生物) 光合成は植物体にある葉緑体で生じる反応であり、地球上の生命の存在において極めて重要な反応であることを学ぶ。光エネルギーはチラコイドにおける光化学反応により化学エネルギーに変	(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。	物理 授業で出された課題のレポートを作成する。 生物 講義資料や生物資料、各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第5章細胞増殖などを読み予習する。	(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼

		<p>換され、そのエネルギーを利用して気孔から取り入れたCO₂や根から吸収した水を材料にカルビン回路で炭素3つからなる有機物（C₃化合物）が合成されることを学習する。しかし大気中のCO₂の固定にはルビスコ(Rubisco)以外の酵素が関わる植物が存在し、そのような植物では初期光合成産物は炭素4つからなる有機物（C₄化合物）を合成する光合成（C₄光合成）が行われることを理解する。</p>	<p>(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p>		
5	<p>(物理①) 電気と磁気</p> <p>(化学) 有機化学</p> <p>(生物③) 細胞分裂の重要性 細胞分裂過程 前中期 動原体 微小管 細胞周期の制御機構 サイクリンとCdk</p>	<p>(物理) 静電気・静電場・電位 ジュール熱 電流と磁場の関係</p> <p>(化学) 有機化合物</p> <p>(生物) 細胞分裂は個体の発生や成長、生体組織の更新等において重要な機能であり、この分裂過程とその制御のしくみについて論じる。細胞分裂は分裂期に出現する染色体構造や紡錘体の変化を伴いながら進行するが、それは分裂期とよばれる細胞周期の一時期にすぎず、間期という分裂の準備が進行する時期に多くの時間を費やすことを理解する。この細胞周期の進行はサイクリンという制御因子とCdkという2つのタンパク質により制御されていることを学ぶ。</p>	<p>(物理) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(化学) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p>	<p>物理 授業で出された課題のレポートを作成する。</p> <p>生物 講義資料や各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については質問する。</p>	<p>(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼</p>
6	<p>(物理③) 運動と力</p> <p>(化学) 物質の構成</p> <p>(生物②) 生命の特徴 原核細胞と真核細胞 共生説 細胞小器官の構造と機能</p>	<p>(物理) 物理量の種類と単位のつり合いと作用反作用運動の表し方</p> <p>(化学) 原子 イオン</p> <p>(生物) 生命の特徴とは何か、細胞の特性との関係について論ずる。また細胞には原核細胞と真核細胞の2種類があり、進化の過程で原核細胞から細胞内共生により真核細胞は生じたと考えられ、特徴的な構造と機能を持つ細胞小器官であるミトコンドリアや葉緑体は原核細胞に由来することをいくつかの事実をもとに理解する。またこれら以外の細胞小器官の構造や機能の概略を学ぶ。</p>	<p>(物理) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(化学) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p>	<p>物理 授業で出された課題のレポートを作成する。</p> <p>化学 授業で課したレポートを作成する。</p> <p>生物 講義資料や各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第2章原形質膜の構造と機能などを読み予習する。</p>	<p>(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼</p>
7	<p>(物理③) 仕事とエネルギー</p> <p>(化学) 物質の変化①</p> <p>(生物②) 細胞膜 (生体膜) の重要性 生体膜の基本構造と特性 流動モザイクモデル 物質輸送のしくみ</p>	<p>(物理) 運動の法則 仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存の法則</p> <p>(化学) 物質質量 化学反応式</p> <p>(生物) 細胞膜 (生体膜) は重要な生命現象に関与し、生命の存在に不可欠であることを論ずる。細胞膜 (生体膜) はリン脂質二重層や膜タンパク質などからなる流動性のある構造体で、生体膜は様々な</p>	<p>(物理) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(化学) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p>	<p>物理 授業で出された課題のレポートを作成する。</p> <p>生物 講義資料や生物資料、各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第3章細胞呼吸などを読み予習する。</p>	<p>(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼</p>

		機能を持つが、その一つに物質の輸送があり、細胞内環境の保持やエネルギー生産等に関係していることを学ぶ。この物質輸送には受動輸送や能動輸送以外に二次能動輸送などのしくみがあることを学習する。	(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。		
8	(物理③) 熱とエネルギー (化学) 物質の状態 (生物②) 細胞呼吸 ミトコンドリア 解糖系 クエン酸回路 電子伝達系 電気化学的勾配	(物理) 熱とエネルギー、熱まで含めたエネルギーの保存法則 (化学) 溶液の性質 (生物) 細胞呼吸とは何か、ミトコンドリアにおけるATP合成のしくみと関連して論ずる。生体エネルギーであるATPは細胞質ゾルにある解糖系、ミトコンドリア内にあるクエン酸回路、電子伝達系などを介して進行する酸化還元反応であることを学ぶ。多量のATPは電気化学的勾配を利用した酸化的リン酸化により生じるが、ミトコンドリアには、熱発生や炭素代謝の中核としての役割もあることを理解する。	(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。	物理 授業で出された課題のレポートを作成する。 化学 授業で課したレポートを作成する。 生物 講義資料や生物資料、各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第4章光合成などを読み予習する。	(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼
9	(物理③) 波動 (化学) 物質の変化② (生物②) 光合成と葉緑体 光化学反応 カルビン回路 ルビスコ(Rubisco) C4光合成	(物理) 波の諸量(波長、振動数、周期、速さ) 縦波と横波 波の重ね合わせ 音の性質 (化学) 酸と塩基 (生物) 光合成は植物体にある葉緑体で生じる反応であり、地球上の生命の存在において極めて重要な反応であることを学ぶ。光エネルギーはチラコイドにおける光化学反応により化学エネルギーに変換され、そのエネルギーを利用して気孔から取り入れたCO ₂ や根から吸収した水を材料にカルビン回路で炭素3つからなる有機物(C ₃ 化合物)が合成されることを学習する。しかし大気中のCO ₂ の固定にはルビスコ(Rubisco)以外の酵素が関わる植物が存在し、そのような植物では初期光合成産物は炭素4つからなる有機物(C ₄ 化合物)を合成する光合成(C ₄ 光合成)が行われることを理解する。	(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。	物理 授業で出された課題のレポートを作成する。 生物 講義資料や生物資料、各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第5章細胞増殖などを読み予習する。	(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼
10	(物理③) 電気と磁気 (化学) 有機化学 (生物②) 細胞分裂の重要性 細胞分裂過程 前中期 動物原体微小管 細胞周期の制御機構 サイクリンとCdk	(物理) 静電気・静電場・電位 ジュール熱 電流と磁場の関係 (化学) 有機化合物 (生物) 細胞分裂は個体の発生や成長、生体組織の更新等において重要な機能であり、この分裂過程とその制御のしくみについて論じる。細胞分裂は分裂期に出現する染色体構造や紡錘体の変化を伴いながら進行するが、それは分裂期とよばれる細胞周期の一時	(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。 (生物) 講義やスライドの説	物理 授業で出された課題のレポートを作成する。 生物 講義資料や各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については質問する。	(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼

		<p>期にすぎず、間期という分裂の準備が進行する時期に多くの時間を費やすことを理解する。この細胞周期の進行はサイクリンという制御因子とCdkという2つのタンパク質により制御されていることを学ぶ。</p>	<p>明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p>		
11	<p>(物理②) 運動と力</p> <p>(化学) 物質の構成</p> <p>(生物①) 生命の特徴 原核細胞と真核細胞 共生説 細胞小器官の構造と機能</p>	<p>(物理) 物理量の種類と単位力のつり合いと作用反作用運動の表し方</p> <p>(化学) 原子 イオン</p> <p>(生物) 生命の特徴とは何か、細胞の特性との関係について論ずる。また細胞には原核細胞と真核細胞の2種類があり、進化の過程で原核細胞から細胞内共生により真核細胞は生じたと考えられ、特徴的な構造と機能を持つ細胞小器官であるミトコンドリアや葉緑体は原核細胞に由来することをいくつかの事実をもとに理解する。またこれら以外の細胞小器官の構造や機能の概略を学ぶ。</p>	<p>(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p>	<p>物理 授業で出された課題のレポートを作成する。</p> <p>化学 授業で課したレポートを作成する。</p> <p>生物 講義資料や各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第2章原形質膜の構造と機能などを読み予習する。</p>	<p>(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼</p>
12	<p>(物理②) 仕事とエネルギー</p> <p>(化学) 物質の変化①</p> <p>(生物①) 細胞膜 (生体膜) の重要性 生体膜の基本構造と特性 流動モザイクモデル 物質輸送のしくみ</p>	<p>(物理) 運動の法則 仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存の法則</p> <p>(化学) 物質質量 化学反応式</p> <p>(生物) 細胞膜 (生体膜) は重要な生命現象に関与し、生命の存在に不可欠であることを論ずる。細胞膜 (生体膜) はリン脂質二重層や膜タンパク質などからなる流動性のある構造体で、生体膜は様々な機能を持つが、その一つに物質の輸送があり、細胞内環境の保持やエネルギー生産等に関係していることを学ぶ。この物質輸送には受動輸送や能動輸送以外に二次能動輸送などのしくみがあることを学習する。</p>	<p>(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p>	<p>物理 授業で出された課題のレポートを作成する。</p> <p>生物 講義資料や生物資料、各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第3章細胞呼吸などを読み予習する。</p>	<p>(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼</p>
13	<p>(物理②) 熱とエネルギー</p> <p>(化学) 物質の状態</p> <p>(生物①) 細胞呼吸 ミトコンドリア 解糖系 クエン酸回路 電子伝達系 電気化学的勾配</p>	<p>(物理) 熱とエネルギー、熱まで含めたエネルギーの保存法則</p> <p>(化学) 溶液の性質</p> <p>(生物) 細胞呼吸とは何か、ミトコンドリアにおけるATP合成のしくみと関連して論ずる。生体エネルギーであるATPは細胞質ゾルにある解糖系、ミトコンドリア内にあるクエン酸回路、電子伝達系などを介して進行する酸化還元反応であることを学ぶ。多量のATPは電気化学的勾配を利用した酸化的リン酸化により生じるが、ミトコンドリアには、熱発生や炭素代謝の中核としての役割もあることを理</p>	<p>(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(化学) 講義やスライドの説明を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p> <p>(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら、ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り、疑問点などについては適宜質問する。</p>	<p>物理 授業で出された課題のレポートを作成する。</p> <p>化学 授業で課したレポートを作成する。</p> <p>生物 講義資料や生物資料、各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する。また講義資料にある課題を解き、授業内容の理解を深め、理解不十分な点については授業にて質問する。次回の講義のために講義資料や生物資料第4章光合成などを読み予習する。</p>	<p>(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼</p>

		解する.			
14	<p>(物理②) 波動</p> <p>(化学) 物質の変化②</p> <p>(生物①) 光合成と葉緑体 光化学反応 カルビン回路 ルビスコ(Rubisco) C4光合成</p>	<p>(物理) 波の諸量(波長, 振動数, 周期, 速さ) 縦波と横波 波の重ね合わせ 音の性質</p> <p>(化学) 酸と塩基</p> <p>(生物) 光合成は植物体にある葉緑体で生じる反応であり, 地球上の生命の存在において極めて重要な反応であることを学ぶ. 光エネルギーはチラコイドにおける光化学反応により化学エネルギーに変換され, そのエネルギーを利用して気孔から取り入れたCO₂や根から吸収した水を材料にカルビン回路で炭素3つからなる有機物(C3化合物)が合成されることを学習する. しかし大気中のCO₂の固定にはルビスコ(Rubisco)以外の酵素が関わる植物が存在し, そのような植物では初期光合成産物は炭素4つからなる有機物(C4化合物)を合成する光合成(C4光合成)が行われることを理解する.</p>	<p>(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら, ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り, 疑問点などについては適宜質問する.</p> <p>(化学) 講義やスライドの説明を聴きながら, ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り, 疑問点などについては適宜質問する.</p> <p>(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら, ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り, 疑問点などについては適宜質問する.</p>	<p>物理 授業で出された課題のレポートを作成する.</p> <p>生物 講義資料や生物資料, 各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する. また講義資料にある課題を解き, 授業内容の理解を深め, 理解不十分な点については授業にて質問する. 次回の講義のために講義資料や生物資料第5章細胞増殖などを読み予習する.</p>	<p>(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼</p>
15	<p>(物理②) 電気と磁気</p> <p>(化学) 有機化学</p> <p>(生物①) 細胞分裂の重要性 細胞分裂過程 前中期 動原体微小管 細胞周期の制御機構 サイクリンとCdk</p>	<p>(物理) 静電気・静電場・電位 ジュール熱 電流と磁場の関係</p> <p>(化学) 有機化合物</p> <p>(生物) 細胞分裂は個体の発生や成長, 生体組織の更新等において重要な機能であり, この分裂過程とその制御のしくみについて論じる. 細胞分裂は分裂期に出現する染色体構造や紡錘体の変化を伴いながら進行するが, それは分裂期とよばれる細胞周期の一時期にすぎず, 間期という分裂の準備が進行する時期に多くの時間を費やすことを理解する. この細胞周期の進行はサイクリンという制御因子とCdkという2つのタンパク質により制御されていることを学ぶ.</p>	<p>(物理) 講義やスライドの説明を聴きながら, ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り, 疑問点などについては適宜質問する.</p> <p>(化学) 講義やスライドの説明を聴きながら, ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り, 疑問点などについては適宜質問する.</p> <p>(生物) 講義やスライドの説明等を聴きながら, ポイントとなる事柄等について講義資料や講義ノートにメモを取り, 疑問点などについては適宜質問する.</p>	<p>物理 授業で出された課題のレポートを作成する.</p> <p>生物 講義資料や各自の講義ノートをもとに講義内容を整理する. また講義資料にある課題を解き, 授業内容の理解を深め, 理解不十分な点については質問する.</p>	<p>(物理)遠藤 (化学)官 (生物)菱沼</p>

日付

- 6. 4. 9 (火) 3
- 6. 4.16 (火) 3
- 6. 4.23 (火) 3
- 6. 4.30 (火) 3
- 6. 5. 7 (火) 3
- 6. 5.14 (火) 3
- 6. 5.21 (火) 3
- 6. 5.28 (火) 3
- 6. 6. 4 (火) 3
- 6. 6.11 (火) 3
- 6. 6.18 (火) 3
- 6. 6.25 (火) 3
- 6. 7. 2 (火) 3
- 6. 7. 9 (火) 3
- 6. 7.16 (火) 3

教科書	(物理) 特に定めない (毎回資料を配布する)。 (化学) 特に定めない (毎回資料を配布する)。 (生物) 特に定めない (事前に授業資料を配布するとともに生物資料を掲示板上に掲載)。
参考書	(物理) 廣岡秀明著「大学新入生のための物理入門」(共立出版), 高校のときの物理基礎・物理の教科書があればそれも。 (生物) 大学生物学の教科書 第1巻細胞生物学, 第3巻生化学・分子生物学分子細胞生物学 D.サダヴァ他著 石崎泰樹ら監訳 講談社 (2021) など。
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護4/理学2/理学5/作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	遠藤 龍介 教務学生課 官 宏 教務学生課 菱沼 佑 教務学生課
備考	履修する学生を①, ②, ③の3班に分ける。各班とも, 物理, 化学, 生物の各授業をそれぞれ5回受講する。

授業科目	自然科学演習	科目英語表記	Seminar of Natural ScienceSeminar of Natural science		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 遠藤 龍介 (物理) 官 宏 (化学) 菱沼 佑 (生物)				
科目責任者氏名	遠藤 龍介				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	理 学－必 修 看・作－選 択		
授業形態	演習	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	日々発展する医学や医療の現場では様々な測定や検査が行われているが、それを遂行するために必要な科学的な計画立案や技法、そして安全管理などを物理学、化学及び生物学の基本的実験を通して習得できる様にする。また実際に装置や器具を用いて自ら実験を行うことにより、自主的な態度を培える様にする。高校での選択科目の違いによって実験の習得度に差が生じない様、随時復習や指導を行いながら実験を進める。				
到達目標	<p>物理到達目標 1：実験目的と測定する物理量を理解し、測定原理を説明できる。 物理到達目標 2：適切に測定データを取得でき、そのデータから筋道だって結果を導ける。</p> <p>化学到達目標 1：実験目的と測定する物理量を理解し、測定原理を説明できる。 化学到達目標 2：適切に測定データを取得でき、そのデータから筋道だって結果を導ける。</p> <p>生物到達目標 1：実験目的や実験方法の原理を理解し、説明できる。 生物到達目標 2：適切な実験操作を行い、十分な結果を得ることができる。 生物到達目標 3：取得した実験結果等に基づき、与えられた課題について筋道立てて考察できる。</p>				
成績評価方法	<p>(物理) 3回の実験レポート 100% (ただし、参加していない実験のレポートは受け付けない) 物理到達目標 1, 2 を評価</p> <p>(化学) 3回の実験レポート 100%</p> <p>(生物) 3回の実験レポート 50% 生物到達目標1, 2, 3を評価 実験態度50% 生物到達目標2, 3を評価</p>				
成績評価基準	<p>物理到達目標 1：実験目的と測定する物理量を理解し、測定原理を説明できる。 特に優れている：背景の知識を含めて、実験目的・物理量・測定原理・測定装置の特性を論理的かつ簡潔に説明ができる。 優れている：実験目的・測定物理量・測定原理の説明ができる。 良好である：測定物理量とその測定原理を説明できる。 最低限の到達：測定物理量を説明できる。 到達していない：測定物理量が何かを説明できない。</p> <p>物理到達目標 2：適切に測定データを取得でき、そのデータから筋道だって結果を導ける。 特に優れている：適切に測定データを取得でき、データから表やグラフなどを用いて明快な論理でわかりやすく結果を導ける。 優れている：適切に測定データを取得でき、表やグラフなどを用いて筋道だって結果を導ける。 良好である：適切に測定データを取得でき、データから筋道だって結果を導ける。 最低限の到達：測定データを取得でき、データにもとづく結果を導くことができる。 到達していない：測定データが不十分で、結果に至る筋道が論理的とは言えない。</p> <p>化学到達目標 1：実験目的と測定する化学量を理解し、測定原理を説明できる。 特に優れている：背景の知識を含めて、実験目的・化学量・測定原理の特性を論理的かつ簡潔に説明ができる。 優れている：実験目的・測定化学量・測定原理の説明ができる。 良好である：測定化学量とその測定原理を説明できる。 最低限の到達：測定化学量を説明できる。 到達していない：測定化学量が何かを説明できない。</p> <p>化学到達目標 2：適切に測定データを取得でき、そのデータから筋道だって結果を導ける。 特に優れている：適切に測定データを取得でき、データから表やグラフなどを用いて明快な論理でわかりやすく結果を導ける。 優れている：適切に測定データを取得でき、表やグラフなどを用いて筋道だって結果を導ける。 良好である：適切に測定データを取得でき、データから筋道だって結果を導ける。 最低限の到達：測定データを取得でき、データにもとづく結果を導くことができる。 到達していない：測定データが不十分で、結果に至る筋道が論理的とは言えない。</p> <p>生物到達目標 1：実験目的や原理を理解し、説明することができる。 特に優れている：背景の知識を含めて、実験目的・実験方法の原理等を理解し、説明することができる。 優れている：実験目的・実験方法の原理等を理解し、適切に説明することができる。 良好である：実験目的・実験方法は理解していて、説明することができる。 最低限の到達：実験目的・実験方法はある程度理解していて、それ相応の説明はできる。 到達していない：実験目的や方法の理解が不十分であり、説明することができない。</p> <p>生物到達目標 2：適切な実験操作を行い、適切な実験結果を得ることができる。 特に優れている：適切な実験操作を行い、適切かつ十分な実験結果を得ることができる。</p>				

優れている：適切な実験操作を行い，適切な実験結果を得ることができる。
 良好である：適切な実験操作を行い，それ相応の実験結果を得ることができる。
 最低限の到達：実験操作は十分ではないが，最低限の観察結果を得ることができる。
 到達していない：実験操作が不適切であり，最低限の結果すら得ることができない。
 生物到達目標3：取得した実験結果等に基づき，課題について複数の実験結果や既知の事実を組み合わせることで筋道立てて考察できる。
 特に優れている：取得した実験結果に基づき，課題について複数の実験結果や既知の事実等を組み合わせることで複数の観点から筋道立てて考察することができる。
 優れている：取得した実験結果等に基づき，課題について複数の実験結果や既知の事実を組み合わせることで筋道立てて考察することができる。
 良好である：取得した実験結果等に基づき，課題について複数の実験結果を組み合わせることで筋道立てて考察することができる。
 最低限の到達：取得した実験結果等に基づき，課題についてそれ相応の実験結果を組み合わせることで，ある程度筋道立てて考察することができる。
 到達していない：取得した実験結果等に基づき，課題について筋道立てて考察することができない。

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	物理 ①班1回目，グループごとの実験 化学 ②班1回目，グループごとの実験 生物 顕微鏡操作葉の表皮組織 孔辺細胞 植物細胞の色と細胞構造 ③班1回目，各個人での実験	物理 次の6テーマから1つ：1.大気圧の実験，2.光とレンズの実験，3.光のスペクトル，4.気柱共鳴による音速測定，5.熱の仕事当量，6.固体の比熱 化学 物質質量、化学変化に関する実験 生物 光学顕微鏡の主要操作部の名称や使用方法を学習する。つぎに植物細胞の葉の表皮組織のプレパレートを作製し，顕微鏡観察を行い，細胞や核の形態，葉緑体の有無等について，各細胞における特徴をスケッチし，ケント紙等に記録する。さらに花卉や茎，根の組織の細胞を観察し，植物細胞の色と細胞内構造との関係について考察する。	物理 配布する「実験の手引き」にしたがって，グループごとに実験を行う。実験装置や，測定データなどはすべて実験ノートに記録する。 化学 配布する「実験プリント」にしたがって，グループごとに実験を行う。実験装置や，測定データなどはすべて実験プリントに記録する。 生物 実験内容の説明後，事前に配布された「実験の手引き」にしたがって，各人がプレパレートを作製し，観察結果をスケッチや実験プリントの指示にしたがって記録する。	物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき，実験レポートを作成する。 次の実験テーマについて，実験方法や，概念等を「実験の手引」などで調べておく。 化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき，実験レポートを作成する。 生物 顕微鏡で観察した葉や組織の細胞スケッチを完成させる。また顕微鏡観察の結果に基づき，「実験の手引き」にある課題について考察する。 「実験の手引き」により次回の実験テーマについて，下調べをする。	(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼
2	物理 ①班2回目，グループごとの実験 化学 ②班2回目，グループごとの実験 生物 原形質流動流動経路の3次元モデル 酸アルカリバンドの検出 ③班2回目，個人実験とグループ実験	物理 次の6テーマから1つ：1.大気圧の実験，2.光とレンズの実験，3.光のスペクトル，4.気柱共鳴による音速測定，5.熱の仕事当量，6.固体の比熱 化学 酸と塩基に関する実験 生物 オオシャジクモを材料に，顕微鏡により植物細胞における原形質流動の観察を行う。学生は「実験の手引き」の問いにしたがって，観察結果をそれぞれ記しながら，実験を進め，結果をまとめる。その後，グループごとに結果を持ち寄り，シャジクモの節間細胞における流動経路について討議し，その流路モデルを作製する。モデル作製に至った観察結果や論理について，次回の授業においてグループごとに発表する。またシャジクモ節間細胞をpH指示薬の入った寒天に封じ，発色場所を特定する。それをもとに，それぞれの領域におけるイオン輸送について，生命現象と関連付けて，考察する。	物理 「実験の手引き」にしたがって，グループごとに実験を行う。実験装置や，測定データなどはすべて実験ノートに記録する。 化学 配布する「実験プリント」にしたがって，グループごとに実験を行う。実験装置や，測定データなどはすべて実験プリントに記録する。 生物 実験内容の説明後，「実験の手引き」にしたがって，各人がプレパレートを作製し，顕微鏡観察結果をまとめ，記録する。その後グループごとに，各人が持ち寄ったデータをもとに原形質流動の流路の3次元モデルを作製する。またシャジクモ節間細胞における酸アルカリバンドの検出実験は「実験の手引き」にしたがってグループごとに実験してその結果を集約した後，各個人ごとに「実験の手引き」にしたがって結果をまとめる。	物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき，実験レポートを作成する。 次の実験テーマについて，実験方法や，概念等を「実験の手引」などで調べておく。 化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき，実験レポートを作成する。 生物 顕微鏡観察の結果や酸アルカリバンドの検出結果に基づいて，「実験の手引き」にある実験レポートの課題について考察する。また原形質流動の経路を説明するモデルの発表内容について各自検討する。 「実験の手引き」により次回の実験テーマについて，下調べをする。	(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼

3	<p>物理 ①班3回目、グループごとの実験</p> <p>化学 ②班3回目、グループごとの実験</p> <p>生物 植物の根端染色体 細胞分裂過程</p> <p>③班3回目、個人実験</p>	<p>物理 次の6テーマから1つ：1.大気圧の実験，2.光とレンズの実験，3.光のスペクトル，4.気柱共鳴による音速測定，5.熱の仕事当量，6.固体の比熱</p> <p>化学 身近な科学に関する実験</p> <p>生物 固定したタマネギの根端細胞を酸処理し，酢酸カーミンで染色し，各自プレパレートを作製する．次にそれを用いて顕微鏡観察を行い細胞分裂像を探す．染色体構造から細胞分裂の各ステージを特定し，ケント紙にスケッチする．実験手引書にしたがって，説明を加えるとともに，分裂軸あるいは紡錘体軸の変化について考察する．また原形質流動の三次元モデルについて，グループごとにモデルを説明し，その是非について全体で討議する．</p>	<p>物理 「実験の手引き」にしたがって，グループごとに実験を行う．実験装置や，測定データなどはすべて実験ノートに記録する．</p> <p>化学 配布する「実験プリント」にしたがって，グループごとに実験を行う．実験装置や，測定データなどはすべて実験プリントに記録する．</p> <p>生物 実験内容の説明後，配布された「実験の手引き」にしたがって，各自が細胞分裂観察用のプレパレートを作製する．観察結果は「手引き」にしたがってスケッチまたはレポートにまとめる．</p>	<p>物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき，実験レポートを作成する．</p> <p>化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき，実験レポートを作成する．</p> <p>生物 実験観察の結果に基づいて，「実験の手引き」にある実験レポートの課題について考察する．</p>	<p>(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼</p>
4	<p>物理 ③班1回目、グループごとの実験</p> <p>化学 ①班1回目、グループごとの実験</p> <p>生物 顕微鏡操作 葉の表皮組織 孔辺細胞 植物細胞の色と細胞構造</p> <p>②班1回目、個人での実験</p>	<p>物理 次の6テーマから1つ：1.大気圧の実験，2.光とレンズの実験，3.光のスペクトル，4.気柱共鳴による音速測定，5.熱の仕事当量，6.固体の比熱</p> <p>化学 物質質量、化学変化に関する実験</p> <p>生物 光学顕微鏡の主要操作部の名称や使用方法を学習する．つぎに植物細胞の葉の表皮組織のプレパレートを作製し，顕微鏡観察を行い，細胞や核の形態，葉緑体の有無等について，各細胞における特徴をスケッチし，ケント紙等に記録する．さらに花弁や茎，根の組織の細胞を観察し，植物の色と細胞内構造との関係について考察する．</p>	<p>物理 配布する「実験の手引き」にしたがって，グループごとに実験を行う．実験装置や，測定データなどはすべて実験ノートに記録する．</p> <p>化学 配布する「実験プリント」にしたがって，グループごとに実験を行う．実験装置や，測定データなどはすべて実験プリントに記録する．</p> <p>生物 実験内容の説明後，事前に配布された「実験の手引き」にしたがって，各人がプレパレートを作製し，観察結果をスケッチや実験プリントに記録する．</p>	<p>物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき，実験レポートを作成する． 次の実験テーマについて，実験方法や，概念等を「実験の手引」などで調べておく．</p> <p>化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき，実験レポートを作成する．</p> <p>生物 顕微鏡で観察した葉や組織の細胞スケッチを完成させる．また光学顕微鏡観察の結果に基づき，「実験の手引き」にある課題について考察する． 「実験の手引き」により次回の実験テーマについて，下調べをする．</p>	<p>(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼</p>

5	<p>物理 ③班2回目, グループごとの実験</p> <p>化学 ①班2回目, グループごとの実験</p> <p>生物 原形質流動流動経路の3次元モデル 酸アルカリバンドの検出 ②班2回目, 個人実験とグループ実験</p>	<p>物理 次の6テーマから1つ: 1.大気圧の実験, 2.光とレンズの実験, 3.光のスペクトル, 4.気柱共鳴による音速測定, 5.熱の仕事当量, 6.固体の比熱</p> <p>化学 酸と塩基に関する実験</p> <p>生物 生物 オオシャジクモを材料に, 顕微鏡により植物細胞における原形質流動の観察を行う。学生は「実験の手引き」の問いにしたがって, 観察結果をそれぞれ記しながら, 実験を進め, 結果をまとめる。その後, グループごとに結果を持ち寄り, シャジクモの節間細胞における流動経路について討議し, その流路モデルを作製する。モデル作製に至った観察結果や論理について, 次回の授業において各グループごとに発表する。またシャジクモ節間細胞をpH指示薬の入った寒天に封じ, 発色場所を特定する。それをもとに, それぞれの領域におけるイオン輸送について, 生命現象と関連付けて, 考察する。</p>	<p>物理 「実験の手引き」にしたがって, グループごとに実験を行う。実験装置や, 測定データなどはすべて実験ノートに記録する。</p> <p>化学 配布する「実験プリント」にしたがって, グループごとに実験を行う。実験装置や, 測定データなどはすべて実験プリントに記録する。</p> <p>生物 実験内容の説明後, 「実験の手引き」にしたがって, 各人がプレパレートを作製し, 顕微鏡観察結果をまとめ, 記録する。その後グループごとに, 各人が持ち寄ったデータをもとに原形質流動の流路の3次元モデルを作製する。またシャジクモ節間細胞における酸アルカリバンドの検出実験は「実験の手引き」にしたがってグループごとに実験してその結果を集約した後, 各個人ごとに「実験の手引き」にしたがって結果をまとめる。</p>	<p>物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき, 実験レポートを作成する。 次の実験テーマについて, 実験方法や, 概念等を「実験の手引」などで調べておく。</p> <p>化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき, 実験レポートを作成する。</p> <p>生物 顕微鏡観察の結果や酸アルカリバンドの検出結果に基づいて, 「実験の手引き」にある実験レポートの課題について考察する。また原形質流動の経路を説明するモデルの発表内容について各自検討する。 「実験の手引き」により次回の実験テーマについて, 下調べをする。</p>	<p>(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼</p>
6	<p>物理 ③班3回目, グループごとの実験</p> <p>化学 ①班3回目, グループごとの実験</p> <p>生物 植物の根端染色体 細胞分裂過程 ②班3回目, 個人実験</p>	<p>物理 次の6テーマから1つ: 1.大気圧の実験, 2.光とレンズの実験, 3.光のスペクトル, 4.気柱共鳴による音速測定, 5.熱の仕事当量, 6.固体の比熱</p> <p>化学 身近な科学に関する実験</p> <p>生物 固定したタマネギの根端細胞を酸処理し, 酢酸カーミンで染色し, 各自プレパレートを作製する。次にそれを用いて顕微鏡観察を行い細胞分裂像を探す。染色体構造から細胞分裂の各ステージを特定し, ケント紙にスケッチする。実験手引書にしたがって, 説明を加えるとともに, 分裂軸あるいは紡錘体軸の変化について考察する。また原形質流動の3次元モデルについて, グループごとにモデルを説明し, その是非について全体で討議する。</p>	<p>物理 「実験の手引き」にしたがって, グループごとに実験を行う。実験装置や, 測定データなどはすべて実験ノートに記録する。</p> <p>化学 配布する「実験プリント」にしたがって, グループごとに実験を行う。実験装置や, 測定データなどはすべて実験プリントに記録する。</p> <p>生物 実験内容の説明後, 配布された「実験の手引き」にしたがって, 各自が細胞分裂観察用のプレパレートを作製する。観察結果は「手引き」にしたがってスケッチまたはレポートにまとめる。</p>	<p>物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき, 実験レポートを作成する。</p> <p>化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき, 実験レポートを作成する。</p> <p>生物 実験観察の結果に基づいて, 「実験の手引き」にある実験レポートの課題について考察する。</p>	<p>(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼</p>
7	<p>物理 ②班1回目, グループごとの実験</p> <p>化学 ③班1回目, グループごとの実験</p> <p>生物 顕微鏡操作 葉の表皮組織 孔辺細胞 植物細胞の色と細胞構造 ①班1回目, 個人実験</p>	<p>物理 次の6テーマから1つ: 1.大気圧の実験, 2.光とレンズの実験, 3.光のスペクトル, 4.気柱共鳴による音速測定, 5.熱の仕事当量, 6.固体の比熱</p> <p>化学 物質, 化学変化に関する実験</p> <p>生物 光学顕微鏡の主要操作部の名称や使用方法を学習する。つぎに植物細胞の葉の表皮組織のプレパレートを作製し, 顕微鏡観察を行い, 細胞</p>	<p>物理 配布する「実験の手引き」にしたがって, グループごとに実験を行う。実験装置や, 測定データなどはすべて実験ノートに記録する。</p> <p>化学 配布する「実験プリント」にしたがって, グループごとに実験を行う。実験装置や, 測定データなどはすべて実験プリントに記録する。</p> <p>生物 配布する「実験の手引き」にしたがって, 各人がプレパレートを作製し, 観察結</p>	<p>物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき, 実験レポートを作成する。 次の実験テーマについて, 実験方法や, 概念等を「実験の手引」などで調べておく。</p> <p>化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき, 実験レポートを作成する。</p> <p>生物 顕微鏡で観察した葉や組織の細胞スケッチを完成させる。また顕微鏡観察の結果</p>	<p>(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼</p>

		や核の形態、葉緑体の有無等について、各細胞における特徴をスケッチし、ケント紙等に記録する。さらに花卉や茎、根の組織の細胞を観察し、植物細胞の色と細胞内構造との関係について考察する。	果をスケッチや実験プリントに記録する。	に基づき、「実験の手引き」にある課題について考察する。 「実験の手引き」により次回の実験テーマについて、下調べをする。	
8	<p>物理 ②班2回目、グループごとの実験</p> <p>化学 ③班2回目、グループごとの実験</p> <p>生物 原形質流動流動経路の3次元モデル 酸アルカリバンドの検出 ①班2回目、個人とグループ実験</p>	<p>物理 次の6テーマから1つ：1.大気圧の実験、2.光とレンズの実験、3.光のスペクトル、4.気柱共鳴による音速測定、5.熱の仕事当量、6.固体の比熱</p> <p>化学 酸と塩基に関する実験</p> <p>生物 生物 オオシャジクモを材料に、顕微鏡により植物細胞における原形質流動の観察を行う。学生は「実験の手引き」の問いにしたがって、観察結果をそれぞれ記しながら、実験を進め、結果をまとめる。その後、グループごとに結果を持ち寄り、シャジクモの節間細胞における流動経路について討議し、その流路モデルを作製する。モデル作製に至った観察結果や論理について、次回の授業において各グループごとに発表する。またシャジクモ節間細胞をpH指示薬の入った寒天に封じ、発色場所を特定する。それをもとに、それぞれの領域におけるイオン輸送について、生命現象と関連付けて、考察する。</p>	<p>物理 「実験の手引き」にしたがって、グループごとに実験を行う。実験装置や、測定データなどはすべて実験ノートに記録する。</p> <p>化学 配布する「実験プリント」にしたがって、グループごとに実験を行う。実験装置や、測定データなどはすべて実験プリントに記録する。</p> <p>生物 「実験の手引き」にしたがって、各人がプレパレートを作製し、顕微鏡観察結果をまとめ、記録する。その後グループごと、データを持ち寄り、原形質流動の流路のモデルを作製する。またシャジクモ節間細胞における酸アルカリバンドの検出実験は「実験の手引き」にしたがってグループごとに実験してその結果を集約した後、各個人ごとに「実験の手引き」にしたがって結果をまとめる。</p>	<p>物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき、実験レポートを作成する。 次の実験テーマについて、実験方法や、概念等を「実験の手引」などで調べておく。</p> <p>化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき、実験レポートを作成する。</p> <p>生物 顕微鏡観察の結果や酸アルカリバンドの検出結果に基づいて、「実験の手引き」にある実験レポートの課題について考察する。また原形質流動の経路を説明するモデルの発表内容について検討する。 「実験の手引き」により次回の実験テーマについて、下調べをする。</p>	(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼
9	<p>物理 ②班3回目、グループごとの実験</p> <p>化学 ③班3回目、グループごとの実験</p> <p>生物 植物の根端染色体 細胞分裂過程 ①班3回目、個人実験</p>	<p>物理 次の6テーマから1つ：1.大気圧の実験、2.光とレンズの実験、3.光のスペクトル、4.気柱共鳴による音速測定、5.熱の仕事当量、6.固体の比熱</p> <p>化学 身近な科学に関する実験</p> <p>生物 固定したタマネギの根端細胞を酸処理し、酢酸カーミンで染色し、各自プレパレートを作製する。次にそれを用いて顕微鏡観察を行い細胞分裂像を探す。染色体構造から細胞分裂の各ステージを特定し、ケント紙にスケッチする。実験手引書にしたがって、説明を加えるとともに、分裂軸あるいは紡錘体軸の変化について考察する。また原形質流動の三次元モデルについて、グループごとにモデルを説明し、その是非について全体で討議する。</p>	<p>物理 「実験の手引き」にしたがって、グループごとに実験を行う。実験装置や、測定データなどはすべて実験ノートに記録する。</p> <p>化学 配布する「実験プリント」にしたがって、グループごとに実験を行う。実験装置や、測定データなどはすべて実験プリントに記録する。</p> <p>生物 配布された「実験の手引き」にしたがって、各自が細胞分裂観察用のプレパレートを作製する。観察結果は「手引き」にしたがってスケッチまたはレポートにまとめる。</p>	<p>物理 実験中に作成した実験ノートにもとづき、実験レポートを作成する。</p> <p>化学 実験中に作成した実験ノートにもとづき、実験レポートを作成する。</p> <p>生物 実験観察の結果に基づいて、「実験の手引き」にある実験レポートの課題について考察する。</p>	(物理) 遠藤 (化学) 官 (生物) 菱沼
10					
11					
12					
13					

14					
15					
日付					
6. 9.24 (火) 3-4 6.10. 1 (火) 3-4 6.10. 8 (火) 3-4 6.10.15 (火) 3-4 6.10.22 (火) 3-4 6.10.29 (火) 3-4 6.11. 5 (火) 3-4 6.11.12 (火) 3-4 6.11.19 (火) 3-4					

教科書	実験のためのプリントを配布する。	
参考書		
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護4/理学2/理学5/作業3	
先修条件指定科目	非該当	
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当	
実務経験のある教員		
実務経験をいかした教育内容		
教員の連絡先	遠藤 龍介	教務学生課
	官 宏	教務学生課
	菱沼 佑	教務学生課
備考	履修する学生を①, ②, ③の3班に分ける。各班とも, 物理, 化学, 生物の実験をそれぞれ3回, 計9回の実験を行う。	

授業科目	数学	科目英語表記	Mathematics
職名、担当教員氏名	非常勤講師 佐藤 圓治		
科目責任者氏名	佐藤 圓治		
学内連絡教員氏名			
学科／分野	理学療法学科	学年	1年
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択
授業形態	講義	開講時期	前期
		単位数	2単位
授業概要	1変数の微分積分について学ぶ。微分積分は、17世紀に、ニュートン、ライプニッツにより理論づけられた数学であり、運動理論や日常生活で使われる面積や長さのきちんとした説明は、微分積分を用いて初めて理解できる。最初に数列や関数の極限を学ぶ。その後、微分概念を学習し、いろいろな関数の微分とその応用について学ぶ。後半は、面積の概念の延長にある積分について学習し、様々な関数の積分とその応用について学ぶ。本授業は、教科書内容にプリントで補充した内容を加えて、一通りの1変数の微分積分の内容を網羅している。これらの学習は、具体的に次のようなことを含む：統計で最も重要である正規分布のグラフの概形を微分の学習により描くことができる。各種分布に現れるガンマ関数についても学ぶ。面積の概念（定積分）は、度数の分布が平均に集まっているか否か（平均と標準偏差の関係）の理解に供するものである。また、曲線のパラメータ表現の学習によりカージオイド（心臓形）の面積を求め、その縁の長さを求める。更に、CTスキャンの発想の原点である数学者フーリエの考え方をフーリエ級数と共に学ぶ。これらのことから、微分積分の内容は、現代社会の教養として資することにもなる。		
到達目標	受講生は、本授業に熱心に取り組むことで、微分積分の概念を説明することができる。また、それに立脚して、微分積分の基本問題や応用問題を解決することができる。		
成績評価方法	演習、レポート提出、小テスト、試験等で総合的に評価する。 定期試験60%、演習、レポート提出、小テストは40%の割合。		
成績評価基準	到達目標： 授業内容を十分に理解していること 特に優れている； 適切で十分な根拠を踏まえて論理的に理解している 優れている； 根拠を踏まえて論理的に理解している 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に理解している 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に理解している 目標に達していない； 理解していない		

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	○講義全般の内容紹介・授業の進め方（オリエンテーション） ○「関数について」（教科書「関数とグラフ」及び配布プリント） ○演習	講義全般の内容紹介・授業の進め方（オリエンテーション）及び1回目「関数について」の授業を行います。この「数学」では、1変数の微分積分について、教科書及びそれを補足したプリントに依って授業を進めます。 高校でもある程度は勉強しているかもしれませんが、受験勉強とは違って高い視点をもって授業を進めますので、数学という学問の一端をこの授業を通して感じ取っていただければ幸いです。授業は、約束事（定義）から始まり、数学的な内容（性質や定理）を調べるなどの論理的な組み立て内容を注視してください。時間の関係で証明の部分は、省くこともあります。演習問題に積極的に挑戦することでよりよく理解が深まるでしょう。	1. 予習としては、教科書「数と式の計算」を見ておきましょう。 2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。 3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。	1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。 2. 次回の授業内容に関する教科書の項目を見ておきましょう。	佐藤
2	○三角関数（角のはかり方、	今回の授業では、三角関数について勉強します。教科書26ページから39ページを参照	1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。	1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。	佐藤

	<p>三角関数の性質) ○演習</p>	<p>します。三角関数は、正弦関数(sin関数)、余弦関数(cos関数)、正接関数(tan関数)について学びます。</p> <p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。</p> <p>3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	
3	<p>○指数関数の性質 ○対数関数の性質 ○演習</p>	<p>今回の授業では、指数関数と対数関数について勉強します。教科書41ページから58ページを参照します。対数関数は、指数法則に基づくこと、対数関数は、指数関数の逆関数として学びます。</p> <p>授業の後半では、前半学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。</p> <p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。</p> <p>2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。</p> <p>3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤
4	<p>○数列の極限 ○関数の極限 ○演習</p>	<p>4回目の今回の授業では、数列と関数の極限について勉強します。教科書60ページから67ページを参照します。例えば、$1, \frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \dots$とすると n 分の 1 は、n を大きくしていくと、数直線を書くことにより、0 に近づくことがわかります。このような極限の状態について体系的に学びます。</p> <p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。</p> <p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。</p> <p>2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。</p> <p>3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤
5	<p>○関数の微分 ○微分の性質 ○演習</p>	<p>今回の授業では、関数の微分について勉強します。微分概念は、17世紀にニュートンやライブニッツが発見した概念である。ニュートンは、ペストがヨーロッパで大流行した時期に田舎にこもっていて、木からリンゴが落ちるのを見て、万有引力を発見したという逸話がある。リンゴが木から落ちるとき、地上からの位置を時間の関数としてみるとこの関数の微分が、落下の時間における瞬間速度である。更に、これを微分すると重力になる。このように、微分概念は、ものの運動と密接に関係する。今回は、まず、微分の基本的な事柄を勉強します。教科書70ページから80ページ辺りを参照します。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。</p> <p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。</p> <p>2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。</p> <p>3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤

		<p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>			
6	<p>○導関数 ○導関数の性質 ○演習</p>	<p>今回の授業では、関数の微分の続きとして、導関数についての性質について学びます。関数には微分可能な回数が少ししかできないものからいくらかでも微分ができるものまであります。教科書78ページ辺りを参照します。関数の微分については、あくまでも微分の定義が基本であることを忘れないでください。</p> <p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。 2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。 3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。 2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。 3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤
7	<p>○微分の応用 (平均値の定理等) ○グラフの書き方 (3次関数など) ○演習</p>	<p>今回の授業では、関数の微分の続きとして、微分の応用について学ぶ。そして、グラフの概形が描けることを勉強します。関数には、微分可能な回数が少ないものからいくらかでも微分ができるものまであります。元の関数から見ると2回微分できる関数の性質について学びますが、その先にも深い性質があります。また応用も広がっていきます。教科書77ページから85ページ辺りを参照します。関数の微分については、あくまでも微分の定義が基本であることを忘れないでください。今回の内容は、抽象的な部分もあり、山登りで言えば、もっともきつい部分にさしかかっています。頑張りましょう。</p> <p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。 2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。 3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。 2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。 3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤

8	<p>○三角関数の微分 ○微分の性質 (三角関数) ○演習</p>	<p>今回の授業では、三角関数の微分について勉強します。教科書65ページ～67ページと74ページ～87ページあたりが関係します。三角関数の微分も微分の定義が基本となります。特に、三角関数の微分の場合は、基となる極限の定理がありますので、しっかり勉強しましょう。</p> <p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。</p> <p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。</p> <p>2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。</p> <p>3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤
9	<p>○指数関数の微分 ○対数関数の微分 ○演習</p>	<p>今回の授業では、指数関数と対数関数の微分について勉強します。教科書70ページから81ページ辺りを参照します。</p> <p>基本となるのがネピアの数です。ここでも三角関数と同様に基本の定理があります。この定理から指数関数や対数関数の微分が導かれます。これで一通りの「微分の内容」を終わります。次回からは、積分の内容に入ります。</p> <p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。</p> <p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。</p> <p>2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。</p> <p>3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤
10	<p>○不定積分 ○不定積分の性質 ○小テスト (微分の内容)</p>	<p>今回の内容から積分に入ります。その手始めに不定積分の概念を勉強します。この内容は、教科書90ページから96ページ辺りを参照します。関数の微分に基づいていますので、微分の内容をしっかり復習しておきましょう。</p> <p>今回の講義からは、積分の内容です。</p> <p>授業の後半では、これまで学んだ「微分の内容」について小テストを予定しています。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。</p> <p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞きましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。</p> <p>2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。</p> <p>3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤
11	<p>○定積分 ○定積分の性質 ○演習</p>	<p>ここでは、区間上の積分(定積分)について学びます。図形の面積との関係で定積分を定義し、一般的な定義へと進みます。微分積分学の基本定理を学ぶことで不定積分との関係がわかります。この内容は、教科書97ページから102ページ辺りを参照します。</p> <p>関数の微分や不定積分に深く関係しますので、しっかり復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。</p> <p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。</p> <p>2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。</p> <p>3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤

		<p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。</p>			
12	<p>○積分の計算 (分数関数、無理関数の計算等) ○ガンマ関数 ○演習</p>	<p>ここでは、いろいろな関数の積分について学びます。その代表的な例として分数関数と無理関数の定積分について例を挙げて計算方法を学びます。次の特別な関数に表れる広義積分(無限積分を含む)について、ガンマ関数の例で学びます。この内容は、教科書の内容を少し高度にした内容となります。しっかり勉強しましょう。</p> <p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。 2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。 3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 講義内容を教科書・プリント及びノートによって復習しましょう。 2. 返却されたプリントを復習しておきましょう。 3. 次回の授業内容に関係する教科書の項目を見ておきましょう。</p>	佐藤
13	<p>○面積について ○回転体の体積 ○演習</p>	<p>ここでは、面積と回転体の体積を定積分を用いて計算することを学びます。教科書103ページから105ページを参考にします。しっかり勉強しましょう。</p> <p>授業の後半では、前半で学んだ内容に対する演習を行います。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の授業に関係する部分を見ておきましょう。 2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。 3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の積分の授業に関係する部分を見ておきましょう。 2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。 3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	佐藤
14	<p>○パラメータ表示 ○曲線で囲まれた面積(心臓形等) ○授業内容の復習</p>	<p>ここでは、関数のグラフとして表されないような曲線などをパラメータ(媒介変数)を用いて表示することを学ぶ。これにより、心臓形といわれる曲線を表すことができる。この心臓形の曲線で囲まれた図形の面積を求めてみましょう。</p> <p>授業の後半では、これまでの講義内容に対するまとめの意味での勉強を兼ねた演習1回目をを行います。これまでの勉強についてある程度見晴らしが見えることでしょうか。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。また、前回の演習の添削を返却しますので、復習しておきましょう。</p>	<p>1. 予習としては、教科書の積分の授業に関係する部分を見ておきましょう。 2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。 3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	<p>1. 予習としては、積分のこれまでの内容について見ておきましょう。 2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。 3. 講義をしっかりと聞き、演習に積極的に取り組みましょう。</p>	佐藤
15	<p>○曲線の長さ ○心臓形の長さ等</p>	<p>ここでは、平面上の曲線の長さの定義を行い、その長さ</p>	<p>1. 予習としては、教科書の積分の授業に関係する部分</p>	<p>1. これまでの授業内容について、配布された「総まと</p>	佐藤

○「数学」のまとめ		<p>を積分を用いて計算することを学ぶ。これにより、心臓形といわれる曲線の長さを計算することができる。従って定積分の考え方が大切であることがわかるでしょう。</p> <p>授業の後半では、これまでの講義内容に対するまとめの意味での勉強を兼ねた演習2回目をを行います。これまでの勉強について、見晴らしが見えてくることでしょう。担当者が机間遵守を行いますので、わからないことがあれば、どんな依些細なことでも良いので、積極的に質問しましょう。</p>	<p>見ておきましょう。</p> <p>2. 講義内容は、配布したプリントに沿って進めるが、プリント以外の内容についても補足することもあるので、しっかりノートを取りましょう。</p> <p>3. 講義をしっかりと聞き、演習のまとめに積極的に取り組みましょう。</p>	<p>め」内容のプリントについて見ておきましょう。</p> <p>2. これまでの返却された演習プリントについて、間違った部分を中心にしっかりと復習しましょう。</p>	
-----------	--	--	---	--	--

日付
<p>6. 4. 9 (火) 4 6. 4.16 (火) 4 6. 4.23 (火) 4 6. 4.30 (火) 4 6. 5. 7 (火) 4 6. 5.14 (火) 4 6. 5.21 (火) 4 6. 5.28 (火) 4 6. 6. 4 (火) 4 6. 6.11 (火) 4 6. 6.18 (火) 4 6. 6.25 (火) 4 6. 7. 2 (火) 4 6. 7. 9 (火) 4 6. 7.16 (火) 4</p>

教科書	石村園子著 微分積分入門 共立出版
参考書	<p>○隈部正博著 初歩からの数学 放送大学教育振興会 担当者コメント「この参考書は、教科書より少し内容が多いが、数学に対する記述の精神は、崇高なものがある。その分少し難しく感じるかもしれませんが。」</p> <p>○山形大学数理科学科編 微分積分入門 裳華房 担当者コメント「この参考書は、授業で使う教科書と比較すると、1変数の微分積分の内容に一段と踏み込んだものである。1年間で学習する内容が盛り込まれていて、微分積分の応用まで書かれている。1変数の微分積分の内容について、更に詳しく知りたい人のための本である。興味ある方はご覧ください。」</p> <p>○小林昭七著 微分積分読本 裳華房 担当者コメント「この参考書は、高名な数学者である著者が、後年に書かれた1変数の微分積分の本である。数学の思想が内容のあちこちに盛り込まれていて（微積分の哲学かもしれない）、厳密に書かれている部分もある。3つの参考書の中では、最も高尚で難しいかもしれない。しかし、一部分でも読んでみると数学者の数学に対する姿勢を感じ取れるでしょう。」</p>
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学2/理学5
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教務学生課

備考	<p>学生へのメッセージ：</p> <p>「科目「数学」の目標は、1変数の微分積分の内容の理解です。山登りに例えると、ふもと（「高校数学1」）を起点（「基礎」）に出発し、途中、難所（「高校数学」に相当する内容）をいくつも超えて、ようやく頂上（「微分積分の理解」）に到達します。頂上からの見晴らしにより、ふもと（「高校数学1」）や町（「高校までの面積や長さの概念」）の眺めを一望でき、その感慨を得て、「数学」に自信を持つことができるでしょう。このような気持ちで、「数学」の勉強に取り組みましょう。」</p>
----	--

授業科目	統計学	科目英語表記	Statistics		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 水原 昂廣				
科目責任者氏名	水原 昂廣				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	看護－選択 理 作－必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	古典的な記述統計学について基本概念の概説から始める。 ついで必要最低限の確率論を復習し、それを用いて、推測統計学の基本的考え方を解説・説明する。 また、基本的な例題の演習を通して理解を深める。				
到達目標	次の基本概念・用語を理解し、説明ができる： 記述統計と推測統計、統計表と統計図、代表値と散布度、2変数データの表現、相関分析と回帰分析、 事象と確率、確率変数と確率分布、母集団と標本分布、母数の点推定と区間推定、母数に関する仮説の検定、 パラメトリックとノン・パラメトリック。 また、関連する定義と公式を理解し、それを用いて、具体的な計算ができる。 さらに、得られた結果を考察し、適切に解釈できる。				
成績評価方法	毎時間のレポート(14回分)と中間テストおよび期末テストの結果を総合して評価する。				
成績評価基準	特に優れている (A)： 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる。 優れている (B)： 根拠をふまえて論理的に説明できる。 良好である (C)： 根拠を用いてある程度論理的に説明できる。 最低限の到達 (D)： 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる。 目標に到達していない (F)： 説明できない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	記述統計と推測統計	統計学の記述・推測の方法の違いを理解する。	記述統計と推測統計に関する用語・事柄の説明のレポートを作成・提出する。	配布資料をファイルする。	水 原
2	統計表と統計図	分類・整理と要約・表現の手法を身につける。	配布資料を参考にして、用語と人名の説明 および 統計表・統計図の分類を具体的に演習しその結果をレポート提出する。	配布資料をファイルする。 返却された第1回レポートの採点・添削の結果を確認する。	水 原
3	代表値と散布度	統計用語の定義と公式を理解し、電卓で計算する。	特性値・代表値・散布度・要約統計量・箱ひげ図等の統計用語の説明をレポートする。 また、具体的に与えられたデータから平均値と分散の値を電卓を計算して結果をレポートする。	配布資料をファイルする。 返却された第2回レポートの採点・添削の結果を確認する。	水 原
4	2変数データの整理・表現： 2変数統計表と2変数統計図	2変数データの整理・表現のツールである『2変数統計表と2変数統計図』についての処理を身につける。	2変数データの統計表に用いられる基本的な4つの2重統計表の名称と意味を理解しレポートする。 また、3変数以上の多変数データに有効な統計図の名称を3つ述べて、その意味と考察・発案者を説明しそれをレポートにまとめる。	配布資料をファイルする。 返却された第3回レポートの採点・添削の結果を確認する。	水 原
5	相関分析と回帰分析 (その1)	2変数データの統計処理(相関分析と回帰分析、相関関係と因果関係)を身につける。	2変数データの統計用語・概念(相関度と関連度、相関分析と回帰分析、相関関係と因果関係)を理解する。 さらに、与えられた2変数のデータから、それぞれの平	配布資料をファイルする。 返却された第4回レポートの採点・添削の結果を確認する。	水 原

			均・分散・標準偏差 および相関係数を電卓で用いて計算し、その結果をレポートする。		
6	相分析と回帰分析 (その2)	記述統計の内容をまとめる。	記述統計のまとめとして、2変数データ (x, y) に関する演習問題5Bの結果から、二本の回帰直線を求める。さらに (x, y) の相関係数の値から相関関係の有無を判断し、その結果をレポートする。	12月に行われる中間テストに向けて準備する。配布資料と返却レポートのファイリングを確認する。	水原
7	事象と確率	推測統計の基本となる『事象と確率』に関する定義と概念を復習し公式を確認する。	事象の用語と概念 (試行・事象・標本空間・素事象) を理解し説明する。 また、事象の集合算と確率の計算をベン図を利用して行う。 さらに、配布資料を参考にし、ラプラス、コルモゴロフ、ド・モルガンについて確率・統計の業績を説明する。 以上の結果をレポートにまとめて提出する。	テキストの第1章 (p.1 ~ p.30) に読んで、次回のテーマ：確率変数と確率分布の項目を確認する。	水原
8	確率変数と確率分布	確率変数Xと確率分布の定義と概念を理解し、具体例が説明できる。	ベルヌーイ分布 B(0,1) を例にとって、離散分布の確率分布表、平均 E(X)、分散 V(X) および標準偏差 S(X) を求める。 さらに、一様分布 U(a,b) を例にとって、連続分布の確率密度関数、平均 E(X)、分散 V(X) および標準偏差 S(X) を求めてそれらの結果をレポートにまとめて提出する。	配布資料をファイルする。 返却された第7回レポートの採点・添削の結果を確認する。	水原
9	母集団と標本分布 (その1)	母集団と標本について、用語・概念を理解する。	母集団と標本について、用語・概念を説明する。その結果をレポートにまとめて提出する。	配布資料をファイルする。 返却された第8回レポートの採点・添削の結果を確認する。	水原
10	母集団と標本 (その2) 正規分布表N(0,1)の読み方	正規分布表の読み方 確率論のまとめ	正規分布表の読み方について、基本的な例題を解いて、その結果をレポートにまとめて提出する。	正規分布表と次回に使う予定のt-分布表をテキスト(p.93 ~ p.94)で確認する。	水原
11	区間推定(その1)	区間推定用語と区間推定の手順を理解する。 正規母集団で母分散が既知の場合か、または任意母集団で大標本の場合において、手順1~3に従って母平均の区間推定を行う。	正規母集団で母分散が既知の場合か、または任意母集団で大標本の場合において、母平均の区間推定の例題を手順1~3に従って解く。 その結果をレポートにまとめて提出する。	配布資料をファイルする。 返却された第10回レポートの採点・添削の結果を確認する。	水原
12	区間推定(その2)	正規母集団において、母分散が不明でかつ小標本の場合に、母平均の区間推定を手順1~3に従って行う。	正規母集団において、母分散が不明でかつ小標本の場合に、母平均の区間推定の例題を手順1~3に従って行い、その結果をレポートにまとめて提出する。	配布資料をファイルする。 母平均の区間推定について、正規分布を用いる場合とt-分布を用いる場合の条件の違いを確認する。	水原
13	仮説検定(その1)	検定用語・概念を理解する。 正規母集団で母分散が既知の場合か、または任意母集団で大標本の場合において、母平均について仮説検定を手順1~5に従って行う。	検定用語・概念を説明する。 正規母集団で母分散が既知の場合か、または任意母集団で大標本の場合において、母平均について仮説検定の例題を手順1~5に従って解答し、その結果をレポートにまとめて提出する。	配布資料をファイルする。 母平均について、区間推定と仮説検定の類似点と相違点を確認する。	水原

14	仮説検定(その2)	正規母集団において、母分散が不明で、かつ、小標本の場合に、母平均について、仮説検定を行う。	正規母集団において、母分散が不明で、かつ、小標本の場合に、母平均について仮説検定の例題を、手順1～5に従って解答し、その結果をレポートにまとめて提出する。	配布資料をファイルする。 返却された第13回レポートの採点・添削の結果を確認する。	水原
15	推測統計のまとめ	区間推定と仮説検定の手順内容をまとめる。	配布資料を参考にして、区間推定と仮説検定の手順の内容をまとめる。	返却された14回分のレポートと配布資料を確認し、1月下旬～2月初旬に行われる期末試験に備える。 ※持ち込み可能なもの(配布資料・自筆のレポート・電卓)を忘れない事。	水原

日付

6. 9.25 (水) 3
6.10. 2 (水) 3
6.10. 9 (水) 3
6.10.16 (水) 3
6.10.23 (水) 3
6.10.30 (水) 3
6.11. 6 (水) 3
6.11.13 (水) 3
6.11.20 (水) 3
6.12. 4 (水) 3
6.12.11 (水) 3
6.12.18 (水) 3
7.12.25 (水) 3
7. 1. 8 (水) 3
7. 1.15 (水) 3

教科書	水原 昂廣・宇野 力 共著「例題中心 確率・統計入門」改訂版 学術図書、2023
参考書	水秀一 著「基本からわかる 看護統計学入門」医歯薬出版株式会社、2008 涌井良幸・涌井貞美 共著「統計学の図鑑」技術評論社、2015
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護4／看護7／理学5／理学6／作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	水原昂廣：duo20and35ikoetx@eos.ocn.ne.jp
備考	高校数学の数学I・数学A程度の知識を仮定する。 授業では、教科書・ノート・電卓の3点セットを忘れないこと。 毎回、講義資料(講義要項と演習問題および統計資料)を配布する。 90分のうち、60分を講義、残りの30分を問題演習に充てる。 原則として、毎回提出するレポートは、採点・添削して次回に返却するので、各自ファイルして結果を確認しておくこと。 実際に問題演習を通して、一緒に皆で統計学を楽しみましょう。

授業科目	環境学	科目英語表記	Environmental Studies		
職名、担当教員氏名	「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」岡田 光正（放送大学名誉教授）、藤江 幸一（千葉大学理事） 「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」主任講師名：六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）、向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長） 「環境と社会（'21）」大塚 直（早稲田大学教授） 「人文地理学からみる世界（'22）」佐藤 廉也（大阪大学教授）、宮澤 仁（お茶の水女子大学教授）				
科目責任者氏名	「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」岡田 光正（放送大学名誉教授）、藤江 幸一（千葉大学理事） 「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」主任講師名：六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）、向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長） 「環境と社会（'21）」大塚 直（早稲田大学教授） 「人文地理学からみる世界（'22）」佐藤 廉也（大阪大学教授）、宮澤 仁（お茶の水女子大学教授）				
学内連絡教員氏名	教授・沼澤さとみ				
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	放送大学が開講する「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」、「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」、「環境と社会（'21）」、「人文地理学からみる世界（'22）」のいずれかをオンデマンドで履修する。 「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」（放送大学のシラバス参照） 地域から地球に至るまでの環境問題の諸側面を様々な視点からとらえるとともに、その解決方法に関して基礎的かつ広範な視点を学習する。このため、人の健康、人の利用、さらには生態系保全といった環境問題の諸側面、都市、地域、国際、地球といった地域の広がりを対象とした環境問題のとりえ方について学ぶ。また、原因の同定から解決のための技術の概要について解説する。さらに、大気汚染、水質汚濁、都市環境といった身近な環境問題から、安全・安心、循環型社会、自然共生社会、低炭素社会という現代の環境問題のとりえ方についても解説する。 「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」（放送大学のシラバス参照） 温暖化に代表される地球環境問題は人類ならびに地球全体の問題である。これまで、温暖化の原因研究や将来の影響予測等とともに、緩和策・適応策に関する研究や議論がIPCCやCOPの場で長く行われてきた。そして、2015年COP21「パリ協定」が締結され、ようやく途上国、先進国が一丸となって、温度上昇の目標設定、緩和量の各国目標設定、資金提供、これらに対する観測、報告、評価などに向けて初めての一貫した方針が出された。本講座では、これまでの地球温暖化問題の研究の歴史とともに研究成果を整理した後、政府、企業、研究機関、市民それぞれの現在の取り組み内容を俯瞰し、この問題解決のために人類が取り得る行動とその可能性について考える。 「環境と社会（'21）」（放送大学のシラバス参照） 環境を巡る社会のあり方について、生態学、経済学、法学の3つの学問分野から取り上げ、環境問題に関する総合的な学習をする。 「人文地理学からみる世界（'22）」（放送大学のシラバス参照） 大学レベルの人文地理学初学者のための入門として、人文地理学に特有の見方・考え方を身につけることを目標に、世界や日本の多彩な事例をとりあげながら、わかりやすく解説する。導入部分について、まず環境と人間の関係をとらえるためのいくつかの研究視角を紹介し、さらに都市と空間へのアプローチへと進む。その際、環境問題や災害・防災、都市化、グローバル化、少子高齢化といった現代的課題に言及する。また、近年急速に発展してきたGIS（地理情報システム）の考え方や応用例を紹介し、現代社会の分析における可能性を示す。				
到達目標	「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」（放送大学のシラバス参照） 環境問題の諸側面を様々な視点からとらえるとともに、その解決方法に関して基礎的かつ広範な視点を理解するとともに、身近な環境問題から地球環境に至るまでの新しい環境に関する考え方を理解する。 「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」（放送大学のシラバス参照） 地球環境問題（特に地球温暖化）を科学的に正しく理解した上で、これまでの地球温暖化防止に向けた国際社会、政府、企業、市民の取り組みを俯瞰し、自治体や民間企業で行われている先進的な試みについて理解を深める。 更に、大幅な温室効果ガス削減のための研究実証事例や期待できる成果を理解する。 最終的には、受講生ひとりひとりがこれらを自身の問題と捉え、問題解決に向けてもっとも納得できる行動に結びつける。 「環境と社会（'21）」（放送大学のシラバス参照） 生態学、経済学、法学の3つの学問分野のそれぞれの観点を含め、環境問題に関して総合的に理解する。 「人文地理学からみる世界（'22）」（放送大学のシラバス参照） 人文地理学に特有の見方・考え方を身につけるとともに、変化の急速な社会の理解に有用な地理学的分析の枠組みや手法について概観を得る。またこれらの理解の上に、現代的問題へのアプローチの方法に接することをめざす。				
成績評価方法	「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」（放送大学のシラバス参照） 「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」（放送大学のシラバス参照） 「環境と社会（'21）」（放送大学のシラバス参照） 「人文地理学からみる世界（'22）」（放送大学のシラバス参照）				
成績評価基準	「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」（放送大学のシラバス参照） 「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」（放送大学のシラバス参照）				

授業計画

回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」 環境問題のとりえ方と解決方法のフレームワーク</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」 パリ協定と地球温暖化対策の課題</p> <p>「環境と社会（'21）」 さまざまな地球環境問題</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」 人文地理学はどんな学問か？</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」 環境問題の諸側面をさまざまな視点からとらえるとともに、その解決方法に関する考え方の全体的な枠組みを学習する。河川の水質汚濁という身近な環境問題を一例として取り上げ、環境問題を問題認識から始めてその解決方法を考えていく方法、およびDPSIRフレームワークという要因-負荷-状態-影響-対策と関連づける方法論について考えてみる。また、順応的管理の考え方を学ぶ。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」 2015年に採択されたパリ協定の下、地球温暖化の対策はこれまでにない真剣な取り組みが求められることになった。本講座ではその背景と地球温暖化の科学的側面を理解し、人類が持続的に発展するために今なすべきことをあらためて考えてみたい。まず、地球温暖化が人類に問うている課題をマクロな視点で理解し、次いでパリ協定の歴史的意義を概説する。さらに温暖化防止に関する今後のあらゆるステークホルダー（関係者）の取り組みのあり方を考える。</p> <p>「環境と社会（'21）」 いわゆる地球環境問題と言われる問題全体を俯瞰して、その原因と社会に与える影響を概観する。地球環境問題は人間活動が原因となっており、それが人間生活のさまざまな局面で影響を及ぼしている事実を解説する。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」 現代社会において人文地理学が対象とする領域は多岐にわたる。激しく変化し、複雑化する現代社会の問題に対する人文地理学のアプローチの特徴について、その学問体系や発展過程、鍵概念を解説し、あわせて日本の地理学界の研究動向を紹介する。</p>			<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」 岡田 光正（放送大学名誉教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」 六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）他</p> <p>「環境と社会（'21）」 中静透（森林研究・整備機構理事長）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」 宮澤 仁（お茶の水女子大学教授） 佐藤 廉也（大阪大学教授）</p>
2	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」 環境問題のとりえ方</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」 地球環境問題と地球温暖化</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」 環境におけるどのような現象が環境問題としてとらえられるか？ ここでは、環境基本法における環境問題のとりえ方をもとに、人の健康の保護、生活環境の保全、自然環境の保全のそれぞれの視点から、大気、水、土</p>			<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」 岡田 光正（放送大学名誉教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」 向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長）</p>

	<p>「環境と社会（'21）」気候変動の原因と影響</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」地図とGISの発展</p>	<p>壊などの対象媒体における環境問題をどのようにとらえるか、逆にいえばどのような環境が望ましい姿であるか、問題認識の基本的な考え方について解説する。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球環境問題の中で最大の課題とされる地球温暖化について、地球環境問題の分類とともにその位置付けを明らかにし、歴史、特徴等について解説する。</p> <p>「環境と社会（'21）」地球環境問題のなかで、気候変動に的を絞り、その原因が人間活動による温室効果ガスの増加であること、その影響は気候の温暖化だけでなく、降水量の変化、海洋酸性化、災害の激化などを引き起こすこと、その対策に緩和策と適応策があることを解説する。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」現代の社会では大量の地理情報が蓄積されるようになっており、地図やGISは大量の地理情報の管理や分析にも使われるようになっていいる。過去から現在に至るまでの地図とGISの発展について概観した上で、事例を示しながら、地図とGISが人文地理学の研究でどのように使われているのか紹介する</p>			<p>「環境と社会（'21）」中静透（森林研究・整備機構理事長）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」矢部 直人（東京都立大学准教授）</p>
3	<p>「環境問題のとらえ方と解決方法（'17）」環境問題の発生原因とその解決方法</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球温暖化の予測と影響</p> <p>「環境と社会（'21）」生物多様性と生態系サービス</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」人間と環境をむすぶ文化の役割</p>	<p>「環境問題のとらえ方と解決方法（'17）」環境問題が人間のどのような行為から発生するか？ 汚染物質の環境への排出そのものが問題を生むのではなく、排出後の移動や変化、複数の要因などの問題発生に至るさまざまな側面を考える。また、排出のみならず、環境の利用や改変に伴う環境問題の発生原因も考える。さらにはその解決方法として排出削減、発生抑制などの緩和策とともに、適応策についても学ぶ。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球表面付近の気温が温室効果ガス濃度の上昇とともにどのように今後変化していくのか、地球温暖化の予測方法とそれが及ぼす環境への影響について解説する。人為的な温室効果ガス排出が、将来の気候をどのように変えると考えられているのか、その予測手法と考え方から、今後の課題などをあげる。</p> <p>「環境と社会（'21）」生物多様性が劣化する現状とその原因が人間の土地利用や過剰な生物資源の利用、農林水産業のやり方の変化や外来生物な</p>			<p>「環境問題のとらえ方と解決方法（'17）」岡田 光正（放送大学名誉教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長）</p> <p>「環境と社会（'21）」中静透（森林研究・整備機構理事長）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」佐藤 廉也（大阪大学教授）</p>

		<p>どにあること、その影響が生 態系サービスの劣化を通じて 人間社会に影響を及ぼしてい ること、さらに、その対策な どを解説する。</p> <p>「人文地理学からみる世界 (’22)」人間・環境系へのア プローチの例として、環境に 対するローカルな知識を、世 代を超えて伝達・継承される 文化としてとらえ、分析する 方法を取りあげる。熱帯林に 依存して暮らすアフリカの 人々を事例とし、自然環境に 対する知識や技術の獲得・継 承・変容を把握するための研 究法を紹介する。</p>		
4	<p>「環境問題のとらえ 方と解決方法 (’17)」 環境の望ましい状態</p> <p>「地球温暖化と社会 イノベーション (’18)」地球温暖化 -大気組成変化とそ の観測-</p> <p>「環境と社会 (’21)」 森林の持続的利用</p> <p>「人文地理学からみ る世界 (’22)」環境 への文化的な適応と しての焼畑</p>	<p>「環境問題のとらえ方と解決 方法 (’17)」問題とは現状と 目標のギャップである。した がって、環境問題を正確に認 識するには具体的な目標、す なわち環境の望ましい状態を 定義することが不可欠であ る。ここでは、このような環 境の望ましい状態をどのよう に定義するか、水質環境基準 を例としてその考え方を理解 するとともに、より大きな視 点である未来社会のあり方の ような目標、並びにそれを実 現する道筋について学ぶ。</p> <p>「地球温暖化と社会イノー ベーション (’18)」現在の地球が 置かれている状況について、 大気の組成の変動やその温 暖化への寄与の観点から見て いく。人為寄与により歴史的 に大気組成が変化してきたこ とを長期的モニタリングデー タや最新の観測技術などを含 めて紹介し、その特徴や今後 の課題について述べる。</p> <p>「環境と社会 (’21)」森林生 態系の人間による利用が引き 起こした様々な問題の現状と その影響、対策について解説 する。さらに、気候変動と生 物多様性の両方にまたがる問 題の解決についての具体的な 取り組みなどを紹介する。</p> <p>「人文地理学からみる世界 (’22)」人間・環境系へのア プローチの例として、熱帯地 域で今もさかに行われている 焼畑農耕を取りあげ、その 農法的特徴と合理性を、環境 への文化的適応として理解す る。焼畑は今日、熱帯林減少 の原因として言及されること もあるが、それは誤解であ る。誤解が広まった原因につ いても考察し、環境問題の理 解に必要な地理学的見方につ いて述べる。</p>		<p>「環境問題のとらえ方と解決 方法 (’17)」岡田 光正 (放 送大学名誉教授)</p> <p>「地球温暖化と社会イノー ベーション (’18)」向井 人史 (国立環境研究所気候変動適 応センター長)</p> <p>「環境と社会 (’21)」中静 透 (森林研究・整備機構理事 長)</p> <p>「人文地理学からみる世界 (’22)」佐藤 廉也 (大阪大 学教授)</p>
5	<p>「環境問題のとらえ 方と解決方法 (’17)」 環境の指標、モニタ</p>	<p>「環境問題のとらえ方と解決 方法 (’17)」環境基準の分析 項目となっているさまざまな</p>		<p>「環境問題のとらえ方と解決 方法 (’17)」岡田 光正 (放 送大学名誉教授)</p>

	<p>リングと評価の方法</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球温暖化－地球温暖化の緩和と将来予測－</p> <p>「環境と社会（'21）」環境問題と地域の持続可能性</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」熱帯林の開発と環境問題</p>	<p>汚濁指標はどのような考え方で定義されているか？ またどのように定量的に評価するか？ アルキル水銀、ダイオキシン、PM2.5、BOD、COD、SS、さらにはバイオアッセイなどを対象にその考え方を学ぶとともに、それらのモニタリング手法、そしてモニタリング結果に基づいて環境基準などの達成状況を評価する方法を学ぶ。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球温暖化の緩和策としての温室効果ガスの排出量削減が将来の気候変動の大きさを決めることになる。ここでは排出量の大きさと温暖化の予測との関係、ならびに、気温上昇を2℃以下へ導くためには、温室効果ガスの排出量をどの程度に抑える必要があるかを解説する。また、現状の削減計画ではまだ将来の気候変動の緩和には不十分であることも言及する。</p> <p>「環境と社会（'21）」持続可能性と自然資本の考え方について述べ、地球全体あるいは地域の持続可能性を考えるうえで必要な、エコロジカルフットプリント、自給率、人間開発指数などの概念について解説する。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」環境問題への地理学的アプローチの例として、熱帯林開発の問題をとりあげる。豊富な雨量と日光が得られる熱帯雨林地域は、植民地期から大規模農園開発のフロンティアであり続けた。近年顕著にみられるアブラヤシ農園の拡大がどのような問題を引き起こし、それに対してどのようなローカル／グローバルな対応がなされているのかを考察する</p>			<p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長）</p> <p>「環境と社会（'21）」中静透（森林研究・整備機構理事長）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」祖田 亮次（大阪公立大学教授）</p>
6	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」大気環境保全技術</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球温暖化の影響と適応</p> <p>「環境と社会（'21）」環境経済学の基礎</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」河川生態系の資源利用と環境動態</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」化石燃料の燃焼や廃棄物の焼却によって硫酸酸化物(SOX)、窒素酸化物(NOX)、粒子状物質(PM)などの大気汚染物質が大量に発生し、黒煙によるスモッグの発生や酸性雨による金属類の腐食やコンクリート、大理石等の劣化、さらには呼吸器系の疾患など人の健康に対する影響を引き起こしてきた。これらによる環境影響を把握した上で、燃焼排ガスから排出される主要な大気汚染物質を効果的に除去するために広く利用されている技術について、その原理とプロセスおよび有効な利用方法、さらには問題点について紹介し、大気汚染の原因と対策についての理解</p>			<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」藤江 幸一（千葉大学理事）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長）他</p> <p>「環境と社会（'21）」諸富 徹（京都大学大学院教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」池口 明子（横浜国立大学准教授）</p>

		<p>を促進する。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球温暖化の影響という観点から問題を整理し、地域ごとに異なる自然生態系や人間活動への影響とはどのようなものであるかをIPCCのWG2報告書を基に俯瞰し、我が国での適応計画を見ながら今後の適応施策の必要性や課題を考える。</p> <p>「環境と社会（'21）」環境問題を経済学の視点から考えるための基礎的な理論、概念の解説を行う。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」人間・環境系へのアプローチの例として、河川生態系への環境適応と社会変化の問題をとりあげる。熱帯島嶼の河川生態系には地域固有性の高い豊かな生物相がみられ、これを利用する人間の重要な生活領域となっている。ニューギニア島のセビック川流域を事例として、食物選択や採集・漁撈技術の面から環境適応への理解を深めるとともに、社会変化の影響について考察する。</p>		
7	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」水・地下水・土壌環境保全技術</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」問題解決への取り組み（1）日本の取り組みと国際、国内合意形成</p> <p>「環境と社会（'21）」環境政策の経済的手段とポリシー・ミックス</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」先住民の地図と環境利用</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」水や土壌の環境基準の達成のために、排水の浄化や地下水・土壌汚染への対策の基本的な考え方を学ぶ。排水処理の対象場合と、地下水・土壌汚染対策の場合と、対象となる汚染物質や汚濁物質について理解するとともに、各対策技術の原理やどのように対策技術を選定するかの考え方についても理解する。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」温室効果ガス等の排出量削減に対し、京都議定書からパリ協定に至るまでの国際的枠組み形成について日本や他国政府の立場を紹介しつつ、パリ協定実施のための削減シナリオや行動に向けたプロセスや課題等について解説する。</p> <p>「環境と社会（'21）」環境問題を解決するための政策手段にはどのようなものがあるのか、どのような政策手段を選択し、組み合わせるべきかを、「経済的手段」を中心に解説する。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」人間・環境系へのアプローチの例として、先住民の作成する地図をとりあげる。ラテンアメリカでは、先住民運動の一環として環境利用を地図化する活動が活発化</p>		<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」小林 剛（横浜国立大学大学院准教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長）他</p> <p>「環境と社会（'21）」諸富 徹（京都大学大学院教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」池口 明子（横浜国立大学准教授）</p>

		<p>している。西カリブ海沿岸地域に暮らす人々に焦点をあて、環境利用と社会の変化について理解を深めるとともに、先住民の地図作成の意義や課題について考察する。</p>			
8	<p>「環境問題のとらえ方と解決方法（'17）」 廃棄物処理・資源保全技術</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」問題解決への取り組み（2）ステークホルダーとその役割</p> <p>「環境と社会（'21）」環境政策における経済的手段の理論と実際</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」治水と利水の環境変遷史</p>	<p>「環境問題のとらえ方と解決方法（'17）」鉄道や道路、そこを走行する電車や自動車、多くの家庭電化製品や食料など、毎日の暮らしが多様な機能によって支えられていることがわかる。社会インフラの建設や工業製品の製造、そしてそれらの利用に多様な資源・エネルギーが消費され、一方で大量の廃棄物、排水、排ガスが排出されている。本章では、産業活動や日常生活による廃棄物の種類や発生量を把握するとともに、どのように処理・処分されているのか、どのような技術が利用されどのような効果が得られるのか、どのような問題があるのか等について理解した上で、持続可能社会を目指した今後の取り組みについて考える。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球温暖化問題に対応する上では、それだけを解決するというよりは、多層に関連するグローバルな問題を解決し、将来に向けた持続的な社会や世界を作り上げていく必要がある。そのためには、国だけではなく企業や市民など多様なステークホルダーが果たす役割が重要である。ここでは、2015年に合意された持続可能な開発目標SDGsを含む2030年アジェンダ達成に向け、地球温暖化問題に対する行動を実社会・実生活の中で実践し、より持続的な企業や市民のライフスタイルへの変換の必要性を解説する。</p> <p>「環境と社会（'21）」「カーボンプライシング(炭素の価格づけ)」をはじめ、環境政策における経済的手段の適用は、世界中に広がっている。それらは、実際に問題解決に効果があったのか、また、環境経済理論にどれだけ忠実／乖離しているのかを検証し、その背景理由を解説する。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」人間・環境系へのアプローチの例として、治水・利水の歴史をとりあげる。治水と利水の歴史は古代にまで遡る。それは、人間による環境変遷の歴史であり、河川という自然環境を通じた社会関係・地域間関係の歴史でもあった。技術の進展がもたらした河川管理・利用の劇的な変</p>			<p>「環境問題のとらえ方と解決方法（'17）」藤江 幸一（千葉大学理事）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長）他</p> <p>「環境と社会（'21）」諸富 徹（京都大学大学院教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」祖田 亮次（大阪公立大学教授）</p>

		化を、日本を中心とする東アジア・東南アジアの150年史のなかで捉え直すことで、人間・環境系の変化を考察する視点を得る。		
9	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」大気に関する環境問題とその解決方法</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」産業界の取り組み（1）1次エネルギー</p> <p>「環境と社会（'21）」再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」都市と災害</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」固定発生源に匹敵する窒素酸化物(NOx)が自動車排ガスから排出されており、同時に排出される粒子状物質(PM)とともに大気環境の深刻な汚染や健康影響をもたらしてきた。NOxは揮発性有機化合物（VOC）の存在下で紫外線的作用によって、目や呼吸器への障害をもたらす光化学オキシダントを生成する。本章ではまず、自動車排ガスによる環境やヒトの健康に対する影響と自動車排ガス規制の歴史的経緯を紹介する。ガソリン自動車とディーゼル自動車について、燃費性能の向上を図りながら、多様な運転条件下で排ガス中のNOxとPMを効率的に低減する技術の原理とプロセスについての理解を促進する。PM2.5の越境汚染についても紹介する</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球環境問題に対する産業界の取り組みとして、1次エネルギーの今後や再生可能エネルギーと省力化・効率化に焦点を当てて解説する。</p> <p>「環境と社会（'21）」再生可能エネルギーはつい最近まで、高コストで変動性が高いため、その大量導入は不可能で望ましくないとわれてきた。だが、大きく局面は変わりつつある。固定価格買取制度(FIT)がもたらす政策効果、産業影響、電力系統接続ルールと費用負担、電力システム改革との関係について解説する。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」日本の都市の多くは低地に展開し、戦後、周辺の丘陵地等に住宅地が開発された。前者は水害、後者は土砂災害のリスクを伴っている。都市における、地震等を含む自然災害リスクと防災の取組について、紹介する。</p>		<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」藤江 幸一（千葉大学理事）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）</p> <p>「環境と社会（'21）」諸富 徹（京都大学大学院教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」村山 良之（元山形大学教授）</p>
10	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」水・地下水・土壌に関する環境問題とその解決方法</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」産業界の取り組み（2）水素社会と炭素隔離</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」日本における河川、湖沼、ダム湖などの表流水、また地下水や土壌に関する環境問題、すなわち環境基準とその達成状況を解説する。また、その保全に対して日本が行ってきた主要な対策、すなわち、表流水や地下水を対象とした様々な排水規制、並びに土壌汚染対策の現</p>		<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」岡田 光正（放送大学名誉教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）</p> <p>「環境と社会（'21）」諸富 徹（京都大学大学院教授）</p>

	<p>「環境と社会（'21）」環境問題と経済成長</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」世界都市の都心空間</p>	<p>状と課題について解説する。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」低炭素化を図るためには、実効性のある二酸化炭素の隔離技術などが必要になっている。一方で、二酸化炭素を排出しない水素利用が現実味を帯びてきている。ここでは具体的な活用事例を紹介し、将来像を概説する。</p> <p>「環境と社会（'21）」環境政策は、経済成長を阻害するといわれるが、本当だろうか。環境問題と経済成長の関係をめぐる様々な議論を紹介し、実際に、環境政策の進展が経済成長にどのような影響を及ぼしてきたのかを検証することで、環境問題と経済成長の関係を問い直す。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」グローバルな都市システムに関する研究分野である世界都市論について概説する。その後、世界都市としての東京の位置づけの変化を概観した後、東京都心部における空間の変化について説明する。</p>			<p>「人文地理学からみる世界（'22）」矢部 直人（東京都立大学准教授）</p>
11	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」廃棄物に関する環境問題とその解決方法</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」産業界の取り組み（3）環境にやさしいさまざまな要素技術</p> <p>「環境と社会（'21）」環境における法の役割</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」都市空間とエスニシティ・観光</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」平成12年6月に循環型社会形成推進基本法が制定され、廃棄物のリサイクルを推進する政策が進められている。持続可能な未来社会を実現するには、できるだけ少ない資源・エネルギーの消費と環境負荷で、人間活動に必要な機能を過不足なく提供できる社会システムを構築しなければならない。このためには、まず人間活動による資源・エネルギーの消費量と廃棄物の発生量の状況を把握する。次に、資源を有効活用するためのリサイクル技術とその特徴を明らかにした上で、廃棄物の再資源化による循環利用システムを計画する。加えて、物質・エネルギーのフローとコストなどを指標として、対象とする地域における物質循環システムの評価を行う。本章では、これらを事例に基づいて解説する。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球環境問題に取り組むための要素技術開発と環境政策に関して解説する。また、環境エネルギー技術革新計画を参照した上で、多様なリサイクル技術、素材開発技術などについて取り上げる。</p> <p>「環境と社会（'21）」環境問題について法はどのような役割を果たしているでしょう</p>			<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」藤江 幸一（千葉大学理事）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）</p> <p>「環境と社会（'21）」大塚 直（早稲田大学教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」矢部 直人（東京都立大学准教授）</p>

		<p>か。そもそも法とはどのようなものでしょうか。近代以降の財産権尊重の思想に対し、環境問題は、公共の福祉による財産権等の制限を要請しました。公害と「科学的不確実性」のあるリスクの双方の問題を扱います。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」東京に流入するグローバルな人の流れを、中長期的な滞在者である移民と、短期的な滞在者である旅行者に分けて取り上げ、それらの移動が起きる背景と都市空間に与える影響について説明する。</p>		
12	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」都市のヒートアイランド現象とその対策</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」緩和と適応の国際協力</p> <p>「環境と社会（'21）」環境基本法と環境法の理念・原則</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」大都市における子育てと働き方</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」都市環境問題の一つとして、ヒートアイランド現象を取り上げ、形成要因とその特徴について理解する。ヒートアイランド現象の形成要因は私たちの生活空間であるまちの中にある。夏にはまちの中に熱があふれていることを赤外線放射カメラによる熱画像で可視化する。以上をふまえ、ヒートアイランド現象に対する種々の対策技術を整理するとともに、これからのまちづくり、すなわち、今日の地球環境時代における環境負荷の小さい快適なまちづくりを考える。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」COP21で採択されたパリ協定には、先進国も開発途上国も削減目標を立て5年ごとに国連へ報告すること、そして、先進国は引き続き、途上国に資金支援や技術開発・移転を行うことが盛り込まれている。日本政府は2020年に官民あわせて年間約1兆3千億円の気候変動関連の途上国支援を行うことを発表し、パリ協定の合意を後押しした経緯もあり、国際協力は地球温暖化の解決に向けた取り組みとして重要性を増している。この回では、緩和策の一例として水田における緩和技術開発について、また、適応策の一例として防災について焦点を当て、日本が取り組んでいる国際協力の事例を紹介する。</p> <p>「環境と社会（'21）」環境基本法は1993年に制定されましたが、どのような背景で制定され、また、どのような特色を持っているのでしょうか。環境権の規定は環境基本法に明確な規定はありませんが、その趣旨を入れたものがないわけではありません。環境権以外にも環境法の理念というものがあるのでしょうか。</p>		<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」梅干野 晁（放送大学客員教授、東京工業大学名誉教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）他</p> <p>「環境と社会（'21）」大塚 直（早稲田大学教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」宮澤 仁（お茶の水女子大学教授）</p>

		<p>「人文地理学からみる世界（'22）」少子化対策として保育サービスの拡充をはじめとする子育て支援が行われてきた。しかし、日本の大都市では保育所の待機児童が解消されないなど課題が多い。時間地理学の枠組みとGISを用いて、大都市における子育てと仕事の両立について考察するとともに、保育政策と働き方改革との連携の必要性について論じる。</p>		
13	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」化学物質に関する環境問題とその解決方法</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」ICTとスマート化による環境貢献</p> <p>「環境と社会（'21）」個別環境法の仕組みと環境影響評価法</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」大都市高齢者の居住安定と福祉</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」化学物質が生活や産業の中でどのように利用されているか、化学物質が環境問題とどのように関係しているかを整理する。また、人や環境への化学物質の悪影響をリスクとして理解し、リスクをマネジメントするための考え方を整理して、安全・安心社会の基礎となる解決方法を学ぶ。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」地球温暖化問題の解決に有効なICTの活用について、その効果と省エネルギー対策、ならびにICTを活用した適応型ソリューションについて理解する。さらに、ICTによってスマート化された社会システムであるスマートコミュニティについて、その概要ならびに国内における事例について理解する。</p> <p>「環境と社会（'21）」環境規制は伝統的には公害と自然保護の分野に分かれますが、廃棄物処理、温暖化対策などに広がっています。これらの仕組みはどのようになっているのでしょうか。また、開発行為をする前にその行為が環境に及ぼす影響を事前に調査・予測することは、環境破壊を防止するために極めて重要です。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」都市における人口高齢化への対策は日本社会の大きな課題である。特に大都市において今後急増する高齢者の生活を支えるための体制を整備しなくてはならない。超高齢社会を迎える都市の福祉的課題の理解や対策立案に対して、人文地理学の空間的なものの見方や研究手法がどのように援用可能であるかを説明する。</p>		<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」亀屋 隆志（横浜国立大学大学院准教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）</p> <p>「環境と社会（'21）」大塚 直（早稲田大学教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」宮澤 仁（お茶の水女子大学教授）</p>
14	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」生態系における環境問題とその解決方法</p> <p>「地球温暖化と社会</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」自然共生社会を目指すために、自然環境保全の必要性を理解するとともに、生態系、生物多様性の考え方や、生態系サービスや里</p>		<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」岡田 光正（放送大学名誉教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」六川 修一</p>

	<p>イノベーション 「18」みんなで地球環境を守る（1）地球環境保全に向けて</p> <p>「環境と社会（21）」環境訴訟</p> <p>「人文地理学からみる世界（22）」大都市郊外の持続再生とその担い手</p>	<p>地・里山の考え方について学ぶ。また、現在、生態系と生物多様性がどのような危機に瀕しているか、代表的な4つの危機について考えてみる。さらにこのような危機の解決方法について学ぶとともに、既に失われた自然、生態系を取り戻すための自然再生の考え方を理解する。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（18）」ひとりの市民として地球環境保全活動を能動的に行うため、実際の環境貢献に向けた行動計画を策定する。特に地域社会人としての行動、組織社会人としての行動を考え、そしてそれを社会連携や産業協働を通じてより効果的な対策に展開していくことの必要性について述べる。これらのことを通じて地球に生かされている私たちの生き方そのものについても考えを深めたい。</p> <p>「環境と社会（21）」環境訴訟は大きく民事訴訟と行政訴訟に分けられます。それぞれについて環境問題にどう対処しているのでしょうか。また、公害民事紛争について訴訟による救済の困難性に対処するために、公害紛争処理制度が設けられています。これについても取り上げることしましょう。</p> <p>「人文地理学からみる世界（22）」大都市の郊外住宅地においては、高齢化対応を含めてその持続再生が課題である。人文地理学の視点や手法を用いて、郊外住宅地の現状を分析するとともに、持続再生の担い手について考える。特に民間の企業や非営利組織（NPO）などの地域のアクターの役割に注目する。</p>			<p>（防災科学技術研究所主幹研究員）</p> <p>「環境と社会（21）」大塚 直（早稲田大学教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（22）」宮澤 仁（お茶の水女子大学教授）</p>
15	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（17）」地球環境問題とその解決方法</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（18）」みんなで地球環境を守る（2）地球市民としてのチャレンジ</p> <p>「環境と社会（21）」原発規制と放射性物質による汚染への対処</p> <p>「人文地理学からみる世界（22）」人文地理学の系譜と進化</p>	<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（17）」低炭素社会を目指し、地球環境問題を解決するための基礎的な知識である地球温暖化と気候変動の現状とその原因である温室効果ガス排出とその影響評価について学ぶ。また、問題解決に向けた将来予測とその基礎となる排出シナリオ、さらにそれに基づく将来予測結果について学ぶ。これらは、世界全体とともに日本への影響についても考える。そして、予測される問題に対応するための2つの対策、すなわち緩和策と適応策の必要性について考えてみる。</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（18）」地球市民として今後の省エネルギー社会のあり方を論ずるとともに、そ</p>			<p>「環境問題のとりえ方と解決方法（17）」岡田 光正（放送大学名誉教授）</p> <p>「地球温暖化と社会イノベーション（18）」六川 修一（防災科学技術研究所主幹研究員）他</p> <p>「環境と社会（21）」大塚 直（早稲田大学教授）</p> <p>「人文地理学からみる世界（22）」佐藤 廉也（大阪大学教授）</p>

	<p>れを実現するためのアプローチを考える。次いで、一人一人が地球環境保全に向けて行動するための方法論についても論じる。最後に、本講座全体をとりまとめるとともに、日々、状況がかわると思われる地球温暖化の状況やその対策技術に関心を持ち続けることの重要性を再掲してまとめとする。</p> <p>「環境と社会（'21）」東日本大震災に伴って発生した福島第1原発事故は、原発規制に関する根本的な改革を迫ることになりました。では、従来の原発規制にはどのような不備があり、それはどのように改正されたのでしょうか。また、放射性物質による汚染は従来環境法の体系からはずされていましたが、法改正により、環境法に取り込まれたといわれています。これにはどのような意味があるのでしょうか。これらの点を扱います。</p> <p>「人文地理学からみる世界（'22）」科目全体の総括として、古典地理学の問いを手がかりに、人文地理学の学問的革新の歴史を振り返り、古典地理学において提示された問いが時代にあわせて繰り返し更新され発展する動態をみる。そうした「系譜と進化」を踏まえ、人文地理学の未来について展望する。</p>			
--	--	--	--	--

日付	
----	--

教科書	「環境問題のとらえ方と解決方法（'17）」 「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」 「環境と社会（'21）」 「人文地理学からみる世界（'22）」
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護1／看護6
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教育補助教員 看護学科 沼澤さとみ 研究室11 snumazawa@yachts.ac.jp

授業科目	生命倫理学	科目英語表記	Bioethics		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 平田 俊博				
科目責任者氏名	平田 俊博				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	理学－選択 作業－必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	生命倫理学が患者中心の医療を目指すという点で、一種の人権運動であることを理解させたい。コロナ・パンデミックに襲われている人類は、今後も多種多様な新ウイルスとの共生を覚悟しなければならない。ウクライナやパレスチナ戦争も重なり、全世界の社会構造全体が大変革を迫られている現在、医療界も抜本的な改革を避けられない。感染症対策が喫緊の重大課題となるにつれ、生命倫理学は医療倫理学の枠を超え、地球環境倫理学、保健衛生倫理学、デジタル倫理学をも射程に収め、学際的な哲学として内容を一新する。患者と家族を含む医療関係者全員の人権と幸福も確保しつつ、どのようにして医療崩壊を防ぎ、安全安心な家庭と社会を築くべきかを、共に考えたい。				
到達目標	哲学としての生命倫理学やデジタル時代の倫理について、学生が医療従事者として、関係者と稔りある対話が可能な程度に、以下の5分野の知識を習得し、説明できるようになる。 ①哲学としてのバイオエシックス(生命倫理学と地球システム倫理学と医療倫理学)、②コロナ・パンデミックと医療事故(クラスターとシステムズ・アプローチ)、③環境ホルモンの脅威(合成化学物質と地球生態系の危機)、④デジタル時代の倫理(進行性近視、遺伝子治療、着床前診断、未来世代の人権、女性の人権)、⑤人体と死(脳死移植と家族、死の自己決定、延命中止、末期医療と葬送儀礼)。				
成績評価方法	定期試験70% (中間10%・期末60%)、授業内レポート(4回以上提出)20%、授業内プレゼンテーション10%。合計100点満点。 定期試験では、到達目標の各課題を正確に理解し、他人にも明確に伝達できるかを評価。レポートでは、キーワードの的確さ、要旨、感想、提言の説得力を重視。プレゼンテーションでは、各自のレポート発表で、明確な発声力、伝達力、質疑力を評価。				
成績評価基準	特に優れている (A)；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている (B)；根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である (C)；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達 (D)；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない (F)；説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	哲学としての生命倫理学	バイオエシックスの多義性	シラバスの説明、「カントと生命倫理」抄読	平田「カントと生命倫理」精読	平田
2	地球環境危機と医療 ①コロナ・パンデミック	院内感染とクラスター、医療崩壊、介護崩壊、医療者と家族へのいじめ	関連テーマの視聴学習・質疑応答、レポートの書き方指導	レポート①、NIE「最新の医療報道」	平田
3	地球環境危機と医療 ②ウイズ・コロナ時代の生命倫理	デジタル医療、外来トリアージ、後遺症、葬送儀礼と患者家族、レポート①提出	関連テーマの視聴学習・質疑応答、QOLとSOLの説明、『沈黙の春』抄読	カーソン『沈黙の春』精読、NIE「最新の医療報道」	平田
4	地球環境危機と医療 ③生命観、人生観、生活観の変貌	地球生態系の激変、残留性化学物質と人体汚染、感染症蔓延と保健衛生倫理	関連テーマの視聴学習、レポート①プレゼン、質疑応答、『奪われし未来』抄読	レポート②、コルボーン『奪われし未来』精読	平田
5	医療者の人権と安全 ①過重労働から解放	医療者の燃え尽き症候群と対策、レポート②提出	関連テーマの視聴学習・質疑応答、『奪われし未来』抄読	レポート③、NIE「最新の医療報道」	平田
6	医療者の人権と安全 ②システムズ・アプローチ、中間試験	医療ミスと医療事故、職種間の連携、リスクマネジメント、レポート③提出	ヒヤリハット報告書、航空事故に学ぶ、レポート②プレゼン、質疑応答	NIE「最新の医療報道」	平田
7	医療者の人権と安全 ③デジタル医療と眼軸近視	AI社会とリモート診察、乳幼児斜視、進行性近視、成人発症近視	関連テーマの視聴学習、遺伝子より生活習慣、レポート③プレゼン、質疑応答	レポート④、NIE「最新の医療報道」	平田
8	生殖医療と命の責任 ①フェミニズム	母性とジェンダー・サイエンス、レポート④提出	関連テーマの視聴学習、モザイク脳とLGBTと月経	レポート⑤、NIE「最新の医療報道」	平田

9	生殖医療と命の責任 ②不妊治療	晩婚化と環境ホルモン、着床前診断、レポート⑤提出	卵子老化・精子劣化、レポート④プレゼン、質疑応答	レポート⑥、NIE「最新の医療報道」	平田
10	生殖医療と命の責任 ③デザイナーベビー	優生学と遺伝子治療、代理母、レポート⑥提出	未来世代の人権、レポート⑤プレゼン、質疑応答	レポート⑦、NIE「最新の医療報道」	平田
11	臓器移植①匿名の原則と家族の同意	進まない日本の脳死移植、レポート⑦提出	海外移植、レポート⑥プレゼン、質疑応答	レポート⑧、NIE「最新の医療報道」	平田
12	臓器移植②グローバル化する臓器売買	国際的な人権感覚、レポート⑧提出	自家移植、iPS細胞、レポート⑦プレゼン、質疑応答	レポート⑨、NIE「最新の医療報道」	平田
13	救急医療と延命停止—末期医療	救急搬送と救命医療、レポート⑨提出	死ぬ権利、レポート⑧プレゼン、質疑応答	レポート⑩、NIE「最新の医療報道」	平田
14	安楽死と尊厳死—再生親と宗教	ホスピタルとホスピス、ピハ—ラ、レポート⑩提出	ホスピス看護師、レポート⑨プレゼン、質疑応答	NIE「最新の医療報道」	平田
15	講義全体のまとめ	期末試験問題発表と説明	レポート⑩プレゼン、質疑応答	期末試験の対策	平田

日付

6.4.10 (水) 3
6.4.17 (水) 3
6.4.24 (水) 3
6.5.1 (水) 3
6.5.8 (水) 3
6.5.15 (水) 3
6.5.22 (水) 3
6.5.29 (水) 3
6.6.5 (水) 3
6.6.12 (水) 3
6.6.19 (水) 3
6.6.26 (水) 3
6.7.3 (水) 3
6.7.10 (水) 3
6.7.17 (水) 3

教科書	
参考書	◎(平田他)『カントと生命倫理』晃洋書房 ◎カーソン『沈黙の春』新潮文庫 ◎コルボーン他『奪われし未来』増補改訂、翔泳社
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学1/理学5/作業4/作業5
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	平田俊博：thirata@taupe.plala.or.jp
備考	

授業科目	スポーツ学	科目英語表記	Sports Theory and Exercise		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 井上 功一郎				
科目責任者氏名	井上 功一郎				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／実習若しくは実技	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ科学および体育学の基礎知識に関する講義を行う。 ・各種スポーツのゲーム（試合）を教材とし、身体を動かす実技を実施させる。 				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) スポーツゲームの高まりや、身体を動かすことの楽しみを感じ、主体的に取り組むことができる。 2) 各種スポーツの基本的な特性や技術、初歩的なルールについて理解し、実践できる。 3) スポーツと健康の関係や、身体のメカニズムとスポーツの関連について、簡単に議論できる。 				
成績評価方法	授業への参加意欲・関心・態度（参加状況）：50% 到達目標1、2を評価 授業内容の理解度（実技・レポート）：50% 到達目標2、3を評価				
成績評価基準	特に優れている（A）：授業への参加状況が特に良好で、授業内容をより良く理解し、適切に活動や考察ができる。 優れている（B）：授業への参加状況が良好で、授業内容を良く理解し、適切に活動や考察ができる。 良好である（C）：授業への参加状況が十分で、授業内容を理解し、活動や考察ができる。 最低限の到達（D）：授業への参加状況が必要最低限で、授業内容の理解が十分ではないものの、かろうじて活動や考察ができる。 目標に到達していない（F）：授業への参加状況が不十分で、授業内容の理解の程度が判断できない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	スポーツと健康	スポーツと健康の関連と、日々の身体活動の重要性について講義をする。	スライドを用いた講義形式で授業を提供する。	自身の身体活動の現状を把握する。スポーツと健康の関わりについて考えを用意する。	井上
2	バレーボールの導入	チームを編成し、チーム内の積極的なコミュニケーションをもとに実技に取り組む。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	これまでの学校教育（体育）を振り返り、バレーボールのルールや技術について予め確認しておく。	井上
3	バレーボールの基本	チームで協力してウォーミングアップやトレーニングを実施した後に、簡易的なゲームに取り組む。	体育館で実技を伴う授業を提供する。 グループを編成して行う。	バレーボールのルールや技術についての予備知識を習得しておく。	井上
4	バレーボールのゲームの実践①	ウォーミングアップやトレーニングを行った後、リーグ戦へと展開する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	リーグ戦の対戦表のまとめ方など、リーグ戦の運営について予備知識を習得しておく。	井上
5	バレーボールのゲームの実践②	ウォーミングアップやトレーニングを行った後、リーグ戦を継続する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	前回のゲームで上手くいかなかったプレーを振り返り、技術面、戦術面から改善点について検討する。	井上
6	バレーボールのゲームの実践③	ウォーミングアップやトレーニングを行った後、リーグ戦を継続する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	前回のゲームで上手くいかなかったプレーを振り返り、技術面、戦術面から改善点について検討する。	井上
7	バドミントンの導入／卓球の導入	バドミントンまたは卓球において、基本的な技術について学び、実践する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。 バドミントンを行うグループと、卓球を行うグループを編成する。 3回実施後に種目を入れ替える。	これまでの学校教育（体育）を振り返り、バドミントンや卓球のルールや技術について予め確認しておく。	井上

8	バドミントンのゲームの実践①/卓球のゲームの実践①	ウォーミングアップやトレーニングを行った後、シングルス及びダブルスのゲームを実施する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	サービスの順序など、ゲームを円滑に進めるためのルールについて確認しておく。	井上
9	バドミントンのゲームの実践②/卓球のゲームの実践②	ウォーミングアップやトレーニングを行った後、シングルス及びダブルスのゲームを継続する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	前回のゲームで上手くいかなかったプレーを振り返り、技術面、戦術面から改善点について検討する。	井上
10	バドミントンの導入/卓球の導入	バドミントンまたは卓球において、基本的な技術について学び、実践する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	これまでの学校教育(体育)を振り返り、バドミントンや卓球のルールや技術について予め確認しておく。	井上
11	バドミントンのゲームの実践①/卓球のゲームの実践①	ウォーミングアップやトレーニングを行った後、シングルス及びダブルスのゲームを実施する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	サービスの順序など、ゲームを円滑に進めるためのルールについて確認しておく。	井上
12	バドミントンのゲームの実践②/卓球のゲームの実践②	ウォーミングアップやトレーニングを行った後、シングルス及びダブルスのゲームを継続する。	体育館で実技を伴う授業を提供する。	前回のゲームで上手くいかなかったプレーを振り返り、技術面、戦術面から改善点について検討する。	井上
13	スポーツと骨格筋	スポーツに関わる骨格筋の機能と役割について講義をする。	スライドを用いた講義形式で授業を提供する。	つながりのある専門科目の内容を振り返ったり、関連する知識について調べたりする。実体験に照らし合わせて講義内容について考察したり、関連の内容について考えを展開する。	井上
14	スポーツと心肺機能	スポーツに関わる呼吸循環器系の機能と役割について講義をする。	スライドを用いた講義形式で授業を提供する。	つながりのある専門科目の内容を振り返ったり、関連する知識について調べたりする。実体験に照らし合わせて講義内容について考察したり、関連の内容について考えを展開する。	井上
15	身近なスポーツ・健康科学	身近な健康・スポーツ科学を例に講義をする。	スライドを用いた講義形式で授業を提供する。	つながりのある専門科目の内容を振り返ったり、関連する知識について調べたりする。実体験に照らし合わせて講義内容について考察したり、関連の内容について考えを展開する。	井上

日付

6. 9.24 (火) 1・2
6.10. 1 (火) 1・2
6.10. 8 (火) 1・2
6.10.15 (火) 1・2
6.10.22 (火) 1・2
6.10.29 (火) 1・2
6.11. 5 (火) 1・2
6.11.12 (火) 1・2
6.11.19 (火) 1・2
6.12. 3 (火) 1・2
6.12.10 (火) 1・2
6.12.17 (火) 1・2
6.12.24 (火) 1・2
7. 1. 7 (火) 1・2
7. 1.14 (火) 1・2

教科書	必要があれば授業内に示す。
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6/理学1/理学5/作業1

先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	井上 功一郎 : inoue@e.yamagata-u.ac.jp 山形大学
備考	<p>実技に際して、授業前に自身の体調を確認し、運動できる状態かどうか判断する。</p> <p>水分やタオル、着替えなどを準備し、発汗への対応や体温調節ができるようにしておく。</p> <p>日常的に運動に取り組み、各自の体力向上に努めることが望ましい。</p>

授業科目	経済学	科目英語表記	Economics		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 立松 潔				
科目責任者氏名	立松 潔				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	経済学と聞くと、「大切そうな分野だけれど、堅苦しくて取っつきにくそう」と考えている人が多いのではないのでしょうか。この講義はそんな人に経済学の面白さを知ってもらうように内容を工夫しました。身近な話題やエピソードなども取り上げながら、経済学の基本的な考え方を講義します。そして現代社会の重要な経済問題についても、関心と理解を深める授業にしたいと思います。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の歴史において経済が果たしている役割を理解し、説明できるようになります。 ・経済学の基本的知識を身に付け、社会経済的現象を分析し、説明できるようになります。 ・現在日本が直面する社会経済的諸問題を理解し、説明できるようになります。 				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レスポンスカード：20%。毎回配布する用紙に授業の感想や疑問点、質問などを書いてもらいます。 ・ショートレポート：20%。6月半ば頃に提出してもらいます。レポートの技法、テーマは授業で説明します。 ・試験：60%。学期最後の授業でまとめと試験を行います。 ・上記3項目合計100点満点で評価します。 				
成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・特に優れている (A)；適切で十分な根拠を示して、論理的に説明できる。 ・優れている (B)；根拠を示して、論理的に説明できる。 ・良好である (C)；根拠を示して、ある程度論理的に説明できる。 ・最低限の到達 (D)；根拠は乏しいものの、ある程度論理的に説明できる。 ・目標に到達していない (F)；説明できていない。 				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	第1節 食文化の経済学 1. 風土と食文化 (1)昆虫食を考える	昆虫食を事例にして、気候風土による食文化の違いとその背景について考えます。	授業では配付資料（レジュメ）の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとってください。	高校の地理の教科書・参考書などを利用して世界の各地の気候風土の違いと生活への影響を調べてみましょう。	立松
2	(2)中世ヨーロッパの三圃制農業 (3)アジアの稲作農業	気候風土による農業のあり方の違いを、ヨーロッパの三圃制農業とアジアの稲作を比較することで明らかにし、食文化への影響を考えます。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとります。	配付資料やノートをもとに復習し、疑問点などを参考文献やネットなどを活用して調べ、理解をより深めるようにしましょう。	立松
3	2. 宗教上の食のタブーの経済的背景 (1)ヒンドゥー教と聖なる牛 (2)ユダヤ教、イスラム教の豚肉嫌悪	宗教による食のタブーの事例から食文化と経済の関係を考えます。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく具体的に説明します。積極的にノートをとるようにしましょう。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などについて参考文献やネットなどを活用して調べてみましょう。	立松
4	第2節 しごとの経済学 1. 日本的雇用とその特色 2. 欧米の雇用慣行とその特徴	新卒一括採用や年功制など日本の雇用の特殊性を欧米の雇用慣行と比較することで明らかにします。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明しますので、積極的にノートをとるようにしましょう。	ご両親や親戚・先輩などから仕事についての話を聞き、日本の雇用のあり方や問題点を考えてみましょう。	立松
5	3. 日本的雇用の歴史的背景 4. 日本的雇用の変質	日本的雇用の特色がいつどのように形成され、どのように変化し現在に至っているのかを明らかにします。	授業では配付資料の内容を詳しく具体的に説明します。積極的にノートをとるようにしましょう。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどを活用して調べてみましょう。	立松
6	5. 雇用格差の拡大とその背景	非正規雇用の増加とその背景について取りあげるとともに、雇用の男女格差についても説明します。	授業では配付資料の内容を詳しく具体的に説明します。積極的にノートをとるようにしましょう。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどを活用して調べてみましょう。	立松

7	6.働き方改革の現状と課題	非正規雇用の処遇改善や長時間労働の是正など、現在進められている働き方改革について検討します。	授業では配付資料の内容を詳しく具体的に説明します。積極的にノートをとるようにしましょう。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどで調べてみましょう。	立松
8	第3節 人口の経済学 1. 自然経済と人口制限 2. 資本主義的市場経済と人口爆発	資本主義成立以前の社会での人口問題と産業革命後の人口爆発について取りあげ、検討します。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとります。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどを活用して調べてみましょう。	立松
9	3. 先進国における少子化の進行	先進国において進行する少子高齢化について、その背景や問題点について検討します。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとります。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどで調べてみましょう。	立松
10	4. 少子化対策の課題	少子高齢化問題に対する欧米諸国と日本における取り組みの現状と課題について検討します。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとります。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどで調べてみましょう。	立松
11	第4節 安心の経済学 1. 安心の仕組みと社会保険	社会保障政策の中軸のひとつである社会保険制度についてその仕組みと役割について説明します。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとります。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどを活用して調べてみましょう。	立松
12	2. 老後の安心	日本の公的年金制度の現状と課題について説明します。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとります。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどで調べてみましょう。	立松
13	3. 医療制度の国際比較 (1)イギリスの国営保健サービス (2)自由医療のアメリカ	社会保障の重要な柱である医療保障制度について、イギリスとアメリカの事例を取りあげ、学習します。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとります。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどを活用して調べてみましょう。	立松
14	(3)日本の医療保険制度	日本の医療保険制度の現状と、直面する課題を明らかにし、その解決策を考えます。	授業では配付資料の内容をさらに詳しく説明します。積極的にノートをとります。	ノートや配付資料を読み返し、疑問点などを参考文献やネットなどを活用して調べてみましょう。	立松
15	社会における経済の役割 (まとめ)	経済学の授業のまとめと記述式の試験を行います。	試験では経済学の授業での配付資料と自分のノートを参照して解答してください。	これまでの授業内容をノートや配付資料をもとに振り返り、興味を持った点や疑問点などを調べ、ノートしておきましょう。	立松

日付

6.4. 8 (月) 2
6.4.15 (月) 2
6.4.22 (月) 2
6.5.13 (月) 2
6.5.20 (月) 2
6.5.27 (月) 2
6.6. 3 (月) 2
6.6.10 (月) 2
6.6.17 (月) 2
6.6.24 (月) 2
6.7. 1 (月) 2
6.7. 8 (月) 2
6.7.22 (月) 2
6.7.23 (火) 2
6.7.29 (月) 2

教科書	・教科書はありません。代わりにレジュメ（授業内容の要約）や参考資料を配布し、それをもとに授業を進めます。
参考書	・参考図書は授業で随時紹介しますが、まず以下の5冊を推薦したいと思います。 1.濱口桂一郎『若者と労働』中公新書ラクレ、2013年、880円+税 2.今野晴貴『ブラックバイト 学生が危ない』岩波新書、2016年、820円+税 3.筒井淳也『仕事と家族』中公新書、2015年、780円+税 4.山崎史郎『人口減少と社会保障』中公新書、2017年、880円+税 5.堀内都喜子『フィンランド 幸せのメソッド』集英社新書、2022年、860円+税

ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6／理学5／理学6／作業2
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	立松 潔：tate@ma.catvy.ne.jp（メールでの質問を歓迎します）
備考	

授業科目	社会学	科目英語表記	Sociology		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 高橋 知花				
科目責任者氏名	高橋 知花				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	社会学の基礎を学び、日常生活における様々な事象を社会的な視点から理解する力を身につける。前半の授業では社会学の歴史や基礎、古典に触れ、後半の授業では家族や結婚、医療などの身近なテーマを取り上げ、社会的な観点から日常を捉えることを試みる。				
到達目標	授業で紹介した社会学の概念や理論を理解し、現代社会における様々な事象を社会的な観点から捉えられるようになること。				
成績評価方法	期末レポート100%。到達目標に基づき評価。				
成績評価基準	<p>特に優れている：適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる</p> <p>優れている：根拠をふまえて論理的に説明できる</p> <p>良好である：根拠を用いてある程度論理的に説明できる</p> <p>最低限の到達：根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる</p> <p>目標に到達していない：説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	イントロダクション	社会学とは何か？—社会的想像力	配布資料をもとに、社会的視点、社会的想像力について学ぶ。	〔予習〕シラバスをよく読み、わからない単語について調べておく。 〔復習〕授業資料を復習し、日常生活における社会的想像力について整理する。	高橋
2	社会学のものの見方	(1) 行為論	配布資料をもとに、社会的なもの見方としての行為論について学ぶ。	〔予習〕行為論という言葉について調べておく。 〔復習〕授業資料を復習し、行為論について整理する。	高橋
3	社会学のものの見方	(2) 構造論	配布資料をもとに、社会的なもの見方としての構造論について学ぶ。	〔予習〕構造論という言葉について調べておく。 〔復習〕授業資料を復習し、構造論について整理する。	高橋
4	社会学のものの見方	(3) 相互作用論	配布資料をもとに、社会的なもの見方としての相互行為論について学ぶ。	〔予習〕相互作用論という言葉について調べておく。 〔復習〕授業資料を復習し、相互作用論について整理する。	高橋
5	自己と他者	社会における自己と他者、社会化	配布資料をもとに、社会における自己と他者、社会化について学ぶ。	〔予習〕社会化という概念について調べておく。 〔復習〕授業資料を復習し、社会化について整理する。	高橋
6	自己と他者	役割、役割演技	配布資料をもとに、役割、役割演技について学ぶ。	〔予習〕役割、役割演技という概念について調べておく。 〔復習〕授業資料を復習し、役割、役割演技について整理する。	高橋
7	逸脱、文化と社会	逸脱と社会—なぜ犯罪は生まれるのか？	配布資料をもとに、逸脱や犯罪が生まれる仕組みについて学ぶ。	〔予習〕逸脱という概念について調べておく。どのような犯罪があるか整理する。 〔復習〕授業資料を復習し、逸脱について整理する。	高橋

8	逸脱、文化と社会	文化と社会 (1) 一趣味は人生を豊かにするのか？	配布資料をもとに、文化や趣味の社会的な意味について学ぶ。	[予習] 文化について調べ、どのような趣味があるか整理する。 [復習] 授業資料を復習し、文化について整理する。	高橋
9	逸脱、文化と社会	文化と社会 (2) 一なぜ不良少年は不良の道に進むのか？	配布資料をもとに、不良文化について学ぶ。	[予習] 不良文化について調べ、整理しておく。 [復習] 授業資料を復習し、不良文化について整理する。	高橋
10	家族と社会	(1) 家族の機能、家族の変化	配布資料をもとに、家族の機能、家族の変化について学ぶ。	[予習] 現代の家族について調べ、整理しておく。 [復習] 授業資料を復習し、現代の家族について整理する。	高橋
11	家族と社会	(2) 結婚、出産	配布資料をもとに、現代における結婚や出産について学ぶ。	[予習] 現代の結婚や出産について調べ、整理しておく。 [復習] 授業資料を復習し、現代の結婚や出産について整理する。	高橋
12	医療と社会	病人役割、医師役割	配布資料をもとに、病人役割、医師役割について学ぶ。	[予習] 病人役割、医師役割という概念について調べ、整理しておく。 [復習] 授業資料を復習し、病人役割、医師役割について整理する。	高橋
13	医療と社会	生活者としての患者	配布資料をもとに、生活者としての患者について学ぶ。	[予習] 生活者としての患者という概念について調べ、整理しておく。 [復習] 授業資料を復習し、生活者としての患者について整理する。	高橋
14	医療と社会	「死」をめぐる議論	配布資料をもとに、「死」をめぐる議論について学ぶ。	[予習] 「死」という概念について調べ、整理しておく。 [復習] 授業資料を復習し、「死」をめぐる議論について整理する。	高橋
15	医療と社会	地域社会と保健医療	配布資料をもとに、地域社会と保健医療との関係について学ぶ。	[予習] 地域社会と保健医療との関係について調べ、整理しておく。 [復習] 授業資料を復習し、地域社会と保健医療との関係について整理する。	高橋

日付

6. 9.25 (水) 2
6.10. 2 (水) 2
6.10. 9 (水) 2
6.10.16 (水) 2
6.10.23 (水) 2
6.10.30 (水) 2
6.11. 6 (水) 2
6.11.13 (水) 2
6.11.20 (水) 2
6.12. 4 (水) 2
6.12.11 (水) 2
6.12.18 (水) 2
6.12.25 (水) 2
7. 1. 8 (水) 2
7. 1.15 (水) 2

教科書	指定しない。
参考書	授業時に適宜紹介する。
ディプロマ・ポリシーとの	看護2/看護3/理学5/理学6/作業4/作業5

関連	
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	高橋知花：satokatahashi21@gmail.com
備考	毎回の講義受講後に、コメントの提出を求める。提出されたコメントは次回授業で共有することで、受講生とともに授業を進める。日頃から新聞やテレビなどのニュースに触れ、社会的な出来事や社会問題に関心を寄せること。

授業科目	政治学	科目英語表記	Political Science		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 松本 邦彦				
科目責任者氏名	松本 邦彦				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	政治学の基本的なとらえ方と基本概念を学ぶこと、今の日本の政治がどうしてこのようなものになっているのか、成り立ちと経緯を学んでいきます。				
到達目標	日常生活、そして日々のニュースに登場する政治の世界での現象について、自分自身で調べたうえで政治学の基礎概念を用いて説明できるようになること。				
成績評価方法	<p>◇予習クイズの事前提出の段階で解答が完了していれば（正誤を問わず）3点ずつカウント。特設クイズについても1件につき解答完了（正誤を問わず）で2点～3点をカウントします。クイズは合計50点を基本とします（加点あり）。記入不足のクイズは減点し、遅れの提出は0点です。</p> <p>◇調査票については1件につき1～3点カウント（上限を合計10点とします）。</p> <p>◇期末試験（電子機器をのぞき、持ち込み可）には40点配点。</p>				
成績評価基準	<p>日常生活、そして日々のニュースに登場する政治の世界での現象について、自分自身で調べたうえで政治学の基礎概念を用いて説明できるかどうかについて、下記のように評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に優れている (A)；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる ・優れている (B)； 根拠をふまえて論理的に説明できる ・良好である (C)； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる ・最低限の到達 (D)； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる ・目標に到達していない (F)；説明できない 				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	・講義システム説明と「失敗学」入門	<p>◇初回講義では、講義全体のガイダンスをおこなうとともに、予習クイズによって実践する「失敗学」の入門ビデオを視聴します。</p> <p>◇初回に提出するための初提出票と《初期知識》クイズ、第2回以降のための予習クイズ&レジメおよび資料プリントは紙のプリントとして、初回講義で配ります。その後、クイズと資料プリントの電子版（PDF）を下記の講義用ウェブサイトに掲載しますので、欠席者は必ず通読して準備しておいてください。</p>	教材ビデオを視聴し、指示に従って、初提出票および《初期知識》クイズへの記入をして、提出フォルダーに挟んで提出してください。	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから) 解答内容を修正する (○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に (紙のプリントとして) 配布されるので、それに勤で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>(紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル (PDF) をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷 (片面or両面) してから解答を書き入れてください。)</p>	松本
2	・政治の世界と「影響力」	政治を考える際の基本概念、影響力について学びます。	◇第2回の講義時には第13回の予習クイズ&当日レジメに必要な事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講	◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)	松本

			<p>義終了時には第2回クイズとともに、次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	
3	・民主制の意義と限界	現在世界のグローバル・スタンダードとなっている「民主制」について学びます。	<p>◇第3回の講義時には第3回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本
4	・民主制の暴走を防ぐ仕組み	民主制にはつきものの「多数派の専制」を防ぐ仕組みと意義を学びます。	<p>◇第4回の講義時には第4回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しま</p>	松本

				しよう。 (紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)	
5	・日本の敗戦と民主化	80年前の日本に大転換をもたらした敗戦と占領を学びます。	◇第5回の講義時には第5回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。 ◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう	◇この回の復習:クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。 ◇その後のための予習:あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。 (紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)	松本
6	・戦後の新憲法はこうして誕生した	戦後日本の基点の一つ、日本国憲法の成立過程を国際関係の視点から学びます。	◇第6回の講義時には第6回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。 ◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう	◇この回の復習:クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。 ◇その後のための予習:あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。 (紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)	松本
7	・冷戦に抗した政治家	戦後日本政治における「吉田路線」への異議申し立ての一つを学びます。	◇第7回の講義時には第7回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。 ◇講義時には、予習クイズで	◇この回の復習:クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジ	松本

			<p>確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>メに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	
8	<p>・政治の季節の終わり・60年安保</p>	<p>自民党が「改憲」提起をひとまずあきらめる契機になった《六〇年安保》を学びます。</p>	<p>◇第8回の講義時には第8回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本
9	<p>・経済の季節の始まり・所得倍増</p>	<p>「政治の季節」の次に始まった「経済の季節」を学びます。</p>	<p>◇第9回の講義時には第9回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）を</p>	松本

				ダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）	
10	・経済成長の果実を地方に	所得倍増の時代における保健医療行政を学びます。	<p>◇第10回の講義時には第10回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勤で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本
11	・公共事業で支持を得た政治家	公共事業を政治的影響力の源泉とした政治家《田中角栄》を学びます。	<p>◇第11回の講義時には第11回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勤で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本

12	・貿易摩擦から内需拡大へ	日米関係の転換点を経済面から学びます。	<p>◇第12回の講義時には第12回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>(紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)</p>	松本
13	・自民党政治の終わり・小泉改革	自民党をぶっ壊すとして始まった《小泉改革》を学びます。	<p>◇第13回の講義時には第13回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>(紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)</p>	松本
14	・あなたも一票を・選挙運動とは	第14回は具体的な選挙運動をもとに選挙の意義を学びます。	<p>◇第14回の講義時には第14回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前</p>	松本

				の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。 （紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）	
15	・地域振興と若者の政治参加	講義の最終回は地域振興と若者の政治参加を考えます。	◇第15回の講義時には第15回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想票に感想を記入します。 ◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう	◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。	松本

日付

6. 9.30 (月) 3
6.10. 7 (月) 3
6.10.21 (月) 3
6.10.28 (月) 3
6.11.11 (月) 3
6.11.18 (月) 3
6.12. 2 (月) 3
6.12. 9 (月) 3
6.12.16 (月) 3
6.12.23 (月) 3
6. 1. 6 (月) 3
6. 1.20 (月) 3
7. 1.21 (火) 3
7. 1.22 (水) 3
7. 1.27 (月) 3

教科書	◎五十嵐仁『18歳から考える日本の政治 第3版』法律文化社、2021年、2300円 https://www.hou-bun.com/cgi-bin/search/detail.cgi?c=ISBN978-4-589-04129-6
参考書	◎『平和と人権：やまがたガイド』山形県歴教協ほか、2015年、500円。 ◎石川真澄『戦後政治史 第3版』岩波新書（新赤版）1281、2013年、900円 https://www.iwanami.co.jp/book/b559579.html ◎早野透『田中角栄』中公新書2186、2012年、940円 https://www.chuko.co.jp/shinsho/2012/10/102186.html ○藤田孝典『貧困世代：社会の監獄に閉じ込められた若者たち』講談社現代新書、2016年、836円 https://gendai.media/list/books/gendai-shinsho/9784062883580 ○『年表 昭和・平成史 新版』岩波ブックレット1005、2019年、680円 https://www.iwanami.co.jp/book/b458059.html このほかにも講義時に随時紹介します。
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6／理学5／理学6
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当

実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	<p>◇講義資料やクイズの正答と解説の電子版（PDF）が掲載される講義ウェブサイト：http://matumoto.o.oo7.jp/index.htm</p> <p>◇松本宛メールの前に一読を↓（メールアドレスの表記もこちらにあります）： http://www-h.yamagata-u.ac.jp/~matumoto/mail.htm</p>
備考	<p>まずは予習クイズで間違えましょう。失敗に学ぶ、試行錯誤、trial & error がモットーです。そうして自分の先入観や誤解を気づくとともに、それを修正していく作業を重視します。</p> <p>よって、“わかった気”にはさせません。自分を疑い、既成の価値観を、ニュースを疑い、“ずくを出して”自分の目と手で確かめてから考えていく癖を身につけましょう。</p>

授業科目	国際関係論	科目英語表記	International Relations		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 松本 邦彦				
科目責任者氏名	松本 邦彦				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	日本が21世紀の国際社会に対して何によってどう貢献するべきかを、日本の過去を踏まえた上で、そして「冷戦」後の唯一の超大国となったアメリカとのつきあい方を通して考えていきます。				
到達目標	日本が明治以降対外的におこなってきた歴史的事実、および今後の対外関係における政治的に重要なポイントを説明できるようになること。				
成績評価方法	<p>◇予習クイズの事前提出の段階で解答が完了していれば（正誤を問わず）3点ずつカウント。特設クイズについても1件につき解答完了（正誤を問わず）で2点～3点をカウントします。クイズは合計50点を基本とします（加点あり）。記入不足のクイズは減点し、不切遅れの提出は0点です。</p> <p>◇調査票については1件につき1～3点カウント（上限を合計10点とします）。</p> <p>◇期末試験（持ち込不可）には40点配点。</p>				
成績評価基準	<p>日本が明治以降対外的におこなってきた歴史的事実、および今後の対外関係における政治的に重要なポイントを根拠を踏まえて説明できるかどうかについて、下記のように評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に優れている（A）；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる ・優れている（B）； 根拠をふまえて論理的に説明できる ・良好である（C）； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる ・最低限の到達（D）； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる ・目標に到達していない（F）；説明できない 				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	講義システム説明と「失敗学」入門	<p>◇初回講義では、講義全体のガイダンスをおこなうとともに、予習クイズによって実践する「失敗学」の入門ビデオを視聴します。</p> <p>◇初回に提出するための初提出票と《初期知識》クイズおよび資料プリントは紙のプリントして、初回講義で配ります。</p> <p>その後、クイズと資料プリントの電子版（PDF）を大学のポータルサイト「UNIPA」 -- https://kyogaku.yachts.ac.jp/uprx/up/km/kmh005/Kmh00502.xhtml# --- 上にある講義用ウェブサイトに掲載しますので、欠席者は必ず通読して準備しておいてください。</p>	教材ビデオを視聴し、指示に従って、初提出票および《初期知識》クイズへの記入をして、提出フォルダーに挟んで提出してください。	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇今後のための予習：第2回講義のための予習クイズが第1回講義で（紙のプリントとして）配布されるので、それに勤で解答をして、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本
2	問題提起：日本の歴史と国際貢献	第2回は《日本の論点》をテーマとして、現代の対外関係を考える際に重要な二つの論点、《1》植民地支配の清算、	◇第2回の講義時には第2回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には第2回のクイ	◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）	松本

		《2》国際貢献の概要を学びます。	ズとともに、次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。 ◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう	解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。 ◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。 (紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)	
3	第一部 日本の戦前戦後 明治日本と国際法	第3回は《帝国日本と国際法》をテーマとして、明治日本が直面した課題、文明開化、不平等条約改正を学びます。	◇第3回の講義時には第3回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。 ◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう	◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。 ◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。 (紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)	松本
4	敗戦と憲法	第4回は《九条の由来》と題し、敗戦後日本の出発点を国際法と国際関係の面から学びます。	◇第4回の講義時には第4回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。 ◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう	◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。 ◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しま	松本

				しよう。 (紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)	
5	韓国保護国化	第5回からは植民地朝鮮との関係を学びます。	<p>◇第5回の講義時には第5回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>(紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)</p>	松本
6	韓国併合	第6回講義は《韓国併合》として、日本が植民地朝鮮を日本領土に吸収した経緯を学びます。	<p>◇第6回の講義時には第6回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>(紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)</p>	松本
7	植民地朝鮮	第7回では大日本帝国による植民地支配を経済面、農業面から学びます。	<p>◇第7回の講義時には第7回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっ</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジ</p>	松本

			<p>かり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>メに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	
8	朝鮮人戦犯	第8回は大日本帝国による植民地支配を戦時動員の側面から学びます。	<p>◇第8回の講義時には第8回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本
9	日本軍と日中戦争	大日本帝国と国際法との関係を日本軍兵士の視点から学びます。	<p>◇第9回の講義時には第9回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）を</p>	松本

				ダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）	
10	第二部 米国と世界 ／米外交の特質	第10回からはアメリカの外交政策を中心とした第二部です。第10回はアメリカの外交の特質を学びます。	<p>◇第10回の講義時には第10回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから) 解答内容を修正する (○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勤で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本
11	ベトナム戦争	第11回は冷戦下アメリカの地盤沈下をもたらしたベトナム戦争を学びます。	<p>◇第11回の講義時には第11回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから) 解答内容を修正する (○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勤で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本
12	反「米帝」感情	第12回は、とくにイスラーム社会、アラブ社会からの反「アメリカ帝国主義」的な感情を学びます。	<p>◇第12回の講義時には第12回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから) 解答内容を修正する (○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等</p>	松本

				<p>についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	
13	イラク戦争	<p>第13回は全世界を「反テロ戦争」に巻きこんでしまった21世紀冒頭の愚行「イラク戦争」を学びます。</p>	<p>◇第13回の講義時には第13回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本
14	アフガニスタン戦争	<p>第14回は現代の地域紛争では通常の形態となった「非対称戦争」をアフガニスタンを事例に学びます。</p>	<p>◇講義時には、第14回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します（次の回で返却）。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、（クイズの解答用紙が返却されてから）解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されたのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に（紙のプリントとして）配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>（紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル（PDF）をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷（片面or両面）してから解答を書き入れてください。）</p>	松本

15	日本人の国際貢献	最終回の第15回講義では、日本人ができる、日本人だからこそできる国際貢献について学びます。	<p>◇講義時には、第15回の予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入します。</p> <p>◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかり持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう</p>	<p>◇この回の復習：クイズの正答を講義用ウェブサイトからダウンロードし、(クイズの解答用紙が返却されてから)解答内容を修正する(○の見せ消し&追記)。また過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を調査票にまとめる。</p> <p>◇その後のための予習：あとの回のための予習クイズが前の回に(紙のプリントとして)配布されるので、それに勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。</p> <p>(紙のプリントを貰い損ねた人は、講義用ウェブサイトから電子版ファイル(PDF)をダウンロード→1頁をA4判用紙1枚に印刷(片面or両面)してから解答を書き入れてください。)</p>	松本
----	----------	---	---	--	----

日付

6.4. 8 (月) 3
6.4.15 (月) 3
6.4.22 (月) 3
6.5.13 (月) 3
6.5.20 (月) 3
6.5.27 (月) 3
6.6. 3 (月) 3
6.6.10 (月) 3
6.6.17 (月) 3
6.6.24 (月) 3
6.7. 1 (月) 3
6.7. 8 (月) 3
6.7.22 (月) 3
6.7.23 (火) 3
6.7.29 (月) 3

教科書	<p>◎伊勢崎賢治『国際貢献のウソ』ちくまプリマー新書、2010年、990円 https://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480688477/</p> <p>◎ダニー・ネフセタイ『イスラエル軍元兵士が語る非戦論』集英社新書、2023年、1000円 https://www.shueisha.co.jp/books/items/contents.html?isbn=978-4-08-721294-5</p>
参考書	◎『平和と人権：やまがたガイド』山形県歴教協ほか、2015年、500円。 その他にも講義時に随時紹介します。
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6/理学4/理学5/作業4/作業5
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当
実務経験のある教員	

実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	<p>授業についての質問は、毎回の提出物や大学のポータルサイト「UNIPA」での授業Qにて受け付けます。 メールで連絡したい人は下記を参照してください。 ◇松本宛メールの前に一読を（メールアドレスの表記もこちらにあります）： http://www-h.yamagata-u.ac.jp/~matumoto/mail.htm</p>
備考	<p>まず、予習クイズで、間違えましょう。失敗に学ぶ、試行錯誤、trial & error がモットーです。そうして自分の先入観や誤解を気づくとともに、それを修正していく作業を重視します。 よって本講義では“わかった気”にはさせません。自分を疑い、既成の価値観を、ニュースを疑い、“ずくを出して”自分の目と手で確かめてから考えていく癖を身につけましょう。</p>

授業科目	人間関係・コミュニケーション論	科目英語表記	Human Relations and Communication		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 北口 英穂				
科目責任者氏名	北口 英穂				
学内連絡教員氏名	佐藤寿晃：研究室37 tsato@yachts.ac.jp				
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	コミュニケーションの持つ意味は幅広く、様々な領域、場面でその意味は異なるが、本講義では、人が社会生活を営む中で、双方の意思、感情、思考などの情報を伝え、共有するための「コミュニケーション」について考える。前半は「コミュニケーション論」の基礎について、後半は台湾という「異文化」を題材に「異文化コミュニケーション」について学び、様々な背景を持つ相手の理解の重要性を考える。				
到達目標	①コミュニケーションとは何か、説明することができる。②言語・非言語コミュニケーションについて、説明することができる。③異文化コミュニケーションとは何か、説明することができる。④アイデンティティについて、具体例をあげて説明することができる。				
成績評価方法	【筆記試験】90% 中間40% 到達目標①、②を評価 期末40% 到達目標③、④を評価 【授業の参加度】20% 到達目標①、②、③、④を評価				
成績評価基準	<p>到達目標①コミュニケーションとは何か、説明することができる。 特に優れている；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている；根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない；説明できない</p> <p>到達目標②言語・非言語コミュニケーションについて、説明することができる。 特に優れている；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている；根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない；説明できない</p> <p>到達目標③異文化コミュニケーションとは何か、説明することができる。 特に優れている；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている；根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない；説明できない</p> <p>到達目標④アイデンティティについて、具体例をあげて説明することができる。 特に優れている；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている；根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない；説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	ガイダンス	本講義で何を学ぶのか理解する。コミュニケーション論を学ぶ意義を理解する。	テキストChapter1に沿うスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter1を読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
2	コミュニケーションとは	コミュニケーションの基本的な考え方を理解する。	テキストChapter2に沿うスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter2を読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
3	コミュニケーションに必要な力	コミュニケーションを円滑に進めるために必要な力とは何か理解する。	テキストChapter3に沿うスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter3を読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂

4	バーバルコミュニケーション	ことばとコミュニケーションの関係について理解する。	テキストChapter4に沿うスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter4を読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
5	ノンバーバルコミュニケーション	非言語コミュニケーションについて理解する。	テキストChapter5に沿うスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter5を読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
6	コミュニケーションの手法	コミュニケーションを円滑に進めるための手法について理解する。	テキストChapter6に沿うスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter6を読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
7	対象別の伝達	人の特性を理解し、伝え方を理解する。	テキストChapter7に沿うスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter7を読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
8	中間まとめ	コミュニケーション論とは何か、言語・非言語コミュニケーションとは何か、自分のことばで論理的に述べるができる。	これまでの講義資料を参考にしながら、コミュニケーション論とは何か、言語・非言語コミュニケーションとは何か、自分のことばで、根拠をふまえ、論理的に考える。	事前にテキストChapter1~7を読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
9	異文化コミュニケーション	文化、異文化とコミュニケーションの関係について理解する	異文化コミュニケーションに関するスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter7を再度読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること	北口英穂
10	自己とアイデンティティ	「自己」とアイデンティティについて把握し、多文化社会におけるアイデンティティの特性を理解する。	アイデンティティに関するスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter2,3を再度読んでおくこと。事後は授業資料で復習するとともに、自分のアイデンティティについて考えをまとめておくこと。	北口英穂
11	文化とアイデンティティ～台湾人アイデンティティを事例に	台湾人のアイデンティティを事例に、人の特性に関する理解を深める。	台湾人アイデンティティに関するスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter2,3を再度読んでおくことと、台湾に関する基礎知識を調べておくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
12	ことばとコミュニケーション～台湾に残る日本語①	ことばとコミュニケーションについて、台湾に残る日本語を事例に考える。	台湾に残る日本語に関するスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前にテキストChapter4,5を再度読んでおくことと、台湾の歴史について調べておくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
13	ことばとコミュニケーション～台湾に残る日本語②	台湾に残る日本語に関する映像を視聴し、ことばとコミュニケーションについて理解を深める。	映像資料用のレジュメを用意するので、メモを取りながら視聴すること。	事前にテキストChapter4,5を再度読んでおくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
14	日本における異文化コミュニケーションの現状と課題	異文化と接する機会が増えている日本社会における、現状と課題について理解する。	日本における異文化コミュニケーションの現状と課題に関するスライドを用意するので、メモを取りながら自分の講義資料を作成すること。	事前に多文化社会における課題を調べておくこと。事後は授業資料で復習すること。	北口英穂
15	まとめ	異文化コミュニケーションとことば、アイデンティティとことば、について、自分のことばで論理的に述べるができる。	これまでの講義資料を参考にしながら、異文化コミュニケーションとことば、アイデンティティとことば、について、自分のことばで、根拠をふまえ、論理的に考える。	これまでの授業資料を読み復習すること。	北口英穂

日付

6.9.30 (月) 2
6.10.7 (月) 2
6.10.21 (月) 2
6.10.28 (月) 2
6.11.11 (月) 2
6.11.18 (月) 2
6.11.25 (月) 2

6.12.2 (月) 2
 6.12.9 (月) 2
 6.12.16 (月) 2
 6.12.23 (月) 2
 7.1.6 (月) 2
 7.1.20 (月) 2
 7.1.22 (水) 2
 7.1.27 (月) 2

教科書	内山靖・藤井浩美・立石雅子編『コミュニケーション論・多職種連携論』（医歯薬出版）
参考書	森川知史（著）確かな人間関係のためのコミュニケーション論（京都書房）
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学3／理学5／作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教務学生課
備考	

授業科目	文章表現法	科目英語表記	Creative Writing Japanese		
職名、担当教員氏名	滝浦 真人（放送大学教授）ほか				
科目責任者氏名	放送大学				
学内連絡教員氏名	佐藤 寿晃				
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	<p>放送大学が開講する「日本語リテラシー（'21）」、「日本語アカデミックライティング（'22）」のいずれかをオンデマンドで履修する。</p> <p>「日本語リテラシー（'21）」（放送大学のシラバス参照） 日本語の説明的な文章を読んで書くことの基本的実践能力を養う。その過程で必要となる知識やスキルに対応して授業を構成する。具体的には、日本語の表記・語彙・構文法等を踏まえた基本的な構え、目的に応じた違い、文章を読み取って理解するスキル、考えを整理し組み立てるスキル、書いて自己添削するスキル、等を取り上げる。</p> <p>「日本語アカデミックライティング（'22）」（放送大学のシラバス参照） 日本語で学術的な文章を書くために何が必要か、それはどのようなプロセスであるかを具体的に説く。アカデミックな文章とは、たしかな根拠を支えとして読者を説得してゆくプロセスであることを見て、プロセスのひとつひとつを追いつつながら、論文などがどのように構成されてゆくの具体的な解説をする。文章表現についても、いわゆる「名文」との違いや、自分で自分の文章を添削する方法などに触れる。また、個々の学問領域で特に重視される点や、研究の論理的側面にも目を向ける。</p>				
到達目標	<p>「日本語リテラシー（'21）」（放送大学のシラバス参照） 大学において授業を理解しレポートなどを執筆するために必要となる、説明的な日本語の読み書きの基礎的な実践能力を身に着ける。</p> <p>「日本語アカデミックライティング（'22）」（放送大学のシラバス参照） レポートや論文、卒業研究などの学術的な文章を書くために必要なことを、理解し実践できるようになる。その過程で、客観的に書くこと、根拠を挙げること、読んでわかる文章を書くこと、といったスキルも身につける。</p>				
成績評価方法	放送大学のシラバス参照				
成績評価基準	放送大学のシラバス参照				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	「日本語リテラシー（'21）」 日本語を書こう 「日本語アカデミックライティング（'22）」 アカデミック・ライティングの基礎①： 何のために書くか？	「日本語リテラシー（'21）」 「日本語リテラシー」とは何かを概観する。文章には目的によって種類があることを押さえた上で、一読してわかる説明的な日本語が書けるようになるという科目の目標を理解する。 「日本語アカデミックライティング（'22）」 論文とは何か、研究を書くとはどういうことかを考える。それを通して、読み手に共感を求める文章と論理的な理解に訴える文章の違いを押さえ、学術的な文章に必要なことを確認しながら、わかる文章とは何かを考える。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人
2	「日本語リテラシー（'21）」 日本語との付き合い方①：文字と表記 「日本語アカデミックライティング（'22）」 アカデミック・ライティングの基礎②： 目指したい文章	「日本語リテラシー（'21）」 日本語の大きな特徴である文字と表記を取り上げ、文字法や句読法が日本語を書くことに与えている影響について考え、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング（'22）」 文章には目的があり、目的が違えば文章も異なる。主観的	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人

		な文章と客観的な文章があり、学術的な文章は客観的な説明文であること、また、文章の構成要素は事実か意見かに分かれ、事実で書いたものが客観的文章であることを理解する。			
3	「日本語リテラシー ('21)」 日本語との付き合い方②:和語と漢語と外来語 「日本語アカデミックライティング ('22)」 学問分野と文章①:生活研究とライティング	「日本語リテラシー ('21)」 同じく日本語の大きな特徴である語種を取り上げ、出自の異なる和語・漢語・外来語という語種の混在が日本語を書くことに与えている影響について検討し、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング ('22)」 生活はリサーチ・クエスションの宝庫である。いっぽうで、生活については誰もが何かしら考えを述べるができることから、書かれた文章はともすれば主観的な感想文や意見文になりがちである。今回は、生活に関する研究を行い文章を書くうえでの注意点について考える。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦 真人 日本語リテラシー ('21) 奈良裕美子 日本語アカデミックライティング ('22)
4	「日本語リテラシー ('21)」 第4回 読むスキル①:まとまりを読む 「日本語アカデミックライティング ('22)」 アカデミック・ライティングの基礎③:研究の目的とタイトル	「日本語リテラシー ('21)」 文章を構成するまとまりの単位「パラグラフ」について学ぶ。読んだ文章を理解し、引用して言及する際に必要な、文章を要約して理解する方法について考え、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング ('22)」 レポートや論文の作成プロセスを4段階で考える。まず、その論文などが何を目的とするのかを明確に意識することから始めたい。そして、何を考察したいかがわかる具体的なタイトルを考えることで、迷走を防げることを理解する。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人
5	「日本語リテラシー ('21)」 第5回 読むスキル②:つながりを読む 「日本語アカデミックライティング ('22)」 アカデミック・ライティングの基礎④:問題意識と観点の整理	「日本語リテラシー ('21)」 論理とは接続であるとの考えに立って、接続のタイプと接続語の働きを確認しながら整理する。その上で、接続によって文章の論理構造が作られていくことを、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング ('22)」 書き始める前になるべく遠くまで見通していることを目指したい。自分が答えを出したいことが何なのかを問いの形にし、手持ちの材料を配置して考察の観点を整理しておきたい。そのための方法や補助的な手段についても解説する。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人
6	「日本語リテラシー ('21)」 第6回 考えるスキル①:論理トレーニング 「日本語アカデミックライティング	「日本語リテラシー ('21)」 論説的な文章を組み立てていく際に、論の一貫性を崩すことなく、また、読み手に無用な解釈負荷をかけることなく理解してもらえる論理構造を	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人 日本語リテラシー ('21) 辰己 丈夫 日本語アカデミックライティング ('22)

	<p>(‘22) 学術情報と情報管理 ①：学術情報の入手</p>	<p>つくる方法を、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング (‘22)」 研究に必要な情報を入手する方法と注意点を述べる。また、例えば、原著論文、研究会報告、図書、新聞、テレビ動画、ゼミ資料、ネットでのつぶやきなどの違いを考察し、入手した情報の信憑性や信頼性について考える。</p>			
7	<p>「日本語リテラシー (‘21)」 第7回 日本語との付き合い方③：「は」と「が」の語り 「日本語アカデミックライティング (‘22)」 学術情報と情報管理 ②：リファレンス作成法</p>	<p>「日本語リテラシー (‘21)」 日本語の特徴が論理にも影響している面を見る。つねに選択が問題となる助詞「は」と「が」の働きの違いを検討し、その選択が語りの2種類の構成であることを、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング (‘22)」 入手した情報を、自らの研究、特に論文執筆において、どのように活用するかを考える。特に研究分野や学会ごとに異なる参考文献リストの表記方法を紹介する。また、リファレンス作成のためのデータベース作成方法について考察する。</p>	講義	講義終了後に復習してください。	<p>滝浦真人 日本語リテラシー (‘21) 辰己 丈夫 日本語アカデミックライティング (‘22)</p>
8	<p>「日本語リテラシー (‘21)」 第8回 書くスキル①：説明文を書く 「日本語アカデミックライティング (‘22)」 調査法とデータ①：論拠としての調査</p>	<p>「日本語リテラシー (‘21)」 目的によって文章がどのように変わるかを、説明する・報告する場合を例にとりながら具体的に検討する。関連して、事実と意見の違いについての理解を深め、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング (‘22)」 論文の読み手を納得させるには、論を支える客観的な証拠が欠かせない。ここでは、調査をリサーチの総称として広く定義し、自身でデータを収集する際によく用いられる調査法として、アンケート調査とインタビュー調査について概説する。また、調査を実施する際や調査を記述する際に留意すべき点を解説していく。</p>	講義	講義終了後に復習してください。	<p>滝浦真人 日本語リテラシー (‘21) 森津太子 日本語アカデミックライティング (‘22)</p>
9	<p>「日本語リテラシー (‘21)」 第9回 書くスキル②：文体と論理 「日本語アカデミックライティング (‘22)」 調査法とデータ②：データの分析と結果の示し方</p>	<p>「日本語リテラシー (‘21)」 文体によって文章の論理がどのように変わるかを、「起承転結」と呼ばれる文体と、新聞記事に代表される「逆三角形型」を例にとりながら具体的に検討し、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング (‘22)」 論拠とする調査データには、自身で収集するもの以外にも、活用できるものがあることを紹介する。ただし、どんなデータでもその特性を理解し、正しく分析しなければ、論拠にはなりえない。また結果の示し方によっては、読み手に誤った印象を与えかねない。</p>	講義	講義終了後に復習してください。	<p>滝浦真人 日本語リテラシー (‘21) 森津太子 日本語アカデミックライティング (‘22)</p>

		いことから、データの分析と結果の示し方について、留意すべき点を解説していく。			
10	「日本語リテラシー（'21）」 第10回 考えるスキル②：言えることと言えないこと 「日本語アカデミックライティング（'22）」 アカデミック・ライティングの基礎⑤：パラグラフで書く	「日本語リテラシー（'21）」 書きたい主旨を支える推論の方法について検討する。出発点となる命題から導けることと導けないことを区別できるようにして、正しい論理的展開の仕方について実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング（'22）」 文章を書く単位としての「パラグラフ」を理解し、実践できるようにしたい。パラグラフの内部構造で文がどのようにつながっているか、またパラグラフ同士がどのようにつながって文章を構成するか、文章の“まとめ”と“つながり”を意識したい。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人
11	「日本語リテラシー（'21）」 第11回 考えるスキル③：考えを導く方法 「日本語アカデミックライティング（'22）」 アカデミック・ライティングの基礎⑥：文を書く・自己添削する	「日本語リテラシー（'21）」 書きたい主旨を支える推論の方法について、帰納、演繹、推理といった論理展開の形と構造を見ながら検討する。各タイプの仕組みだけでなく、活用する際の注意点も含め、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング（'22）」 一読してわかる文章を目指すなら、読者を混乱させたり誤った理解に導く文は避けなければならない。相手を誤読させる要因を考え、それを回避するチェックポイントを用意しておくことで、自分の文章を自分で添削できることを理解する。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人
12	「日本語リテラシー（'21）」 レポートを書く①：論点の整理まで 「日本語アカデミックライティング（'22）」 学問分野と文章②：自然科学を書く	「日本語リテラシー（'21）」 レポートなどを書くときの手順を検討する。書き始めるときの頭の整理という観点から、書く分量、書けるテーマ、書き出しといったいくつかの点について考え、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング（'22）」 自然科学の文章に求められるのは、平易かつ正確な情報伝達である。この観点から、問題を適切に解くための分割によって得られた小部分を単位としたパラグラフ・ライティングが有用であることを学ぶ。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人 日本語リテラシー（'21） 安池智一 日本語アカデミックライティング（'22）
13	「日本語リテラシー（'21）」 第13回 レポートを書く②：調べる・考察する 「日本語アカデミックライティング（'22）」 学問分野と文章③：	「日本語リテラシー（'21）」 実践的な文章を書く際の自他との問題という観点から、先行研究や情報を調べて自分の問題意識と関連づけながら考察して結論に導くプロセスについて考え、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング（'22）」	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦 真人 日本語リテラシー（'21） 松原隆一郎 日本語アカデミックライティング（'22）

	社会科学を書く	社会科学の文章は、論文であることと、どの方法で論文を書くのかによって、一般の文章とは文体が大きく異なっている。論文であることの制約とともに、社会科学における自然科学的な面（量的データ分析）および人文学的な面（質的データ分析）の方法を理解する。			
14	「日本語リテラシー（'21）」 第14回 実践のスキル：自己添削の方法 「日本語アカデミックライティング（'22）」 学問分野と文章④：人文学を書く	「日本語リテラシー（'21）」 文章の上達には自己修正能力の涵養が欠かせないとの観点から、文章の自己添削という考え方を導入する。何をチェックできればそれが可能になるかを検討し、実践の中で理解する。 「日本語アカデミックライティング（'22）」 人文学の論文が扱う内容は、いわゆる評論やエッセイに近接する場合がある。アカデミックと形容するに足る文章は、それらとはどういう点で異なるのか。文学・芸術研究の領域における具体例をとおして、学術的な表現の作法を検討する。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦真人 日本語リテラシー（'21） 野崎 歆 日本語アカデミックライティング（'22）
15	「日本語リテラシー（'21）」 これからも、日本語を書こう 「日本語アカデミックライティング（'22）」 研究のあり方：学術研究における研究倫理	「日本語リテラシー（'21）」 全体のまとめとして、日本語で一読してわかってもらえる説明の文章を書くために、必要なことや意識すべきことが何なのかを再確認する。今後の実践についても、具体的な方法を検討する。 「日本語アカデミックライティング（'22）」 学術研究を進めるにあたって、社会的合意として許容されない研究目的と、研究方法について考える。特に、倫理的判断の際に重要なジレンマ状態について、哲学的な観点を交えて考察する。	講義	講義終了後に復習してください。	滝浦 真人 日本語リテラシー（'21） 辰己 丈夫 日本語アカデミックライティング（'22）
日付					

教科書	
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学1／理学5／作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	

実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教育補助教員 作業療法学科 佐藤寿晃：研究室37 tsato@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	文学	科目英語表記	Literature		
職名、担当教員氏名	放送大学				
科目責任者氏名	放送大学				
学内連絡教員氏名	遠藤恵子				
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	<p>放送大学が開講する「日本文学と和歌（'21）」、「世界文学への招待（'22）」、「世界文学の古典を読む（'20）」のいずれかをオンデマンドで履修する。</p> <p>「日本文学と和歌（'21）」古代から現代までの、和歌史上の著名な歌人を取り上げ、和歌の歴史がどのようなものであったかとともに、彼等が日本文学史の上でどういう意味をもったかを解説する。</p> <p>「世界文学への招待（'22）」いま世界の文学ではどのような試みがなされ、いかなる刺激的な作品が生まれているのか。グローバリズム以降の社会の変化のただなかにあって、文学が切り拓く新しい地平を探索し、多様な作家たちとの出会いへと導く講義。作品成立の背景をわかりやすく解説しながら、個々の作品の魅力を紹介し、同時代と切り結ぶ世界文学のダイナミズムを分析する。</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」古代から中世にかけて広く知られた世界中の名作に触れ、旅・冒険・非日常という共通の観点から読み解いてゆく。</p>				
到達目標	<p>放送大学のシラバス参照</p> <p>「日本文学と和歌（'21）」 和歌の歴史の概要を修得するとともに、なぜ和歌が続いたかの要因を把握する。また日本文学史上の著名作品との関連を捉えることによって、和歌の文学的意義を理解する。</p> <p>「世界文学への招待（'22）」 ヨーロッパやアメリカ、ラテン・アメリカ、そして韓国や日本を視野に収め、世界文学の最前線でいま何が起きているかをいきいきと紹介する。際立った意義をもつ作品や作家たちについて分析しながら、受講生に文学を読み解くことのスリルと面白さを体験してもらう。</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」 ギリシア・ローマ、中世ヨーロッパ、あるいは中国などの「冒険もの」の名作の社会背景や構造を理解し、名場面の一部を翻訳で味わう。人が異国や異界に旅立つ原動力や、未知なるものとの遭遇、成長や挫折などについて検討を行い、人間の普遍的な営みとしての旅を考える。さらに口承からテキストへと至る過程を精査し、古典文学のもつ意味を考察する。</p>				
成績評価方法	放送大学のシラバス参照				
成績評価基準	放送大学のシラバス参照				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	<p>「日本文学と和歌（'21）」持統天皇の時代</p> <p>「世界文学への招待（'22）」『異邦人』から出発する旅——カミュとダーク</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」古代ギリシア1『オデュッセイア』</p>	<p>「日本文学と和歌（'21）」『万葉集』の中に編集された歌が作られた時代のうち、相対的に古い時代である、持統天皇の時代の歌について考える。それは中央集権国家建設の途上に生み出されたものであり、同じく中央集権国家を建設しようとしていた、天智天皇や天武天皇の時代を継承しようとするものであった。</p> <p>「世界文学への招待（'22）」フランスの作家アルベール・カミュの小説『異邦人』（1942年）は、現代文学の可能性を切り拓いた画期的作品として世界的な反響を巻き起こし、現在に至るまで広く読まれている。同時に、これまでさまざまな批評の対象ともなってきた。『異邦人』がどのような批判を引き起こしつつ、のちの作家たちに刺激を与えてきたのかを学び、「世界文学」のフィールドにおいて、一つの作品が新たな作品を生み出していくダイナ</p>	討議	授業内容の復習	<p>「日本文学と和歌（'21）」渡部 泰明</p> <p>「世界文学への招待（'22）」野崎 歆</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」西村 賀子</p>

		ミックな過程を辿ってみる。 「世界文学の古典を読む (20)」前8世紀のホメロス 作とされる英雄叙事詩を読 む。主人公オデュッセウスは トロイア戦争後10年間放浪し た後、故郷イタカで、妻に求 婚している大勢の若者たちに 復讐する。主人公は旅から何 を学んだか、遍歴の経験は求 婚者らへの報復にどう活かさ れているか、妻と夫はどのよ うな関係にあるかななどを考 えながらこの作品を味わう。			
2	「日本文学と和歌 (21)」聖武天皇の 時代 「世界文学への招待 (22)」危機に挑む 文学——ウエルベッ クとサンサール 「世界文学の古典を 読む(20)」古代ギ リシア2『オイディ プス王』	「日本文学と和歌(21)」 『万葉集』に収められた和歌 の時代のうち、聖武天皇の時 代を取り上げる。そこでは、 都から離れた地方が臨場感を もって描かれている。 「世界文学への招待(22)」 フランスの作家ミシェル・ウ エルベックの小説『服従』 (2015年)は、現代ヨーロッ パにおけるイスラームとの共 存の難しさをあぶりだす作品 として世界に衝撃を与えた。 宗教や文化の大きな違いを乗 り越えて、自由と多様性に向 けた議論の場を作り出すとこ ろに、現代文学の意義があ る。ウエルベックと、イスラ ーム圏アルジェリアの現代作 家サンサールを読み比べるこ とで、暴力的な葛藤に満ちた 現代の状況において、小説が 担い得るポジティブな役割を 探求する。 「世界文学の古典を読む (20)」悲劇の約束事を紹介 しながら、劇の流れに沿って 名作『オイディプス王』を読 んでいく。悲劇の基になった 伝説の原初的形態をさぐり、 叙事詩や他の悲劇作品を参照 することによって、ソポクレ スが伝説をどう改変したかを 検討する。最後に、主人公が 自らの目を潰すという本劇特 有の要素に注目し、作品理解 を深める。	講義	授業内容を復習してください	「日本文学と和歌(21)」 渡部 泰明 「世界文学への招待(22)」 野崎 歆 「世界文学の古典を読む (20)」西村 賀子
3	「日本文学と和歌 (21)」六歌仙時代 「世界文学への招待 (22)」好きになれ ない主人公が見る世 界—— J・M・クッ ツェーの『恥辱』を 読む 「世界文学の古典を 読む(20)」古代ロ ーマ1『アエネイ ス』	「日本文学と和歌(21)」 六歌仙の中でも、遍昭、小野 小町、在原業平らの歌は、境 界的であるところに魅力があ る。 「世界文学への招待(22)」 19世紀から21世紀へと時 代に進むにつれ、小説の形態 はさまざまな面で変化をとげ てきた。私たちはついそれを 「書き方」「読み方」の問題 ととらえがちだが、実は根底 のところがかかわっているの は、作品の語り手と読者との 間の「信頼」の構造である。 この章では、南アフリカの作 家 J・M・クツェーの『恥 辱』(1999年)を題材にしな がら、作品中で語り手と読者 がどのような信頼関係をつく り、それが主人公の提示方法	講義	授業内容を復習してくださ い。	「日本文学と和歌(21)」 渡部 泰明 「世界文学への招待(22)」 阿部 公彦 「世界文学の古典を読む (20)」日向 太郎

		<p>などとどうかわかるか、また読者がそれをどう受け止めるかといったことを考えていく。</p> <p>「世界文学の古典を読む(20)」主人公の旅(や観光? 視察?)が扱われている『アエネイス』第3巻、第6巻、第8巻に焦点を絞り、いわゆる「ローマの平和」という時代背景を視野に入れながら、この叙事詩における主人公の旅が意味するところを考察する。</p>			
4	<p>「日本文学と和歌(21)」『古今集』の撰者たち</p> <p>「世界文学への招待(22)」アイルランド詩と土の匂い——シェイマス・ヒーニーの作品から</p> <p>「世界文学の古典を読む(20)」古代ローマ2『黄金のろば』</p>	<p>「日本文学と和歌(21)」『古今集』の撰者たちの和歌には、虚構の世界に自ら入り込むようにして詠む演技的な方法が見られる。</p> <p>「世界文学への招待(22)」外国語で書かれた詩を読むのはハードルが高い。そこでこの講義ではまず詩を読むときに必要な心構えとは何か、英語の詩にはどのような特徴があるかといったことから確認し、その上で詩人シェイマス・ヒーニーの「掘る」という作品を読んでみる。現代詩は形式から自由になったと言われるが、実はそのおかげでより繊細な「声」の表現が可能になり、言葉未満の微妙な領域に私たちの注意を向けることにもつながったとも言える。</p> <p>「世界文学の古典を読む(20)」アプレイウス『黄金のろば』を読みながら、古典文学の中心的なジャンルだった叙事詩との関係を学び、2世紀の第二ソフィスト時代に属するこの小説の特徴について理解を深める。</p>	講義	授業内容を復習してください。	<p>「日本文学と和歌(21)」渡部 泰明</p> <p>「世界文学への招待(22)」阿部 公彦</p> <p>「世界文学の古典を読む(20)」日向 太郎</p>
5	<p>「日本文学と和歌(21)」梨壺の五人の時代</p> <p>「世界文学への招待(22)」クレオール文学——叙事詩の復活</p> <p>「世界文学の古典を読む(20)」中国1『遊仙窟』</p>	<p>「日本文学と和歌(21)」梨壺の五人とは、『後撰和歌集』の撰者たちである。彼らの和歌の表現意識を、同時代の歌人たちとともに考える。</p> <p>「世界文学への招待(22)」「クレオール」という言葉は、初めは植民地生まれの白人を指し、次いで現地で話される混成言語を意味するようになった。さらにカリブ海西インド諸島のフランス語圏では、近年、多民族・多言語・多文化が混交する社会のあり方を指す独特の意味を持つようになった。そこではどのような文学作品が書かれているのだろうか。エメ・セゼール『帰郷ノート』(1939)、エドゥアール・グリッサン『第四世紀』(1964)、パトリック・シャモワゾー『テキサコ』(1992)という三つの作品を通して、その文学世界を辿ってみる。</p> <p>「世界文学の古典を読む(20)」唐代の伝奇小説である張鷟の『遊仙窟』を紹介す</p>	講義	授業内容を復習してください。	<p>「日本文学と和歌(21)」渡部 泰明</p> <p>「世界文学への招待(22)」塚本 昌則</p> <p>「世界文学の古典を読む(20)」大木 康</p>

		<p>る。『遊仙窟』は、「わたし」が河源（黄河の源流）をたずねる旅の途中、神仙の家に泊まり、寡婦の崔十娘、その兄嫁の五嫂らと一夜の歓を尽くすという物語である。講義では、『遊仙窟』テキスト自体の旅、『遊仙窟』の下敷きになった前代の物語、『遊仙窟』の文体その他の問題について考えてみたい。</p>			
6	<p>「日本文学と和歌（'21）」王朝の女房歌人たち 「世界文学への招待（'22）」楽譜としてのテキスト——ロラン・バルト「作者の死」とその後の現代批評 「世界文学の古典を読む（'20）」中国2『西遊記』</p>	<p>「日本文学と和歌（'21）」平安文化の最盛期の高揚を生み出した、道長の娘中宮彰子の後宮。そこに仕えた女房たちは、自己の思いを流露させつつ、その場に即した表現を行うことで、後宮の文化を盛り立てていた。</p> <p>「世界文学への招待（'22）」ロラン・バルトの「作者の死」（1968年）は、文芸批評のあり方を根本から変えてしまい、「人と作品」について書くことがめらわれる状況が現れた。作品の中で語っているのは、作者ではなく、非人称の言語活動である——この考え方が広まってから半世紀経った現在、むしろ「人と作品」を語ることによってこそ、テキストへの理解が深まると考えられている。いったい何が起こったのだろうか。バルト以降の批評の流れを、フランス現代批評を代表するアントワヌ・コンパニオンとウィリアム・マルクスの評論を通して振り返ってみる。</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」明代に完成した白話小説『西遊記』は、三蔵法師一行がインドに大乘仏教の経典を取りに行く旅の様子を描いた作品である。講義では、白話小説『西遊記』が現在見られる形になるまでの物語の形成史、孫悟空、三蔵法師らがインドへの旅に赴くに至った因縁、また孫悟空の原型ともいわれるインドのハヌマーンとの関係などの問題について考えてみたい。</p>	討議	授業内容を復習してください。	<p>「日本文学と和歌（'21）」渡部 泰明 「世界文学への招待（'22）」塚本 昌則 「世界文学の古典を読む（'20）」大木 康</p>
7	<p>「日本文学と和歌（'21）」堀河天皇の時代 「世界文学への招待（'22）」人間とロボットを分かつもの——カレル・チャベック『ロボット』 「世界文学の古典を読む（'20）」スペイン1『わがシードの歌』</p>	<p>「日本文学と和歌（'21）」院政期の前半、和歌は大きく変貌しようとしていた。堀河天皇の時代はその中心となっている。たとえば『堀河百首』は中世和歌のさきがけとなる重要な催しであった。</p> <p>「世界文学への招待（'22）」チェコの作家カレル・チャベックは、児童文学から哲学小説にいたる多彩な作品を手がけた作家として知られる。1920年に発表した戯曲『ロボット（RUR）』は、今日、私たちが日常的に使っている「ロボット」という言葉が流通する契機をつくった作品である。人工知能の時代に生きる私たちに問いかけるものは</p>	講義	授業内容を復習してください。	<p>「日本文学と和歌（'21）」渡部 泰明 「世界文学への招待（'22）」阿部 賢一 「世界文学の古典を読む（'20）」瀧本 佳容子</p>

		<p>何か、チャベックの戯曲を通して考えたい。</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」カスティーリャ語（スペイン語）による現存する最古の文学作品『わがシードの歌』を通して、中世ヨーロッパに共通のジャンルである英雄叙事詩、口承文芸の成立とその豊かさ、『わがシードの歌』に現れる名誉の概念、作品成立を促した中世イベリア社会のダイナミズムなどについて論じる。</p>			
8	<p>「日本文学と和歌（'21）」数寄の歌人たち</p> <p>「世界文学への招待（'22）」引用の文学、文学の引用——大江健三郎から、アンナ・ツィマへ</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」スペイン2『ティラン・ロ・ブラン』</p>	<p>「日本文学と和歌（'21）」</p> <p>「数寄」は宮廷生活から和歌が離れ、非日常的な理想を求める心性を基盤とし、その理想を求める歌人たちの連帯の証しとなり、脱俗的であるという点で仏道とも関わる。</p> <p>「世界文学への招待（'22）」文学作品は、先行する言葉や作品から何らかの影響を受けている。本章では、様々な外国文学を引用しながら言葉を紡いだ大江健三郎、そして日本の作家の言葉に触発され物語を綴ったチェコの現代作家アンナ・ツィマの二人の作品を手がかりに、文学における引用について検討する。</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」地中海沿岸のパレンシアで15世紀に誕生した『ティラン・ロ・ブラン』は、『ドン・キホーテ』の著者セルバンテスが世界一の良書と呼び、ノーベル文学賞作家バルガス・リョサが「古典作品の中で最も現代的」だと絶賛した名作で、ヨーロッパの俗語散文芸術が中世の世界から脱皮して近代性を示した最初の例の一つである。その近代性を中世の英雄叙事詩や宮廷愛との比較を通じて論じる。また、作品成立当時のアラゴン連合王国の繁栄について、この作品の原本と刊本がどのような保存や伝播の経緯をたどったかなどについても述べる。</p>	講義	授業内容を復習してください。	<p>「日本文学と和歌（'21）」渡部 泰明</p> <p>「世界文学への招待（'22）」阿部 賢一</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」瀧本 佳容子</p>
9	<p>「日本文学と和歌（'21）」新古今歌人たち</p> <p>「世界文学への招待（'22）」『百年の孤独』のインパクト——地方色と普遍性</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」イタリア1『神曲』</p>	<p>「日本文学と和歌（'21）」</p> <p>中世の初頭に生まれた『新古今和歌集』は、なぜ王朝文化の粋を集めたものになっているのか。その中には本歌取りの技法を用いた歌が数多くあるが、本歌取りとはどういうものか、を考える。</p> <p>「世界文学への招待（'22）」</p> <p>1967年に出版されベストセラーになったコロンビアの作家ガブリエル・ガルシア＝マルケスの代表作『百年の孤独』を、地方色と普遍性の両面から読み解く。</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」14世紀初頭にフィレ</p>	講義	授業内容を復習してください。	<p>「日本文学と和歌（'21）」渡部 泰明</p> <p>「世界文学への招待（'22）」柳原 孝敦</p> <p>「世界文学の古典を読む（'20）」村松 真理子</p>

		ンツェ出身の詩人ダンテの書いた長大な作品である『神曲』について、その作品が「旅」を通じて描こうとしている世界観と彼岸のイメージをたどりながら、知性論・恋愛論として読み解くことを試みる。			
10	「日本文学と和歌（'21）」二条為世と和歌四天王 「世界文学への招待（'22）」グローバリズムとラテンアメリカ——マジック・リアリズムの浮沈 「世界文学の古典を読む（'20）」イタリア2『デカメロン』	「日本文学と和歌（'21）」鎌倉時代の終わりごろから南北朝時代にかけて、和歌の正統を担ったのは二条家であり、その中で二条為世の門弟、とくに和歌四天王と呼ばれた歌人たちの活躍が目立っていた。彼らは和歌普及の役割を果たした。 「世界文学への招待（'22）」『百年の孤独』に前後する1960年代に出来たラテンアメリカ文学のブームと、その結果できたこの地の文学に対する認識の展開、この認識に対する後の世代の向き合い方などを、グローバリズムという視点で考える。 「世界文学の古典を読む（'20）」ボッカッチョ『デカメロン』をめぐって、物語文学の系譜の問題や、語りの仕組み「枠物語」、読者とテキストの関係などについて考えながら、冒険・運命・機知の物語としての「旅」のノヴェッラの楽しさを味わう。	講義	授業内容を復習してください。	「日本文学と和歌（'21）」渡部 泰明 「世界文学への招待（'22）」柳原 孝敦 「世界文学の古典を読む（'20）」村松 真理子
11	「日本文学と和歌（'21）」京極派の活動 「世界文学への招待（'22）」いちばん近い世界文学・今日の韓国文学を読む 「世界文学の古典を読む（'20）」フランス1アーサー王物語と聖杯の探索	「日本文学と和歌（'21）」十四世紀に突然のように登場した、京極派という歌人集団があった。きわめて個性的な和歌を詠み、『玉葉和歌集』『風雅和歌集』の二つの勅撰集を残して、消えていった。彼らの叙景的といわれる表現の特徴と、その背景を考える。 「世界文学への招待（'22）」韓国文学は日本にいちばん近い世界文学である。だが近年まで一般にはほとんど意識されず、遠い存在と思われてきた。それが今、大きく変わりつつある。隣国であると同時にかつて日本が国権を奪った土地でもある韓国の文学を読むことは、日本という国の足元を見つめることでもある。 「世界文学の古典を読む（'20）」封建社会における騎士の放浪の意味を社会的に検討しつつ、歴史書から発展したアーサー王物語を読み解く。とりわけ聖杯探索を巡る円卓の騎士たちの冒険や旅立ちの意味について考える。	講義	授業内容を復習してください。	「日本文学と和歌（'21）」渡部 泰明 「世界文学への招待（'22）」斎藤 真理子 「世界文学の古典を読む（'20）」横山 安由美
12	「日本文学と和歌（'21）」三玉集の時代 「世界文学への招待（'22）」光州事件を描く——ハン・ガンの『少年が来る』を	「日本文学と和歌（'21）」天皇の力や和歌がもっとも衰微した時代と見なされがちな戦国時代に、尋常ならざる情熱で和歌に取り組んだ、後柏原天皇らの活動があり、和歌は命脈を保つことができた。	講義	授業内容を復習してください。	「日本文学と和歌（'21）」渡部 泰明 「世界文学への招待（'22）」斎藤 真理子 「世界文学の古典を読む（'20）」横山 安由美

	<p>読む 「世界文学の古典を読む(20)」フランス2『エッセー』</p>	<p>「世界文学への招待(22)」 今、世界で最も注目されている韓国人作家ハン・ガンの代表作『少年が来る』(2014年)は、1980年に起きた光州事件をテーマにした小説である。一国の歴史的な重大事件を俯瞰して物語を生み出すために、またそれが世界文学になるためには何が必要なのだろうか。ナイジェリア出身の作家チママンダ・ンゴズィ・アディーチェがビアフラ戦争を描いた『半分のぼった黄色い太陽』(2007年)との類似点も参照しながら考える。 「世界文学の古典を読む(20)」ルネサンス期のフランスにおいて、『エッセー』の著者モンテーニュがどのような旅をし、どのような記録・文学を残しているのか、社会背景や思想との関わりについて考える。</p>			
13	<p>「日本文学と和歌(21)」後水尾院とその時代 「世界文学への招待(22)」言葉の「際」をさぐる——古井由吉の作品 「世界文学の古典を読む(20)」イギリス1『カンタベリー物語』</p>	<p>「日本文学と和歌(21)」寛永文化の中心人物、後水尾院は、天皇と公家の文化的権威を守るため、多くの歌人を指導するなど、熱心に和歌活動を行った。 「世界文学への招待(22)」もともとドイツ文学者として出発した古井由吉にとって、日本語で書くということとはどのような意味を持っていたのか、作品と批評とを併せて読むことで考察する。古井の作品は強い文体意識に支えられた鋭い批評性を持っており、語るということ、生きるということについて、読者を巻きこみながら反省的に見つめなおす視線を育む。 「世界文学の古典を読む(20)」英語圏文学の古典として名高い『カンタベリー物語』を取り上げ、大陸の文学の系譜と関連づけながら、その主要なテーマとなっている巡礼の意味について考える。</p>	講義	授業内容を復習してください。	<p>「日本文学と和歌(21)」渡部 泰明 「世界文学への招待(22)」阿部 公彦 「世界文学の古典を読む(20)」小林 宜子</p>
14	<p>「日本文学と和歌(21)」賀茂真淵と江戸派の活動 「世界文学への招待(22)」未知の言葉を求めて——多和田葉子の小説 「世界文学の古典を読む(20)」イギリス2『妖精の女王』</p>	<p>「日本文学と和歌(21)」江戸時代中期の国学者、賀茂真淵は和歌や歌学にも優れ、多くの門人を育てた。その門流から出た加藤(橘)千蔭や村田春海ら江戸派の歌人たちは、とくに江戸の都市民の心をつかんだ。 「世界文学への招待(22)」多和田葉子は、日本語で旺盛に作品を発表し続けるとともに、ドイツで暮らし、ドイツ語で書く作家としても高い評価を受けている。「洒落」、「翻訳」、「人工語」といった概念を手掛かりとして、自由奔放であると同時に強固な意志に支えられた、多和田の文学的冒険を読み解く。 「世界文学の古典を読む(20)」古典古代の叙事詩や</p>	講義	授業内容を復習してください。	<p>「日本文学と和歌(21)」渡部 泰明 「世界文学への招待(22)」野崎 欽 「世界文学の古典を読む(20)」小林 宜子</p>

		中世の騎士道物語の影響を受けて書かれた近世の英詩『妖精の女王』に焦点を絞り、それが依拠する文学的伝統と歴史的な文脈の双方に目を配りながら、物語中に描かれた種々の旅を読み解く。			
15	「日本文学と和歌（'21）」桂園派の広がり 「世界文学への招待（'22）」世界文学をより深く味わうために 「世界文学の古典を読む（'20）」テキストと旅	「日本文学と和歌（'21）」江戸時代後期に大きな勢力となった和歌の門流である、桂園派を取り上げる。香川景樹が始めたこの一派は、なぜこれほど広まるようになったのか、その和歌や指導の特徴について考える。 「世界文学への招待（'22）」世界文学をより深く味わい、読み続けるための指針となる事柄を学ぶ。21世紀の今日を生きるわれわれにとって、よく知られた古典から最新の作品まで、外国の文学に親しむことにどのような意義があるかを認識し、さらなる読書体験の契機とする。 「世界文学の古典を読む（'20）」最終回は講師全員の「古典における旅」についての短いエッセーのエッセンスを3人の講師がまとめながら、受講者ととも文学を読む楽しみ、とくに「古典」に親しむ喜びと豊かさについて、考える。	講義	授業内容を復習してください。	「日本文学と和歌（'21）」 渡部 泰明 「世界文学への招待（'22）」 講師全員 「世界文学の古典を読む（'20）」講師全員
日付					

教科書	放送大学のテキスト
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護1/看護6
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教育補助教員 看護学科 前田のぞみ：第2共同研究室 nmaeda@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	文化人類学	科目英語表記	Cultural anthropology		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 松本 剛				
科目責任者氏名	松本 剛				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	この授業では、医療従事者に必要とされる専門知識や技術、態度のうち、態度について考え、それを養うことを主眼とします。文化人類学における主要な学説やさまざまな事例に触れることで、自分とは異なる考え方やものの見方をする人々の存在に気づくとともに、これまで自分が「当たり前」と考えていたことを疑う姿勢を身に付けます。その上で、多様であること、異なることが原因で生じる、私たちの身の回りに存在する社会的問題（医療現場を含む）を取り上げ、その解決方法を模索します。用意された答えはありません。履修学生とともにその答えを導き出したいと思えます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の相対化をとおして、「他なるもの」を受け入れ、理解する手がかりを獲得する。 ・ 人類学の研究を概観することで、この学問における考え方や基礎概念を身につける。 ・ 変化の激しい現代社会を生き抜くためのヒントを見つけることができる。 				
成績評価方法	<p>平常点（50％）と学期末レポートの評価（50％）の合計をもって評点とします。毎回の授業時に配布する「出席カード」に、授業を聞いて感じたこと・考えたこと・質問・要望などを書き、提出してください。この内容に対する評価を平常点とします。学期末レポートでは、知識修得・理解の度合い、論理的思考力、文章表現力について判定します。レポート内容の詳細については授業内で説明します。</p> <p>配点：平常点50%、学期末レポート50%</p>				
成績評価基準	総合評価基準：100～90点=A、89～80点=B、79～70点=C、69～60点=D、60点未満=F				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	第一部：文化人類学とは	文化と言語の4つの特徴、文化相対主義、参与観察という方法論、言語相対論（サピア・ウォーフの仮説）、言語は文化による構造物か自然の遺産か、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
2	第一部：文化人類学とは	文化と言語の4つの特徴、文化相対主義、参与観察という方法論、言語相対論（サピア・ウォーフの仮説）、言語は文化による構造物か自然の遺産か、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
3	第一部：文化人類学とは	文化と言語の4つの特徴、文化相対主義、参与観察という方法論、言語相対論（サピア・ウォーフの仮説）、言語は文化による構造物か自然の遺産か、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
4	第一部：文化人類学とは	文化と言語の4つの特徴、文化相対主義、参与観察という方法論、言語相対論（サピア・ウォーフの仮説）、言語は文化による構造物か自然の遺産か、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
5	第一部：文化人類学とは	文化と言語の4つの特徴、文化相対主義、参与観察という方法論、言語相対論（サピア・ウォーフの仮説）、言語は文化による構造物か自然の遺産か、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本

6	第二部：人間社会の多様性と普遍性	文化と言語の4つの特徴、文化相対主義、参与観察という方法論、言語相対論（サピア・ウォーフの仮説）、言語は文化による構造物か自然の遺産か、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
7	第二部：人間社会の多様性と普遍性	世界の切り分け方（時空間、身体、色など）、儀礼の必要性、分類から漏れるもの、親族6類型と親族名称、絶対的/相対的指示枠、単一言語社会と多言語社会、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
8	第二部：人間社会の多様性と普遍性	世界の切り分け方（時空間、身体、色など）、儀礼の必要性、分類から漏れるもの、親族6類型と親族名称、絶対的/相対的指示枠、単一言語社会と多言語社会、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
9	第二部：人間社会の多様性と普遍性	世界の切り分け方（時空間、身体、色など）、儀礼の必要性、分類から漏れるもの、親族6類型と親族名称、絶対的/相対的指示枠、単一言語社会と多言語社会、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
10	第二部：人間社会の多様性と普遍性	世界の切り分け方（時空間、身体、色など）、儀礼の必要性、分類から漏れるもの、親族6類型と親族名称、絶対的/相対的指示枠、単一言語社会と多言語社会、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
11	第三部：文化人類学的視点から見た社会・医療における諸問題	世界の切り分け方（時空間、身体、色など）、儀礼の必要性、分類から漏れるもの、親族6類型と親族名称、絶対的/相対的指示枠、単一言語社会と多言語社会、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
12	第三部：文化人類学的視点から見た社会・医療における諸問題	思考実験：有徴と無徴、ポリティカル・コレクトネス文化・社会ごとの医療の違い（医療の多様性）、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
13	第三部：文化人類学的視点から見た社会・医療における諸問題	思考実験：有徴と無徴、ポリティカル・コレクトネス文化・社会ごとの医療の違い（医療の多様性）、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
14	第三部：文化人類学的視点から見た社会・医療における諸問題	思考実験：有徴と無徴、ポリティカル・コレクトネス文化・社会ごとの医療の違い（医療の多様性）、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本
15	第三部：文化人類学的視点から見た社会・医療における諸問題	思考実験：有徴と無徴、ポリティカル・コレクトネス文化・社会ごとの医療の違い（医療の多様性）、など	講義	授業前に参考図書を読み、自分なりに考えてみる。また、さらに理解を深めるために、図書館やインターネットで調べてみる。	松本

日付

6.4. 8 (月) 2
6.4.15 (月) 2
6.4.22 (月) 2
6.5.13 (月) 2
6.5.20 (月) 2
6.5.27 (月) 2
6.6. 3 (月) 2
6.6.10 (月) 2
6.6.17 (月) 2

6.6.24 (月) 2
 6.7. 1 (月) 2
 6.7. 8 (月) 2
 6.7.22 (月) 2
 6.7.23 (火) 2
 6.7.29 (月) 2

教科書	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松村圭一郎(著)『はみだしの人類学』NHK出版 2020年 ・ 奥野克巳(著)『これからの時代を生き抜くための文化人類学入門』辰巳出版 2022年 ・ T.インゴルド(著)『人類学とは何か』亜紀書房 2020年 ・ 竹沢尚一郎(著)『人類学的思考の歴史』世界思想社 2007年
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6／看護7／理学4／理学5／作業4
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	松本剛：gocito@human.kj.yamagata-u.ac.jp
備考	

授業科目	宗教学	科目英語表記	Religious Studies		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 久保田 力				
科目責任者氏名	久保田 力				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	<p>「宗教学」のサブタイトルは「一人類進化の観点から」とし、宇宙史や地球史、生命史や人類史というスタンスで自己存在の根底的な背景と意義を考える。</p> <p>混迷を極めたグローバルな現代社会において、起源的意味での宗教性やグローバル性を探究する。「私たちはどこから来たのか。私たちは何者なのか。私たちはどこへ行くのか。」それら哲学的命題へ科学的に答えるためにまず、宇宙→地球→人類→文明の成立過程を探る。これによって私たちの存在自体の起源や意味を客観的に理解する。宗教学のみならず、考古学や歴史学、人類学、心理学、生物学などの知を駆使して人類史を振り返るビッグヒストリーの体感。ホモ・サピエンスに至る人類進化の科学的成果を学ぶ。私たちが共有するアイデンティティの確認は医療分野においても人間理解の前提となる有効性を持つと考える。</p> <p>宇宙論と進化論を両輪として人間世界や宗教の意義を客観的・科学的に眺められる座標軸を提供する。ただし、宗教自体の進化論的理解は今日では認められていない点は誤解しないように。あくまでも、人類史における宗教の役割の観点を重視する。本授業では個別的宗教や文化の「違い」よりも、人類的思考や文化の「共通点」に多く着目する。多様な研究成果の視点を取り入れつつ、自民族中心主義（エスノセントリズム）に陥らないように、自己をより深いグローバルな次元で認識できる能力を養う。宗教学は信仰を直接的に求めたり深めたりする学問ではない。むしろそれらを相対化する視点である。本講義は狭い意味での宗教学を超えて、自己の成り立ちを宇宙的次元と進化的次元から掘り返る自己再発見の旅路だと捉えて頂きたい。その受け止め方によっては、いわば“科学的なスピリチュアリズム”となる可能性もあろう。後半期においては、キリスト教やイスラム教、ユダヤ教、仏教、ヒンドゥー教などの個別的宗教の基本知識を学習するよう努める。</p>				
到達目標	<p>以下、試験においても設問化予定の到達目標群である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 宇宙や地球の歴史について、重要事項の年代的数値を明確に言える。 2) 元来複数いた人類の進化の5段階の過程を、その特徴と共に説明できる。 3) 宗教的思考の発生時期や発生状況とその特性や意義を説明できる。 4) 人類の進化における5つの革命を挙げることができる。 5) 宗教の原初的形態であるアニミズムやマナイズムを説明できる。 6) 類人猿と人間との間の根本的な相違点を指摘できる。 7) 世界宗教と民族宗教との違いを列挙・説明できる。 8) ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の共通点や傾向を説明できる 9) 呪術の基本的構造を簡潔に説明できる。 10) 仏教思想の根本的思想を指摘・説明できる。 				
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1) 毎回の授業で出席確認を兼ねてキーワードテスト（ミニテスト）（各5点）を実施。（それぞれ到達目標1～10のいずれかを対象）。70点満点＝70％ 授業内容からキーワードを基本5問ずつ問うミニテストを毎回の授業末に実施する（ノート参照可）。その結果、各回においては、 5点＝特に優れている（A）；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 4点＝優れている（B）；根拠をふまえて論理的に説明できる 3点＝良好である（C）；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 2点＝最低限の最低限の到達（D）；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 1点＝目標に到達していない（F）；説明できない を採点基準とする。そして、それらミニテストの合計（5×14＝70点）のうち60点以上をA、55点以上をB、40点以上をC、39点以下をDとみなす。 2) 期末筆記試験（到達目標1～10すべてを対象とする）（ノート参照可）。30点満点＝30％ その結果は、上記の採点基準に準じて、 27点以上＝特に優れている（A）；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 24点以上＝優れている（B）；根拠をふまえて論理的に説明できる 21点以上＝良好である（C）；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 18点以上＝最低限の最低限の到達（D）；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 17点以下＝目標に到達していない（F）；説明できない を採点基準とする。 3) 欠席は1回につき、－5点とする（病欠の場合は配慮する＝ただし、病院のレシートかそれに相当する証拠を提示すること）。 4) 授業やミニテストにおいて、積極的な問題提起や意見提示に対しては10点を上限に加点する。 5) 以上4種の総合得点により、最終的な評価は、本学評価基準の通り、 A（100～90点）、B（89～80点）、C（79～70点）、D（69～60点）、F（59～0点）の5段階評価とする。 				
成績評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) 到達目標1～10それぞれ各授業毎のミニテスト（基本5点満点）。各授業内容のキーワードを毎授業末時に正確に指摘することができる。14分分で合計70点。評価基準は上記の通り。 2) 到達目標1～10（期末筆記試験）前期を通して授業内容におけるキーワードを、コンテキストとともに正確に把握できている。30点満点。評価基準は上記の通り。 3) 欠席は1回につき、－5点とする（病欠の場合は配慮する＝ただし、病院のレシートかそれに相当する証拠を提示すること）。 4) 授業やミニテストにおいて、積極的な問題提起や意見提示に対しては10点を上限に加点する。 				

5) 以上4種の総合得点により、最終的な評価は、本学評価基準の通り、
A (100～90点)、B (89～80点)、C (79～70点)、D (69～60点)、F (59～0点) の5段階評価とする。

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	※ VTR鑑賞を中心に構成しつつ授業を推進する。その際、鑑賞中にストップモーションをかけながら、久保田が必要な補足的説明や解説を頻繁に行う。シラバス記載内容はあくまで暫定的な予定だと捉えて頂きたい。人類史にとって新たな画期的発見のニュースや必要な補足事項が見出されれば、授業内容を臨機応変に追加又は省略することがある。(少人数での授業の場合はゼミ形式に近くして、プレゼンテーションなどを課すこともある。) ・ガイダンス及び近代宗教学の成立 ・「ナマス・テー」と合掌について	シラバス説明ガイダンス 近代宗教学の成立 民族宗教と世界宗教 (宗教の一般的分類方法)	エスノセントリズム (自民族中心主義) への自覚 キーワードの確認	・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
2	1 宇宙・地球の歴史 (2時間で見える地球の歴史) 前編1	宇宙の起源、超新星爆発、地球の誕生など	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・第1回学習内容の振り返り ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理 ・興味ある事象についての追跡調査	久保田 力
3	宇宙・地球の歴史 (2時間で見える地球の歴史) 前編2	地球の誕生、月の誕生、生物の誕生、恐竜の繁栄、人類の誕生、など 認知革命・象徴的思考能力	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・第1回学習内容の振り返り ・レトリックの内のメタファーとメトニミーについて学習しておくこと ・興味ある事象についての追跡調査 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
4	宇宙・地球の歴史 (2時間で見える地球の歴史) 後編	農耕革命、帝国の誕生、一神教の誕生、精神革命、産業革命、情報革命、など	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理 ・追跡調査	久保田 力
5	20世紀の特異性もしくは異常性	人類史における5大革命のおさらい 20世紀の総括の仕方	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
6	人類進化の700万年	人類進化における5段階 (NHKスペシャル「人類誕生：第1集」)	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
7	ネアンデルタール人とホモ・サピエンス (「人類誕生：第2集」)	宗教的思考の萌芽、知性の発達、洞窟壁画、チンパンジーとの根本的相違、ネアンデルタール人の絶滅理由	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力

8	ホモ・サピエンス日本へ（「人類誕生：第3集」）	白保人、流動的知性、南方ルートからの移住：実験考古学	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理 ・授業資料の予習＝読解	久保田 力
9	農耕革命と精神革命※精神革命については「宗教学」的には特に重要。後の授業にてキリスト教、仏教、ギリシャ哲学、儒教、のそれぞれについて時間の許す限り展開的説明を行う。	ギョベクリ・テベ遺跡を中心に（NHKスペシャル「ヒューマン：第3集 大地に種をまいたとき」） 農耕社会の本質的特徴。 精神革命の時期、特徴、意義。	・的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること ・授業資料の読み込み	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
10	ハラリ『サピエンス全史』	ユヴァル・ノア・ハラリ氏の『サピエンス全史』を観る。これまでの学習内容の新視点からの総括でもある	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
11	ユダヤ教とキリスト教	ユダヤ教、キリスト教の成立、教義、展開など（VTRあり）	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
12	イスラム教	イスラム教の歴史、教義、展開	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
13	部族宗教≒原初的宗教形態の特徴	・アニミズム、マナイズム、原始一神教について ・フレイザーによる呪術の基本的種類と特徴	・的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること ・資料の読解	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
14	仏教について1（バラモン教の背景とともに）	ブッダという人物、思想、歴史、バラモン教とヒンドゥー教、テーラヴァーダ仏教と大乘仏教及び密教	・的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること ・資料の読解	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力
15	仏教について2、神道について、日本人の「無宗教」	15 華嚴経の思想、自然崇拜＋α、無神論と無宗教、	的確にキーワード、キーセンテンスをノートテイクすること	・授業資料の読み返し復習 ・キーワード、キーセンテンスを中心にしたノートテイクの整理	久保田 力

日付

6.4. 9 (火) 4
6.4.16 (火) 4
6.4.23 (火) 4
6.4.30 (火) 4
6.5. 7 (火) 4
6.5.14 (火) 4
6.5.21 (火) 4
6.5.28 (火) 4
6.6. 4 (火) 4
6.6.11 (火) 4
6.6.18 (火) 4
6.6.25 (火) 4
6.7. 2 (火) 4
6.7. 9 (火) 4
6.7.16 (火) 4

教科書	なし
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護1
先修条件指定科目	非該当

先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	久保田力：manayuikubota921@yahoo.co.jp
備考	

授業科目	英語 I	科目英語表記	English I			
職名、担当教員氏名	教授 梶 理和子					
科目責任者氏名	梶 理和子					
学内連絡教員氏名						
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年			
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択			
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位	
授業概要	この授業では、教育や家庭といった身近なテーマから、最新のテクノロジーや地球資源にいたるさまざまなトピックを扱う教科書を使って、英文の構造や表現を理解し、テーマに関わる問題や異なる価値観等を考察することを目的としています。個人作業に加えて、グループワークによる英文の確認、疑問点の確認といった演習をおこなってもらいますので、辞書や参考書を持参のうえ授業に参加してください。英語の音（発音やアクセント、リズム）や表現に対する関心を高め、自分の問題意識や考えを言語化することを心がけてください。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 辞書、その他のツールで検索し、言葉の適切な意味を選択できる 英文の意味（内容）を前後の文脈から解釈できる 英文の音声を確認（シャドーイング）して、正確な発音やリズムで音読できる 英文の構造や、表現、内容にかかわる疑問や関心を調べて、自分の考えを説明できる グループワークで、共通理解構築のために貢献・協力できる 					
成績評価方法	教科書設問解答（一定の期間内にMicrosoft Formsで解答する）30% [到達目標1, 2で評価] 演習（グループワーク等の演習態度やminute paperによって評価する）40% [到達目標3, 4, 5で評価] 小テスト（各Chapterの最後にMicrosoft Formsで問題に解答する）30% [到達目標1, 2で評価]					
成績評価基準	評価	A	B	C	D	F
	到達目標					
	1	さまざまなツールを用いて、適切に言葉の意味を検索・選択できる	さまざまなツールを用いて、言葉の意味を検索できる	ツールを用いて検索できるが、言葉の意味の選択に不適切な場合がある	ツールの活用が不十分で、言葉の意味を検索・選択できない	適切な英語表現の選択がなされず、英文を理解できない
	2	文脈を踏まえて、正確に意味・内容を解釈できる	文脈を意識して、意味・内容を解釈できる	ある程度、文脈を意識して英文の意味を取れる	文脈を意識して英文・論文を読めないことが多い	文脈を意識して英文・論文を読むことができない
	3	正しい発音やリズムで英文を流暢に音読できる	発音やリズムを意識して、英文を音読できる	ほぼ正確な発音で英文を音読できる	不適切な発音やリズムでたどたどしい音読である	単語の読み方（発音）を調べず、読めない
	4	疑問・関心を明らかにして、それに対する自分の考えを明確に説明できる	疑問または関心をもって自分の考えを説明できる	疑問点を特定し、自分の解答案を説明できる	疑問を特定できず、考察に至らない	英文の形式・内容を理解できない
5	積極的にグループワーク等に参加し、効果的に演習に取り組める	グループワーク等に参加し、しっかりと演習に取り組める	課題と関連の低い会話や作業によって、あまり演習に取り組めない	コミュニケーションが乏しく、演習に取り組めない	演習に参加しない	

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	オリエンテーション	授業概要説明	教科書の使い方説明（Introduction参照）、自己目標設定	シラバス・教科書確認、音声ダウンロード * 授業外学習は基本的にその回の授業の前におこなう内容です	梶

2	授業の進め方(1)	Chapter 1を用いて、授業の進め方を確認する(1)	(1) Prereading, Vocabularyの解答を確認する (2) Reading Analysisの設問をグループワークで解答し、クラス全体で確認する	(1) Prereading, Vocabularyに解答する (2) Reading Analysisの英文を読み、グループワークできるように設問の解答を準備する	梶
3	授業の進め方(2)	Chapter 1を用いて、授業の進め方を確認する(2)	(1) Reading Analysisの疑問等を確認する (2) Reading Skillの設問をグループワークで解答し、クラス全体で確認する (3) 確認問題(小テスト)にFormsで解答する	(1) Reading Analysisの英文や内容に関わる疑問点を見つけ、自分なりの答えを用意する (2) Reading Skillの設問をグループワークできるように設問の解答を準備する	梶
4	Chapter 3	Chapter 3 (1)	Prereading, Vocabulary, Reading AnalysisのForms解答箇所、および英文に関わる疑問等をグループワークで確認し、クラス全体で解決(共通認識を構築)する	(1) Prereading, Vocabulary, Reading AnalysisにFormsで解答する (2) Reading Analysisの英文を読み、グループワークできるように準備する	梶
5	Chapter 3	Chapter 3 (2)	Reading Analysisの英文を音読し、文の構造等について確認し、内容についてもディスカッション等を通じて理解を深める	Reading Analysisの英文を音声でシャドーイングして音読し、文章の構造と内容についてグループワークできるように準備する	梶
6	Chapter 3	Chapter 3 (3)	(1) Reading Skillの設問はじめ、疑問等をグループワークで確認する (2) 確認問題(小テスト)にFormsで解答する	(1) Reading Skillの設問にFormsで回答する (2) 全体を振り返り、理解したことを自分の言葉で要約する	梶
7	Chapter 5	Chapter 5 (1)	Prereading, Vocabulary, Reading AnalysisのForms解答箇所、および英文に関わる疑問等をグループワークで確認し、クラス全体で解決(共通認識を構築)する	(1) Prereading, Vocabulary, Reading AnalysisにFormsで解答する (2) Reading Analysisの英文を読み、グループワークできるように準備する	梶
8	Chapter 5	Chapter 5 (2)	Reading Analysisの英文を音読し、文の構造等について確認し、内容についてもディスカッション等を通じて理解を深める	Reading Analysisの英文を音声でシャドーイングして音読し、文章の構造と内容についてグループワークできるように準備する	梶
9	Chapter 5	Chapter 5 (3)	(1) Reading Skillの設問はじめ、疑問等をグループワークで確認する (2) 英文の内容を自分の言葉で要約する (3) 確認問題(小テスト)にFormsで解答する	(1) Reading Skillの設問にFormsで回答する (2) 全体を振り返り、理解したことをアウトプットする	梶
10	Chapter 7	Chapter 7 (1)	Prereading, Vocabulary, Reading AnalysisのForms解答箇所、および英文に関わる疑問等をグループワークで確認し、クラス全体で解決(共通認識を構築)する	(1) Prereading, Vocabulary, Reading AnalysisにFormsで解答する (2) Reading Analysisの英文を読み、グループワークできるように準備する	梶
11	Chapter 7	Chapter 7 (2)	Reading Analysisの英文を音読し、文の構造等について確認し、内容についてもディスカッション等を通じて理解を深める	Reading Analysisの英文を音声でシャドーイングして音読し、文章の構造と内容についてグループワークできるように準備する	梶
12	Chapter 7	Chapter 7 (3)	(1) Reading Skillの設問はじめ、疑問等をグループワークで確認する (2) 英文の内容を自分の言葉で要約する (3) 確認問題(小テスト)にFormsで解答する	(1) Reading Skillの設問にFormsで回答する (2) 全体を振り返り、理解したことをアウトプットする	梶

13	Chapter 9	Chapter 9 (1)	Prereading, Vocabulary, Reading AnalysisのForms解答箇所、および英文に関わる疑問等をグループワークで確認し、クラス全体で解決（共通認識を構築）する	(1) Prereading, Vocabulary, Reading AnalysisにFormsで解答する (2) Reading Analysisの英文を読み、グループワークできるように準備する	梶
14	Chapter 9	Chapter 9 (2)	Reading Analysisの英文を音読し、文の構造等について確認し、内容についてもディスカッション等を通じて理解を深める	Reading Analysisの英文を音声をシャドーイングして音読し、文章の構造と内容についてグループワークできるように準備する	梶
15	Chapter 9	Chapter 9 (3) 設定目標の達成度評価	(1) Reading Skillの設問はじめ、疑問等をグループワークで確認する (2) 英文の内容を自分の言葉で要約する (3) 確認問題（小テスト）にFormsで解答する	(1) Reading Skillの設問にFormsで回答する (2) 全体を振り返り、理解したことをアウトプットする (3) 設定目標の達成度評価	梶

日付

6. 4.10 (水) 1・2
6. 4.17 (水) 1・2
6. 4.24 (水) 1・2
6. 5. 1 (水) 1・2
6. 5. 8 (水) 1・2
6. 5.15 (水) 1・2
6. 5.22 (水) 1・2
6. 5.29 (水) 1・2
6. 6. 5 (水) 1・2
6. 6.12 (水) 1・2
6. 6.19 (水) 1・2
6. 6.26 (水) 1・2
6. 7. 3 (水) 1・2
6. 7.10 (水) 1・2
6. 7.17 (水) 1・2

教科書	Reading Access, New Edition: Skills for Academic Success (センゲージラーニング, 2024)
参考書	参考資料（発表や意見交換のための英語表現等）等はプリントで配布します
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6/理学4/理学5/作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	梶 理和子：研究室25 rkazi@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	英語Ⅱ	科目英語表記	English II																																											
職名、担当教員氏名	教授 梶 理和子																																													
科目責任者氏名	梶 理和子																																													
学内連絡教員氏名																																														
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年																																											
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択																																											
授業形態	講義／演習	開講時期	後期																																											
		単位数	1単位																																											
授業概要	この授業では、アメリカの学生向けニュース番組を題材とする教科書を用いて総合的な英語の力と考える力を身につけることを目的としています。個人作業のみならず、グループワークによる英文の確認、疑問点の抽出といった演習をおこなってもらいますので、辞書や参考書を持参のうえ授業に参加してください。英文の理解のみならず、英語の音（発音やアクセント、リズム）や表現に対する関心を高めるとともに、トピックに対する考えや疑問を他の学生に説明することで、扱われている問題に対する意識を言語化することを心がけてください。																																													
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 辞書、その他のツールで検索し、言葉の適切な意味を選択できる 英文の意味（内容）を前後の文脈から解釈できる 英文の音声を確認（シャドーイング）して、正確な発音やリズムで音読できる 英文の構造や、表現、内容にかかわる疑問や関心を調べて、自分の考えを説明できる グループワークで、共通理解構築のために貢献・協力できる 																																													
成績評価方法	教科書設問解答（一定の期間内にMicrosoft Formsで解答する）40% [到達目標1, 2で評価] 演習（グループワーク等の演習態度やminute paperによって評価する）40% [到達目標3, 4, 5で評価] レポート（Try this, too!のリサーチ）30% [到達目標4で評価]																																													
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>到達目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>さまざまなツールを用いて、適切に言葉の意味を検索・選択できる</td> <td>さまざまなツールを用いて、言葉の意味を検索できる</td> <td>ツールを用いて検索できるが、言葉の意味の選択に不適切な場合がある</td> <td>ツールの活用が不十分で、言葉の意味を検索・選択できない</td> <td>適切な英語表現の選択がなされず、英文を理解できない</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>文脈を踏まえて、正確に意味・内容を解釈できる</td> <td>文脈を意識して、意味・内容を解釈できる</td> <td>ある程度、文脈を意識して英文の意味を取れる</td> <td>文脈を意識して英文・論文を読めないことが多い</td> <td>文脈を意識して英文・論文を読むことができない</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>正しい発音やリズムで英文を流暢に音読できる</td> <td>発音やリズムを意識して、英文を音読できる</td> <td>ほぼ正確な発音で英文を音読できる</td> <td>不適切な発音やリズムでたどたどしい音読である</td> <td>単語の読み方（発音）を調べず、読めない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>疑問・関心を明らかにして、それに対する自分の考えを明確に説明できる</td> <td>疑問または関心をもつて自分の考えを説明できる</td> <td>疑問点を特定し、自分の解答案を説明できる</td> <td>疑問を特定できず、考察に至らない</td> <td>英文の形式・内容を理解できない</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>積極的にグループワーク等に貢献し、効果的に演習に取り組める</td> <td>グループワーク等に参加し、しっかりと演習に取り組める</td> <td>課題と関連の低い会話や作業によって、あまり演習に取り組めない</td> <td>コミュニケーションが乏しく、演習に取り組めない</td> <td>演習に参加しない</td> </tr> </tbody> </table>				評価	A	B	C	D	F	到達目標						1	さまざまなツールを用いて、適切に言葉の意味を検索・選択できる	さまざまなツールを用いて、言葉の意味を検索できる	ツールを用いて検索できるが、言葉の意味の選択に不適切な場合がある	ツールの活用が不十分で、言葉の意味を検索・選択できない	適切な英語表現の選択がなされず、英文を理解できない	2	文脈を踏まえて、正確に意味・内容を解釈できる	文脈を意識して、意味・内容を解釈できる	ある程度、文脈を意識して英文の意味を取れる	文脈を意識して英文・論文を読めないことが多い	文脈を意識して英文・論文を読むことができない	3	正しい発音やリズムで英文を流暢に音読できる	発音やリズムを意識して、英文を音読できる	ほぼ正確な発音で英文を音読できる	不適切な発音やリズムでたどたどしい音読である	単語の読み方（発音）を調べず、読めない	4	疑問・関心を明らかにして、それに対する自分の考えを明確に説明できる	疑問または関心をもつて自分の考えを説明できる	疑問点を特定し、自分の解答案を説明できる	疑問を特定できず、考察に至らない	英文の形式・内容を理解できない	5	積極的にグループワーク等に貢献し、効果的に演習に取り組める	グループワーク等に参加し、しっかりと演習に取り組める	課題と関連の低い会話や作業によって、あまり演習に取り組めない	コミュニケーションが乏しく、演習に取り組めない	演習に参加しない
評価	A	B	C	D	F																																									
到達目標																																														
1	さまざまなツールを用いて、適切に言葉の意味を検索・選択できる	さまざまなツールを用いて、言葉の意味を検索できる	ツールを用いて検索できるが、言葉の意味の選択に不適切な場合がある	ツールの活用が不十分で、言葉の意味を検索・選択できない	適切な英語表現の選択がなされず、英文を理解できない																																									
2	文脈を踏まえて、正確に意味・内容を解釈できる	文脈を意識して、意味・内容を解釈できる	ある程度、文脈を意識して英文の意味を取れる	文脈を意識して英文・論文を読めないことが多い	文脈を意識して英文・論文を読むことができない																																									
3	正しい発音やリズムで英文を流暢に音読できる	発音やリズムを意識して、英文を音読できる	ほぼ正確な発音で英文を音読できる	不適切な発音やリズムでたどたどしい音読である	単語の読み方（発音）を調べず、読めない																																									
4	疑問・関心を明らかにして、それに対する自分の考えを明確に説明できる	疑問または関心をもつて自分の考えを説明できる	疑問点を特定し、自分の解答案を説明できる	疑問を特定できず、考察に至らない	英文の形式・内容を理解できない																																									
5	積極的にグループワーク等に貢献し、効果的に演習に取り組める	グループワーク等に参加し、しっかりと演習に取り組める	課題と関連の低い会話や作業によって、あまり演習に取り組めない	コミュニケーションが乏しく、演習に取り組めない	演習に参加しない																																									

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	オリエンテーション	授業概要説明	教科書の使い方説明、自己目標設定	シラバス・教科書確認、音声ダウンロード * 授業外学習は基本的にその回の授業の前におこなう内容です	梶
2	授業の進め方(1)	Chapter 1を用いて、授業の進め方を確認する(1)	(1) 設問1 (Warm Up)をおこなう	(1) 設問2～8にFormsで解答する	梶

			(2) Try This! (音読)をおこなう (3) スクリプトや設問にかかわる疑問を抽出する	(2) 回答期間終了後に正解が開示されるので、確認する	
3	授業の進め方 (2)	Chapter 1を用いて、授業の進め方を確認する(2)	(1) 前回抽出した疑問をグループで相談し、解決案を出して、クラス全体で確認する (2) Try This, too! (Task / Discussion)をおこなう	(1) スクリプトや設問についての疑問に対して自分の答えを用意する (2) Try This, too! (Research)をしてFormsで提出する	梶
4	Chapter 3	Chapter 3 (1)	(1) 設問1 (Warm Up)をおこなう (2) Try This! (音読)をおこなう (3) スクリプトや設問にかかわるの疑問を抽出する	(1) 設問2~8にFormsで解答する (2) 回答期間終了後に正解が開示されるので、確認する	梶
5	Chapter 3	Chapter 3 (2)	(1) スクリプトや設問について抽出した疑問をグループワークで解決案を出して、クラス全体で確認する (2) Try This, too! (Task / Discussion)をおこなう	(1) スクリプトや設問についての疑問に対して自分の答えを用意する (2) Try This, too! (Research)をしてFormsで提出する	梶
6	Chapter 5	Chapter 5 (1)	(1) 設問1 (Warm Up)をおこなう (2) Try This! (音読)をおこなう (3) スクリプトや設問にかかわるの疑問を抽出する	(1) 設問2~8にFormsで解答する (2) 回答期間終了後に正解が開示されるので、確認する	梶
7	Chapter 5	Chapter 5 (2)	(1) スクリプトや設問について抽出した疑問をグループワークで解決案を出して、クラス全体で確認する (2) Try This, too! (Task / Discussion)をおこなう	(1) スクリプトや設問についての疑問に対して自分の答えを用意する (2) Try This, too! (Research)をしてFormsで提出する	梶
8	Chapter 7	Chapter 7 (1)	(1) 設問1 (Warm Up)をおこなう (2) Try This! (音読)をおこなう (3) スクリプトや設問にかかわるの疑問を抽出する	(1) 設問2~8にFormsで解答する (2) 回答期間終了後に正解が開示されるので、確認する	梶
9	Chapter 7	Chapter 7 (2)	(1) スクリプトや設問について抽出した疑問をグループワークで解決案を出して、クラス全体で確認する (2) Try This, too! (Task / Discussion)をおこなう	(1) スクリプトや設問についての疑問に対して自分の答えを用意する (2) Try This, too! (Research)をしてFormsで提出する	梶
10	Chapter 9	Chapter 9 (1)	(1) 設問1 (Warm Up)をおこなう (2) Try This! (音読)をおこなう (3) スクリプトや設問にかかわるの疑問を抽出する	(1) 設問2~8にFormsで解答する (2) 回答期間終了後に正解が開示されるので、確認する	梶
11	Chapter 9	Chapter 9 (2)	(1) スクリプトや設問について抽出した疑問をグループワークで解決案を出して、クラス全体で確認する (2) Try This, too! (Task / Discussion)をおこなう	(1) スクリプトや設問についての疑問に対して自分の答えを用意する (2) Try This, too! (Research)をしてFormsで提出する	梶
12	Chapter 11	Chapter 11 (1)	(1) 設問1 (Warm Up)をおこなう (2) Try This! (音読)をおこなう (3) スクリプトや設問にかかわるの疑問を抽出する	(1) 設問2~8にFormsで解答する (2) 回答期間終了後に正解が開示されるので、確認する	梶
13	Chapter 11	Chapter 11 (2)	(1) スクリプトや設問について抽出した疑問をグループワークで解決案を出して、クラス全体で確認する	(1) スクリプトや設問についての疑問に対して自分の答えを用意する	梶

			(2) Try This, too! (Task / Discussion) をおこなう	(2) Try This, too! (Research) をしてFormsで提出する	
14	Chapter 13	Chapter 13 (1)	(1) 設問1 (Warm Up)をおこなう (2) Try This! (音読)をおこなう (3) スクリプトや設問にかかわるの疑問を抽出する	(1) 設問2~8にFormsで解答する (2) 回答期間終了後に正解が開示されるので、確認する	梶
15	Chapter 13	Chapter 13 (2) 到達目標の達成度評価	(1) スクリプトや設問について抽出した疑問をグループワークで解決案を出して、クラス全体で確認する (2) Try This, too! (Task / Discussion) をおこなう	(1) スクリプトや設問についての疑問に対して自分の答えを用意する (2) Try This, too! (Research) をしてFormsで提出する (3) 到達目標の達成度評価	梶

日付

6. 9.25 (水) 1・2
6.10. 2 (水) 1・2
6.10. 9 (水) 1・2
6.10.16 (水) 1・2
6.10.23 (水) 1・2
6.10.30 (水) 1・2
6.11. 6 (水) 1・2
6.11.13 (水) 1・2
6.11.20 (水) 1・2
6.12. 4 (水) 1・2
6.12.11 (水) 1・2
6.12.18 (水) 1・2
6.12.25 (水) 1・2
7. 1. 8 (水) 1・2
7. 1.15 (水) 1・2

教科書	CNN 10 Student News Vol.12 (朝日出版社, 2024)
参考書	参考資料 (発表や意見交換のための英語表現等) 等はプリントで配布します
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6/理学4/理学5/作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	梶 理和子 : 研究室25 rkazi@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	英語プレゼンテーション	科目英語表記	English Presentation			
職名、担当教員氏名	教授 梶 理和子					
科目責任者氏名	梶 理和子					
学内連絡教員氏名						
学科／分野	看護学科	学年	2年			
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択			
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位	
授業概要	この授業では、エッセイ・ライティングとプレゼンテーションの技法を習得するために、TED Talks等を参考に300語程度のエッセイを作成し、発表（プレゼンテーション）してもらいます。エッセイの作成にあたっては、個々の関心や問題意識を明確にし、考えや意見を伝えるために有効な情報を活用できるように、授業のなかで相談・意見交換できる時間を確保します。また、英語の正確な発音やリズムを身につけるために、朗読やシャドーイング（洋楽やTEDの活用）の演習もおこないます。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. エッセイの基本構造を理解したうえで、300語程度のエッセイを作成する。 2. 映像等の音声や英文を参考に、正しい発音や表現等を自分のエッセイ作成・発表に活用する。 3. 複数の（異なる出版社の／語彙の豊富な／Web上の）辞書を引き、適切な用法・表現を選択する。 4. 英文の構造や、表現等にかかわる疑問点を見つけ、質問や相談をして、解決する。 5. グループワークに積極的に参加する（メンバー間でアドバイス等をおこなう）。 					
成績評価方法	演習〔グループワークやminute paper (quiz含む)によって評価〕40%〔到達目標3,5で評価〕 提出課題（アウトライン・原稿・英文エッセイ）40%〔到達目標1,2,3で評価〕 最終プレゼンテーション 20%〔到達目標4で評価〕					
成績評価基準	評価	A	B	C	D	F
	到達目標					
	1	適切な形式、各に必要な構成要素が適切に用いられている	形式、各に必要な構成要素が用いられている	形式は適切だが、各部の必要な構成要素に不足がある	適切な形式が用いられていない	基本的な構造を理解できず、適切な形式で作成できない
	2	明確な問題意識に基づき、自分の考えを明確に表現できる	問題意識に基づき、自分の考えを表現することができる	ある程度の問題意識をもって、自分の考えをある程度表現できる	感想めいた文章が書かれている	他者の文章が、言及せずに用いられている
	3	さまざまなツールを用いて、適切な英語表現を検索・選択できる	さまざまなツールを用いて、英語表現を検索できる	ツールを用いて検索できるが、英語表現の選択に不適切な場合がある	ツールの活用が不十分で、適切な英語表現の選択ができない	適切な英語表現の選択がなされず、不正確な英文である
	4	正しい発音や抑揚、身振りでプレゼンテーションできる	発音や抑揚、身振りを意識してプレゼンテーションできる	聞き手を意識したプレゼンテーションを実践できる	聞えにくい発声、原稿の棒読み等、プレゼンテーションに相応しくない	聴き手が理解できないプレゼンテーションである
5	積極的にグループワーク等に参加し、効果的に演習に取り組める	グループワーク等に参加し、しっかりと演習に取り組める	課題と関連の低い会話や作業によって、あまり演習に取り組めない	コミュニケーションが乏しく、演習に取り組めない	演習に参加しない	

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	オリエンテーション	授業概要説明	授業の進め方の確認 自己目標の設定	シラバス確認	梶
2	エッセイの構造理解	エッセイの種類・形式	TED Talk を用いてエッセイの種類と形式を確認する	配布プリント確認 TED Talks等の視聴	梶

3	エッセイの作成手順(1)	アイデアを広げる	ブレインストーミング TED Talk を用いてリスニング、朗読演習	作成手順(1)確認 TED等、動画視聴	梶
4	エッセイの作成手順(2)	アイデアのマッピング	TED Talk を用いてシャドーイング、朗読演習	作成手順(2)確認 TED等、動画視聴	梶
5	エッセイの作成手順(3)	アウトライン	TED Talk を用いてアウトライン確認、朗読演習	作成手順(3)確認 TED等、動画視聴	梶
6	プレゼンテーション練習	視線や身振り等を意識しながら朗読演習	朗読演習したスクリプトをプレゼンするための練習	プレゼンテーション準備	梶
7	プレゼンテーション(朗読)	プレゼンテーションの実践	朗読およびプレゼンテーションの相互評価・意見交換	演習評価確認 課題・目標設定	梶
8	エッセイ作成(1)	英文作成演習	ブレインストーミング 英文作成の実践	エッセイのテーマに関わるアイデアの抽出	梶
9	エッセイ作成(2)	英作文演習	マップ 英文作成の実践	アイデアの整理(統合・削除等)	梶
10	エッセイ作成(3)	英作文演習	アウトライン 英文作成の実践	エッセイの全体像設定 情報やデータ等の収集	梶
11	エッセイ作成(4)	アウトラインの文章化	エッセイの流れ確認	エッセイの形式・内容確認 情報・データの整理	梶
12	エッセイ作成(5)	英文表現の確認	コロケーション等、自然な表現の確認	日本語の曖昧さ再考 正確な英文への変換	梶
13	エッセイのプレゼンテーション演習	エッセイの音読	発音やアクセント、リズムを意識し、音読練習	英文を音読しながら修正のうえ、エッセイを完成	梶
14	プレゼンテーション最終確認	(暗記による)音読	視線や身振り等を意識しながら音読演習	非言語メッセージを意識したプレゼンテーション	梶
15	最終プレゼンテーション	英文エッセイ紹介	プレゼンテーションの相互評価・意見交換、および設定目標の達成度評価	到達目標の達成度確認	梶

日付

6. 4.12 (金) 3
6. 4.19 (金) 3
6. 4.26 (金) 3
6. 5.10 (金) 3
6. 5.17 (金) 3
6. 5.24 (金) 3
6. 5.31 (金) 3
6. 6.14 (金) 3
6. 6.21 (金) 3
6. 6.28 (金) 3
6. 7. 5 (金) 3
6. 7.12 (金) 3
6. 7.19 (金) 3
6. 7.24 (水) 3
6. 7.26 (金) 3

教科書	資料はプリントで配布します
参考書	授業中に紹介します
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当

実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	梶 理和子：研究室25 rkazi@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	英語表現法Ⅰ	科目英語表記	English Expressions I		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 Ryan Stephen				
科目責任者氏名	Ryan Stephen				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	The goal of this course is to develop students' English fluency and build confidence. The focus of the course will be on speaking and listening. Students will work in pairs and practice the model conversations or information gap exercises. There will also be listening tasks that reinforce the language targeted for each chapter. The workbook drills for each chapter will reinforce the grammatical structure of the speaking tasks and will be assigned as homework. Students who have a positive attitude and are not afraid of making speaking mistakes will gain the most from this course.				
到達目標	To build on previous acquired knowledge to increase speaking/listening ability and increase confidence to communicate in English				
成績評価方法	After each unit is finished, students will take a Unit quiz - usually 4 quizzes in total. Quizzes will test students' grammar knowledge and listening comprehension ability. Quiz scores will then be averaged and combined with the participation score as described in the evaluation criteria section below.				
成績評価基準	<p>Final Grade will be an average of unit quizzes and participation scores:</p> <p>1. Unit Quizzes (80%) 2. Class participation (20%) (volunteers will receive a positive mark each class)</p> <p>A (100～90点)、B (89～80点)、C (79～70点)、D (69～60点)、F (59～0点)</p> <p>特に優れている (A)；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている (B)； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である (C)； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達 (D)； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない (F)；説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	We will finish as many units (8-13) as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include: 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating	We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include: 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) *Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.		We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include: 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) *Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.	Ryan

	<p>ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>				
2	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan
3	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan

	the book for each chapter.				
4	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan
5	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan
6	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced</p>			Ryan

	<p>functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			
7	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan
8	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and 	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 			Ryan

	<p>comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice : (chapter 11)</p> <p>5. Describing future activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice: (chapter 11)</p> <p>5. Describing future activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			
9	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <p>1. Describing and comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice : (chapter 11)</p> <p>5. Describing future activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <p>1. Describing and comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice: (chapter 11)</p> <p>5. Describing future activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan
10	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <p>1. Describing and comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <p>1. Describing and comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice: (chapter 11)</p> <p>5. Describing future</p>			Ryan

	<p>past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice : (chapter 11)</p> <p>5. Describing future activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			
11	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <p>1. Describing and comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice : (chapter 11)</p> <p>5. Describing future activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <p>1. Describing and comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice: (chapter 11)</p> <p>5. Describing future activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan
12	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <p>1. Describing and comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice : (chapter 11)</p> <p>5. Describing future</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <p>1. Describing and comparing people's actions (chapter 8)</p> <p>2. Describing ongoing past activities (chapter 9)</p> <p>3. Expressing past/future ability: (chapter 10)</p> <p>4. Medical examinations/advice: (chapter 11)</p> <p>5. Describing future activities/making plans: (chapter 12)</p> <p>6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills</p>			Ryan

	<p>activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13)</p> <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>are included in the book for each chapter.</p>			
13	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan
14	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) 	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan

	*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.				
15	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice : (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>	<p>We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describing and comparing people's actions (chapter 8) 2. Describing ongoing past activities (chapter 9) 3. Expressing past/future ability: (chapter 10) 4. Medical examinations/advice: (chapter 11) 5. Describing future activities/making plans: (chapter 12) 6. Offering help / indicating ownership: (chapter 13) <p>*Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.</p>			Ryan

日付

6.4.10 (水) 1・2
6.4.17 (水) 1・2
6.4.24 (水) 1・2
6.5. 1 (水) 1・2
6.5. 8 (水) 1・2
6.5.15 (水) 1・2
6.5.22 (水) 1・2
6.5.29 (水) 1・2
6.6. 5 (水) 1・2
6.6.12 (水) 1・2
6.6.19 (水) 1・2
6.6.26 (水) 1・2
6.7. 3 (水) 1・2
6.7.10 (水) 1・2
6.7.17 (水) 1・2

教科書	Side-by-Side Book 2B (with workbook). Pearson. ISBN 0132460200
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6/理学4/理学5/作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておこな	非該当

なければならない科目	
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	ライアン S. : ryan@human.kj.yamagata-u.ac.jp
備考	

授業科目	英語表現法 II	科目英語表記	English Expressions II		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 Brad Brooks				
科目責任者氏名	Brad Brooks				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	This course will focus on building English fluency. Every week, students will read news articles and participate in discussions where they will express their opinions.				
到達目標	By the end of this course, students should be able to use English to speak about a variety of topics.				
成績評価方法	<p>This course will consist heavily of speaking practice and building fluency in English. Those who give their best effort to speak English, ask questions, and are not afraid to make mistakes will benefit most from this class.</p> <p>Students should attend the skit presentations sessions, otherwise they don't get the full points of the final score.</p> <p>Grading: Discussion participation and preparation 80% Final Presentation 20%</p>				
成績評価基準	<p>A - All homework assignments are fully completed. Students can maintain and actively engage in discussions, share detailed opinions, and ask natural follow-up questions. Students proactively help prepare, write and do skits with their groups.</p> <p>B - Almost all homework assignments are fully completed. Students can usually maintain and engage in discussions, share their opinions using some details, and ask natural follow-up questions. Students proactively help prepare, write and do skits with their groups with a little extra support.</p> <p>C - Most homework assignments are fully completed. Students can mostly maintain and engage in discussions, share their opinions using a few details, and ask simple follow-up questions. Students help prepare, write and do skits with their groups with some extra support.</p> <p>D - Some homework assignments are fully completed. Students can sometimes maintain and engage in discussions, share their opinions using basic details, and ask very simple follow-up questions. Students help prepare, write and do skits with a lot of extra support.</p> <p>F - Only a few homework assignments are completed and/or only partially completed. Students need a significant amount of support to maintain and engage in discussions, share their opinions, and ask simple follow-up questions. Students need a lot of support from their group members to prepare, write and do skits with their groups.</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	Orientation				Brad
2	Topic 1	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
3	Topic 2	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
4	Topic 3	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad

5	Topic 4	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
6	Topic 5	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
7	Topic 6	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
8	Topic 7	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
9	Topic 8	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
10	Topic 9	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
11	Topic 10	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
12	Topic 11	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
13	Topic 12	Discussions about various topics in small groups. Remaining class time will be spent reading and preparing the topic for the next week.	Discussions	Prepare and read for the next discussions.	Brad
14	Preparation	Final Presentation preparation: Students will make groups and prepare a skit for their final presentation using one of the topics we discussed over the semester.	Preparation	Prepare for the final presentation.	Brad
15	Final Presentation	Final Presentation: In small groups, students will continue to prepare their unique skit, and then perform it.	Final Presentation	Work in groups to prepare and perform their skit.	Brad

日付
6. 9.24 (火) 1・2
6.10. 1 (火) 1・2
6.10. 8 (火) 1・2
6.10.15 (火) 1・2
6.10.22 (火) 1・2
6.10.29 (火) 1・2
6.11. 5 (火) 1・2
6.11.12 (火) 1・2
6.11.19 (火) 1・2
6.12. 3 (火) 1・2
6.12.10 (火) 1・2
6.12.17 (火) 1・2
6.12.24 (火) 1・2
7. 1. 7 (火) 1・2
7. 1.14 (火) 1・2

教科書	
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6／理学4／理学5／作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	Brad Brooks : bradleigh-brooks@hotmail.co.uk
備考	

授業科目	英語表現法Ⅱ	科目英語表記	English Expressions II		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 田中 亜矢子				
科目責任者氏名	田中 亜矢子				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	このコースでは、皆さんが今まで習得してきた基礎英文法をもとに実践的な英会話力の向上を目指します。筆記試験では求められないコミュニケーション能力を伸ばすため、皆さんが発話できるよう英語圏のゲームなどを用いたアクティビティを主体に授業を進めます。				
到達目標	学生は、基礎英語を使い、話すことを楽しみながらコミュニケーション会話能力を身につけることを目標とします。基礎的なフレーズの習得による発話能力を高めて行きましょう。				
成績評価方法	評価配分：授業への参加姿勢20% グループアクティビティへの参加態度30% レポート50%				
成績評価基準	到達目標：自分の考えを自分なりに表現できる 特に優れている：異文化多文化社会で多くの人から共感と支持を得られるような考えを提示できる 優れている：自分の考えを賛否に臆することなく述べることを果敢に挑戦できる 良好である：資料や根拠を自分なりに集め、ある程度自分の考えを展開できる 最低限の到達：乏しくとも自分なりの意見を述べるができる 目標に到達していない：自分なりの意見を述べるができない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	英会話で自己紹介 1トピック Family	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・日常会話（挨拶、天気等）の演習 ・家族メンバーを紹介するための演習	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
2	2トピック Food 3トピック Time	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・アメリカの食生活から異文化理解を進める ・数字の使い方を学ぶ	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
3	4トピック House & Home 5トピック Music	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・活きた英会話を音楽から学ぶ ・アメリカと日本の家族関係の違いを学ぶ	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
4	6トピック Transportation 7トピック Sports	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・海外の交通機関の利用方法を学ぶ ・自分の好きなスポーツを学ぶ	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
5	8トピック Numbers 9トピック Best Friends	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・海外での数字の扱い方を学ぶ ・アメリカで人間関係の構築の仕方を学ぶ	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
6	10トピック TV 11トピック Work	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・アメリカでの娯楽の楽しみ方を学ぶ	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中

		・アメリカでの仕事の仕方を学ぶ			
7	12トピック Vacation 13トピック School	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・欧米での休暇の過ごし方を考える ・学校の事を英会話で話す	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
8	14トピック Movie 15トピック Money	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・映画について英語で語る ・お金の使い方を英語で考える	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
9	16トピック Restaurant 17トピック Animal	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・お気に入りのレストランを英語で話す ・好きな動物について語る	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
10	18トピック Shopping 19トピック Health & Fitness	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・買い物について英語で語る ・健康について英語で話す	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
11	20トピック Fashion 21トピック Travel	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・好きなファッションについて英語で話す ・どこに旅行するかを英語で考える	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
12	22トピック Books, Magazines & Newspapers 23トピック Sickness	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・好きな活字媒体について英語で語る ・病気について英語で語る	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
13	24トピック Holidays 25トピック Fears	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・日本と海外のイベントを英語で考える ・恐怖について英語で話す	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
14	26トピック Dating 27トピック Marriage	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・日本と海外の恋愛観について英語で語る ・日本と海外の結婚観について英語で語る	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中
15	28トピック Beliefs 29トピック Crime	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・信仰について英語で学ぶ ・犯罪について英語で話す	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内で指定する	田中

日付

6. 9.24 (火) 1・2
6.10. 1 (火) 1・2
6.10. 8 (火) 1・2
6.10.15 (火) 1・2
6.10.22 (火) 1・2
6.10.29 (火) 1・2
6.11. 5 (火) 1・2
6.11.12 (火) 1・2
6.11.19 (火) 1・2
6.12. 3 (火) 1・2
6.12.10 (火) 1・2
6.12.17 (火) 1・2
6.12.24 (火) 1・2
7. 1. 7 (火) 1・2
7. 1.14 (火) 1・2

教科書

TOPIC TALK SECOND EDITION by David Martin

参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6／理学4／理学5／作業1
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教務学生課
備考	

授業科目	医療英会話	科目英語表記	Medical English Conversation		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 Brad Brooks				
科目責任者氏名	Brad Brooks				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	This course will focus on building English fluency about general health topics. In alternating weeks, students will read articles and participate in discussions, then will write skits to perform using the English and information they have learned.				
到達目標	By the end of this course, students should be able to use English to: 1. Talk about a variety of health topics. 2. Express their opinions and give advice. 3. Listen and respond accordingly to health-related inquiries.				
成績評価方法	This course will consist heavily of speaking practice and building fluency in English. Those who give their best effort to speak English, do the assignments, ask questions, and are not afraid to make mistakes will benefit most from this class. Students should attend the skit presentations sessions, otherwise they don't get the full points of the final score. Grading: Discussion participation and preparation 50% Skit Writing and Presentations 50%				
成績評価基準	A - All homework assignments are fully completed. Students can maintain and actively engage in discussions, share detailed opinions, and ask natural follow-up questions. Students proactively help prepare, write and do skits with their groups. B - Almost all homework assignments are fully completed. Students can usually maintain and engage in discussions, share their opinions using some details, and ask natural follow-up questions. Students proactively help prepare, write and do skits with their groups with a little extra support. C - Most homework assignments are fully completed. Students can mostly maintain and engage in discussions, share their opinions using a few details, and ask simple follow-up questions. Students help prepare, write and do skits with their groups with some extra support. D - Some homework assignments are fully completed. Students can sometimes maintain and engage in discussions, share their opinions using basic details, and ask very simple follow-up questions. Students help prepare, write and do skits with a lot of extra support. F- Only a few homework assignments are completed and/or only partially completed. Students need a significant amount of support to maintain and engage in discussions, share their opinions, and ask simple follow-up questions. Students need a lot of support from their group members to prepare, write and do skits with their groups.				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	Orientation			Prepare and read for the next discussions.	Brad
2	Topic 1	Discussions about various health and medical topics in small groups. Remaining class time will be spent in small groups preparing for the following week's skit presentations.	Discussion	Prepare for next lesson's skit.	Brad
3	Topic 1	Skit weeks will start with a short time for preparation followed by presentation of skits.	Skit Presentation	Prepare and read for the next discussions.	Brad
4	Topic 2	Discussions about various health and medical topics in	Discussion	Prepare for next lesson's skit.	Brad

		<p>small groups.</p> <p>Remaining class time will be spent in small groups preparing for the following week's skit presentations.</p>			
5	Topic 2	<p>Skit weeks will start with a short time for preparation followed by presentation of skits.</p>	Skit Presentation	Prepare and read for the next discussions.	Brad
6	Topic 3	<p>Discussions about various health and medical topics in small groups.</p> <p>Remaining class time will be spent in small groups preparing for the following week's skit presentations.</p>	Discussion	Prepare for next lesson's skit.	Brad
7	Topic 3	<p>Skit weeks will start with a short time for preparation followed by presentation of skits.</p>	Skit Presentation	Prepare and read for the next discussions.	Brad
8	Topic 4	<p>Discussions about various health and medical topics in small groups.</p> <p>Remaining class time will be spent in small groups preparing for the following week's skit presentations.</p>	Discussion	Prepare for next lesson's skit.	Brad
9	Topic 4	<p>Skit weeks will start with a short time for preparation followed by presentation of skits.</p>	Skit Presentation	Prepare and read for the next discussions.	Brad
10	Topic 5	<p>Discussions about various health and medical topics in small groups.</p> <p>Remaining class time will be spent in small groups preparing for the following week's skit presentations.</p>	Discussion	Prepare for next lesson's skit.	Brad
11	Topic 5	<p>Skit weeks will start with a short time for preparation followed by presentation of skits.</p>	Skit Presentation	Prepare and read for the next discussions.	Brad
12	Topic 6	<p>Discussions about various health and medical topics in small groups.</p> <p>Remaining class time will be spent in small groups preparing for the following week's skit presentations.</p>	Discussion	Prepare for next lesson's skit.	Brad
13	Topic 6	<p>Skit weeks will start with a short time for preparation followed by presentation of skits.</p>	Skit Presentation	Prepare and read for the next discussions.	Brad
14	Topic 7	<p>Discussions about various health and medical topics in small groups.</p> <p>Remaining class time will be spent in small groups preparing for the following week's skit presentations.</p>	Discussion	Prepare for next lesson's skit.	Brad

15	Topic 7	Skit weeks will start with a short time for preparation followed by presentation of skits.	Skit Presentation		Brad
日付					
6.4. 9 (火) 1・2 6.4.16 (火) 1・2 6.4.23 (火) 1・2 6.4.30 (火) 1・2 6.5. 7 (火) 1・2 6.5.14 (火) 1・2 6.5.21 (火) 1・2 6.5.28 (火) 1・2 6.6. 4 (火) 1・2 6.6.11 (火) 1・2 6.6.18 (火) 1・2 6.6.25 (火) 1・2 6.7. 2 (火) 1・2 6.7. 9 (火) 1・2 6.7.16 (火) 1・2					

教科書	
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6／理学4／理学5／作業4
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	Brad Brooks : bradleigh-brooks@hotmail.co.uk
備考	

授業科目	医療英会話	科目英語表記	Medical English Conversation		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 田中 亜矢子				
科目責任者氏名	田中 亜矢子				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業では、健康と医療の問題について英語のテキストを使い、英語と日本語を交え授業を行います。 ・日本と欧米での健康と医療についての考え方の違いを学びます。 ・医療用語（体と健康）も簡単なゲームやアクティビティ、パズルを使って楽しみながら取得していきます。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学生は、健康と医療の問題について英語で理解し、簡単な英語会話が出来るようになる。 ・学生は、外国人の患者に適切な英語で対応を考えることが出来るようになる。 				
成績評価方法	評価配分：授業への参加姿勢30%、グループアクティビティへの参加態度20%、レポート50%				
成績評価基準	<p>到達目標：自分の考えを自分なりに表現できる</p> <p>特に優れている：異文化多文化社会で多くの人から共感と支持を得られるような考えを提示できる</p> <p>優れている：自分の考えを賛否に臆することなく述べることを果敢に挑戦できる</p> <p>良好である：資料や根拠を自分なりに集め、ある程度自分の考えを展開できる</p> <p>最低限の到達：乏しくとも自分なりの意見を述べる事ができる</p> <p>目標に到達していない：自分なりの意見を述べる事ができない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	Orientation Lesson1	You Can to Be a Hundred	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
2	Lesson1 Lesson2	You Can Live to Be a Hundred Ten Ways to Prevent Cancer	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
3	Lesson2 Lesson3	Ten Ways to Prevent Cancer Smoking Tobacco Is Dangerous	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
4	Lesson3 Lesson4	Smoking Tobacco Is Dangerous The Environment and Your Health	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
5	Lesson4 Lesson5	The Environment and Your Health Exercise for Good Health	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
6	Lesson5 Lesson6	Exercise for Good Health Healthy Food for a Healthy Body	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
7	Lesson6 Lesson7	Healthy Food for a Healthy Body Alcohol Can Be Dangerous	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
8	Lesson7 Lesson8	Alcohol Can Be Dangerous Stress Can Ruin Your Health	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
9	Lesson8 Lesson9	Stress Can Ruin Your Health Obesity Is a Bad Thing	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
10	Lesson9 Lesson10	Obesity Is a Bad Thing Dental Care for Healthy Teeth	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中

11	Lesson10 Lesson11	Dental Care for Healthy Teeth The AIDS Crisis Concerns Everyone	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
12	Lesson11 Lesson12	The AIDS Crisis Concerns Everyone Depression:Don't Let It Get You Down	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
13	Lesson12	Depression:Don't Let It Get You Down	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
14	まとめ1	今まで学んで来た内容のまとめ 提出レポートの指導	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中
15	まとめ2	今まで学んで来た内容のまとめ 提出レポートの指導	・テキストによる演習 ・グループワーク	授業内に指定する	田中

日付

6.4. 9 (火) 1・2
6.4.16 (火) 1・2
6.4.23 (火) 1・2
6.4.30 (火) 1・2
6.5. 7 (火) 1・2
6.5.14 (火) 1・2
6.5.21 (火) 1・2
6.5.28 (火) 1・2
6.6. 4 (火) 1・2
6.6.11 (火) 1・2
6.6.18 (火) 1・2
6.6.25 (火) 1・2
6.7. 2 (火) 1・2
6.7. 9 (火) 1・2
6.7.16 (火) 1・2

教科書	Health talk – Health Awareness & English Conversation (MacMillan)
参考書	
ディプロマ・ ポリシーとの 関連	看護6/理学4/理学5/作業4
先修条件指定 科目	非該当
先修条件指定 科目において あらかじめ修 得しておかな ければならな い科目	非該当
実務経験のあ る教員	
実務経験をい かした教育内 容	
教員の連絡先	教務学生課
備考	

授業科目	実践英語	科目英語表記	Practical english		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 RYAN Stephen				
科目責任者氏名	RYAN Stephen				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	理学療法学科／作業療法学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	<p>In this course, students will develop their English fluency and formal speaking skills by doing discussions in small groups of 3-4 students. Students will be given a topic that they requires them to describe their opinions and ask others by using formal discussion phrases (class handout). There will be 3-4 topic discussions with different members of the class each lasting 10-15 minutes. There will be a group leader for each discussion and each group will write a speaking script to help with their discussion. During group preparation time, students can ask the teacher about difficult words or expressions they want to know to help form their opinions. After the discussion is finished, the teacher will review mistakes and give advice on how to improve.</p>				
到達目標	To be able to debate the merits and demerits of a topic by using formal English debate phrases in a small group.				
成績評価方法	<p>Each discussion is worth 35 points. Students will spend several classes in their small groups researching their topic, writing a speaking script and practicing it before performing it in front of the teacher for their grades. Students will be graded on how many times and how well they use the required phrases. Each phrase used correctly is worth 2 points for a maximum score of 35 points per student. Students will be receive penalty points for the following criteria:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 5 reading from script (paper) - 5 answers too easy, did not contribute enough to group, poor effort - 3 content too easy (you should research topic more deeply) - 3 unnatural use of phrases - 3 poor grammar or pronunciation - 3 too much silence, discussion does not flow well - 3 poor eye contact (i.e.holding paper, reading from iPhone etc) - 2 low voice/unclear 				
成績評価基準	<p>Each discussion = 35 points</p> <p>Student discussion points / Total discussion points = Final score</p> <p>e.g. (4 Discussions: 24+28+30+32) 114 / 140 = 81% (B)</p> <p>A (100～90点)、B (89～80点)、C (79～70点)、D (69～60点)、F (59～0点)</p> <p>特に優れている (A)；適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている (B)； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である (C)； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達 (D)； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない (F)；説明できない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	1.Class Introduction. Handouts.	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan

			discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.		
2	2. Phrases handout explanation/ pronunciation /Topic 1 preparation start	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
3	3. Topic 1 group preparation	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
4	4. Topic 1 grammar check/speaking practice check	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
5	5. Start/Finish Topic 1 discussion	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan

		discussion phrases in a formal discussion format.	members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.		
6	6.Topic 2 introduction handout/new groups/preparation	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
7	7. Topic 2 group preparation	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
8	8. Topic 2 grammar check/speaking practice check	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan

9	9. Start/Finish Topic 2 discussion	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
10	10-14 continued	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
11	10-14 continued	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
12	10-14 continued	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan

			After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.		
13	10-14 continued	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
14	10-14 continued	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan
15	15 Finish Topic 3/Final written discussion report or test	Content of each class will be based on the assigned discussion topic. Students will also need to show competency using the discussion phrases in a formal discussion format.	Students will be given a topic that they will have to research and bring the information to their group of 2-4 people. You will have 3-5 discussions with different members of the class lasting about 10-20 minutes. There will be a group leader for each discussion. It is important to write down your discussion script and practice it orally before being graded by the teacher. After the discussion, is finished, the teacher will review your mistakes and offer advice on how to improve.	Students will need to research their topic outside of class and bring their information and opinions back to their groups each class.	Ryan

日付

6. 9.25 (水) 2
6.10. 2 (水) 2
6.10. 9 (水) 2
6.10.16 (水) 2
6.10.23 (水) 2
6.10.30 (水) 2
6.11. 6 (水) 2

6.11.13 (水) 2
 6.11.20 (水) 2
 6.11.27 (水) 2
 6.12. 4 (水) 2
 6.12.11 (水) 2
 6.12.18 (水) 2
 6.12.25 (水) 2
 7. 1. 8 (水) 2

教科書	なし. Print outs will be distributed each week.
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	理学4/理学6/作業4
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	ライアン S. : ryan@human.kj.yamagata-u.ac.jp
備考	

授業科目	韓国語	科目英語表記	Korean		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 権 純縣				
科目責任者氏名	権 純縣				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	<p>韓国語入門編として、はじめに韓国語の言語体系と固有文字한글(ハングル)誕生の経緯を解説します。 次に한글(ハングル)の仕組みと特徴を押さえ、한글(ハングル)の母音と子音のスペルと発音を学習します。 その後、発音規則を学び、한글(ハングル)の読み書きに慣れてきたところで、韓国語による挨拶語や自己紹介など基本的な会話を習得します。 数詞は漢数詞を用いて、日付や生年月日などが韓国語で言えるように練習します。 また、隣国理解が深まるよう、折にふれ韓国の歴史文化や伝統習慣、タイムリーな話題などを取り上げます。</p>				
到達目標	<p>①한글(ハングル)の読み書きが正確にできるようになる ②韓国語で基本的な挨拶や会話のやり取り、自己紹介ができるようになる ③漢数詞を用いて日付や生年月日、電話番号などが言えるようになる ④韓国の歴史文化や半島情勢について関心を深め、多文化理解につながる多様な視点と考察力を身につける</p>				
成績評価方法	<p>授業内小テスト 80% ※既習内容の整理と振り返りを兼ねて、各授業項目ごとの小テスト(含. 口頭試験)を実施します 期末試験はおこないません 授業内活動 20% ※授業中の発音練習をはじめロールプレイ学習などへの熱心な取り組みを評価します</p>				
成績評価基準	<p>特に優れている： 한글の読み書きが正確に自在にでき、韓国語による基本的な挨拶や会話のやり取りがスムーズにできる 優れている： 한글の読み書きが正確にでき、韓国語による基本的な挨拶や会話のやり取りができる 良好である： 한글の読み書きに多少の間違いはあるが、韓国語による基本的な挨拶や会話のやり取りがある程度できる 最低限の到達： 한글の読み書きはたどたどしいが、韓国語による基本的な挨拶や会話のやり取りがどうにかできる 目標に達していない： 한글の読み書きもままならず、韓国語による基本的な挨拶や会話のやり取りができない</p>				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	ガイダンス	(1)授業の内容と流れの確認 (2)成績評価や試験についての説明 (3)授業担当者の紹介も兼ね、韓国の「姓名」について解説	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)</p>	権
2	韓国語の言語体系と한글(ハングル)の仕組み	(1)韓国語の言語体系と固有文字한글(ハングル)誕生の経緯を学ぶ (2)한글(ハングル)の仕組みと特徴を押さえる	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)</p>	権
3	韓国語の文字と発音 ①	単母音 = 基本母音のスペルと発音を学習する	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく</p>	権

				習しておく (目安時間30分)	
4	韓国語の文字と発音 ②	二重母音 = 複合母音のスペルと発音を学習する	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)</p>	権
5	韓国語の文字と発音 ③	子音三種「平音・激音・濃音」それぞれの特徴を押さえ、基本子音 = 平音のスペルと発音を学習する	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)</p>	権
6	韓国語の文字と発音 ④	激音と濃音のスペルと発音を学習する	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)</p>	権
7	韓国語の文字と発音 ⑤	母音と子音を正しく組み合わせ、練習語句で読み書きの練習をする	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)</p>	権
8	発音規則①	終声音節 = 받침(パッチム)の代表7音のスペルと発音を学習する	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)</p>	権
9	発音規則②	連音 = liaison(リエゾン)を学習する	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)</p>	権
10	発音規則③	鼻音化・激音化・舌側音化・濃音化を学習する	講義	<p>〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分)</p> <p>〈復習〉 宿題のほか、既習内</p>	権

				内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)	
11	日本の固有名詞の 한글(ハングル)表記法	한글(ハングル)で氏名や地名を書き出し、ネームカードを作成する	講義	〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分) 〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)	権
12	自己紹介	自己紹介について「導入の挨拶、氏名、大学・学部名、学年・結びの挨拶」の表現とやり取りを学習する	講義	〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分) 〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)	権
13	漢数詞	漢数詞を用いて、日付や生年月日、電話番号などが言えるよう練習する	講義	〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分) 〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)	権
14	韓国事情	韓国映画を鑑賞する	講義	〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分) 〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)	権
15	体言文・総括	体言＝名詞文「～は～です／ですか」の文型を学習し、名詞を使った基本的な会話能力を身につける 既習内容を整理し、これまでのフィードバックを行う	講義	〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次回の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間30分) 〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間30分)	権

日付

6.4. 8 (月) 1
6.4.15 (月) 1
6.4.22 (月) 1
6.5.13 (月) 1
6.5.20 (月) 1
6.5.27 (月) 1
6.6. 3 (月) 1
6.6.10 (月) 1
6.6.17 (月) 1
6.6.24 (月) 1
6.7. 1 (月) 1
6.7. 8 (月) 1
6.7.22 (月) 1
6.7.23 (火) 1
6.7.29 (月) 1

教科書	教科書：「みんなで学ぶ韓国語 文法編」金眞/柳圭相/芦田麻樹子著 朝日出版社
参考書	参考図書：「ハングルの世界」(金両基著 中公新書)・「確認しながら覚える韓国語基本単語集」(朝日出版社)・「朝鮮 ―民族・歴史・文化―」(金達寿 岩波新書)・ 「在日」(姜尚中著 講談社)・
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	権 純縣：k.soonhyun-0221@ezweb.ne.jp
備考	

授業科目	中国語	科目英語表記	Chinese		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 劉 含発				
科目責任者氏名	劉 含発				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	1単位
授業概要	中国の共通語の基礎的運用能力を、易しい会話の材料を使って、主に聞き・話す側面に重点を置いて養成します。中国語の音に慣れ親しむために、中国のさまざまな文化にも触れます。				
到達目標	①中国語のピンインが読めるようになること ②中国語で挨拶や自己紹介ができること。 ③基本的な会話のやり取りと文章表現ができる。				
成績評価方法	中間テスト:発音と筆記20点 定期テスト:筆記とリスニング 80点				
成績評価基準	特に優れている:発音が非常に良い、文法が良く理解できる。 優れている :発音が良い、文法が理解できる。 良好である :基本的な発音ができる。文法がほぼ理解できる。 最低限の到達 :発音が良くない、翻訳ができる。 目標に到達していない:発音が非常に悪い、文法が理解できない。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	ガイダンス	中国語の概要・声調練習・挨拶	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
2	単母音/複母音	母音、簡単な挨拶、数字の発音練習	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
3	鼻母音の発音・自己紹介	鼻母音の発音練習、第1課本文の音読	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
4	子音・自己紹介をする	発音練習、自己紹介の練習・ドリル	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
5	子音・所有の表現	発音練習 & 第2課	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
6	発音総復習 & 所有表現	発音の総復習 & 1 & 2 課の会話練習	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
7	第3課 家族の紹介	会話練習 音読・ドリル	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
8	第4課 場所の表現	会話練習とドリル	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
9	復習・発音テスト	1～4課の復習・発音テスト	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
10	第5課 年月日	本文の音読・会話練習	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
11	第6課 時間	本文の音読・会話練習	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
12	第7課 可能の表現	5 & 6 のドリル解答 可能表現の練習	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
13	第9課 「～が好き」	本文の理解・音読・会話練習	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
14	7 & 9 課の復習	総復習	講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉

15	テスト		講義、演習	授業の時に予習と復習の内容を示します	劉
日付					
6. 9.30 (月) 2 6.10. 7 (月) 2 6.10.21 (月) 2 6.10.28 (月) 2 6.11.11 (月) 2 6.11.18 (月) 2 6.12. 2 (月) 2 6.12. 9 (月) 2 6.12.16 (月) 2 6.12.23 (月) 2 7. 1. 6 (月) 2 7. 1.20 (月) 2 7. 1.21 (火) 2 7. 1.22 (水) 2 7. 1.27 (月) 2					

教科書	『しゃべっていいとも 中国語 中西君と一緒に中国へ行こう!』 陳淑梅・劉光赤 著 朝日出版社 辞書：小学館 『プログレッシブ中国語辞典』、日中・中日が入っている電子辞書など
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護6
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	劉 含発：Liuhanfa@hotmail.com
備考	

授業科目	アカデミックリテラシー	科目英語表記	Academic Literacy		
職名、担当教員氏名	教授 安保 寛明 助教 丸山 香織 助教 渡邊 礼子 助教 齋藤 愛依 助教 栗田 敦子 助教 佐藤 志保 助教 前田のぞみ 助教 鈴木 龍生 助教 富樫 理恵 助教 貝野瀬友希 助手 小松 良子				
科目責任者氏名	安保 寛明				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	論理的思考力を獲得するための論理的記述法、様式の整理、校閲、データベースの活用、プレゼンテーションに関する基本的技能を講義と演習によって教授する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・序論・本論・帰結（結論）がある、主述の記法、接続詞、事実性、文献引用と出典の記載などの基本的展開を理解して記述できる。 ・一次資料や論文における事実関係の程度を把握でき、資料の引用における適切な記法を活用できる。 ・図表、レポートにおけるレイアウトが適切に記載できる。 ・論文データベース、統計データベースを活用したプレゼンテーションを行える。 ・データベースをデータの種類に応じて活用することができる。 				
成績評価方法	レポート課題（30%）、プレゼンテーション課題（25%）、演習課題（20%）、定期試験（25%）で構成される。				
成績評価基準	到達目標に対応した課題を設定する。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	論理的であることの意味	論理的な記述の構成要素	講義を受講し、その講義に関する発見を各自で記入・記述する	復習を行うことを推奨する。	安保寛明
2	論理的記述（1）	論理的記述の構成要素について、講義をもとに具体的に推敲をおこなう。 ・序論・本論・帰結（結論） ・主述の対応、能動態と受動態 ・接続詞、事実性、文献引用と出典	講義	講義時間内に演習を行うため、その内容に関する復習を行うことを推奨する。	安保寛明
3	論理的記述（2）	論理的記述に関する事項のうち、以下の内容を扱う。 ・事実関係の把握 ・資料の引用における事実関係の程度と記述 ・複数資料の比較	講義	レポート課題を課す予定である。	安保寛明 助教担当教員
4	論理的記述（3）・書式の統一	論理的記述として、以下の項目を取り扱う。 ・書式の統一 ・図表の記載方法、 ・一般的な論文のレイアウト ・引用の範囲と記法	講義	講義の内容について復習を行うことを推奨する。	安保寛明
5	校閲する・データベースを活かす1	公開されている文章を校閲したり推敲したりする際の視点を扱う。 また、本学で活用可能なデータベースについて取り扱う。	講義	講義の内容を踏まえて自習することが望ましい。 レポート課題の提出期限	安保寛明

		・論文データベースの活用 ・統計データベースの活用			
6	データベースを活かす2・事実関係をもとに考察する	データベースなどを活用したデータを記述するときの記法や考察について取り扱う。	講義	講義の内容をもとに復習を行うことを推奨する。	安保寛明
7	プレゼンテーション	プレゼンテーションを行う際の構成要素	講義	プレゼンテーション課題	安保寛明
8	プレゼンテーションの活用	他者のプレゼンテーションの活用方法	他者のプレゼンテーションをもとにして考察を深める方法	講義をもとに課題に取り組む	安保寛明

日付

6.4.10 (水) 3
6.4.17 (水) 3
6.4.24 (水) 3
6.5. 8 (水) 3
6.5.22 (水) 3
6.6.12 (水) 3
6.6.19 (水) 3
6.7. 3 (水) 3
6.7.17 (水) 3 (予備)

教科書	なし (講義資料を用いる)
参考書	水戸美津子, ナースのためのレポートの書き方 中央法規出版, 2020年
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護7
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	安保寛明 (研究室15)
備考	コンピュータを活用した演習がありますので、環境面の準備をしてください。

授業科目	情報科学・情報リテラシー	科目英語表記	Information Sciences and Information Literacy		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 常松 佳恵				
科目責任者氏名	常松 佳恵				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科／理学療法学科／作業療法学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	情報リテラシー（コンピュータに関わる基本スキル）を実際にコンピュータに触れつつ、習得する。				
到達目標	1 Wordを使い、グラフや図の作製、レポートや論文の作成ができる。 2 Excelを使い、表計算、グラフの作成ができる。 3 Power Pointにより、プレゼンテーションができる。 4 インターネットを悪用した犯罪に関する知識と自らの環境を守るセキュリティー技術を身につける。				
成績評価方法	授業ごとに提出される課題について評価する。				
成績評価基準	課題の評価については、到達目標1－4を満たしていることを基準とする。 特に優れている（A）適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている（B）根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である（C）根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達（D）根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない（F）説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンス、Eメールの送信方法と礼儀、タイピング	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
2	ファイル・フォルダの構成	ファイル・フォルダの構成、拡張子、PCのお手入れ方法	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
3	Wordの基本操作	ワードの基本操作、図形の挿入法	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
4	ペイントでのお絵かき	自分の似顔絵作成	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
5	Wordによる表・数式作成	ワード上での表の作成、数式入力	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
6	Wordによる論文作成(1)	論文の構成、フォーマットの使用方法	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
7	Wordによる論文作成(2)	引用文献の検索と書き方	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
8	Excelによる表作成	表の作成	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
9	Excelによるグラフ作成	グラフの作成	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
10	Excelによる統計処理(1)	基本的な関数	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
11	エクセルによる統計処理(2)	フィルター、ソート、エクセルの便利な使い方	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
12	Power Pointによるスライド作成	パワーポイントの構成、デザイン、お絵かき	演習	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
13	Power Pointによるプレゼンの方法	プレゼンテーション	プレゼンテーションとその評価	授業の資料を参考に復習を行うこと。	常松

14	コンピュータのセキュリティ(1)	セキュリティに関する基礎知識	講義・グループ討論	授業の資料を参考に復習を行うこと。	常松
15	コンピュータのセキュリティ(2)	セキュリティ対策と技術	講義・各自でのまとめ	授業の資料を参考に課題を行い、復習を行うこと。	常松
日付					
6.4.12 (金) 1 6.4.19 (金) 1 6.4.26 (金) 1 6.5. 1 (金) 4 6.5.10 (金) 1 6.5.24 (金) 1 6.5.31 (金) 1 6.6.14 (金) 1 6.6.21 (金) 1 6.6.28 (金) 1 6.7. 5 (金) 1 6.7.12 (金) 1 6.7.19 (金) 1 6.7.24 (水) 1 6.7.26 (金) 1					

教科書	授業資料と課題はUNIPA上に掲載します。
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護7/理学1/理学5/作業3
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	常松 佳恵 : kae_tsunematsu@sci.kj.yamagata-u.ac.jp 山形市小白川 1 - 4 - 1 2 山形大学理学部
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・USBメモリーを各自購入して持参してください。容量は数GBあれば十分です。 ・PCの起動に時間がかかる場合がありますので、教室に到着したらPCのスイッチを入れ、授業資料を確認してください。

授業科目	問題解決思考	科目英語表記	How to Practice the Problem Solving(The Open University of Japan)		
職名、担当教員氏名	秋光 淳生（放送大学准教授）、柴山 盛生（放送大学客員准教授）				
科目責任者氏名	放送大学				
学内連絡教員氏名	遠藤恵子				
学科／分野	看護学科	学年	2年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	後期	単位数	2単位
授業概要	放送大学が開講する「問題解決の進め方（'19）」をオンデマンドで履修する。「問題解決の進め方（'19）」問題とは何か、どう発見し、どう解決するか、そのために必要な情報をどのように収集・整理し分析するかといった一連の過程を通し解決策を見いだす科学的技法を、様々な分野からの問題発見と解決の具体的な事例とともに紹介する。この考え方を応用し生涯に渡り主体的に学ぶことを、そして、多様な協働して学び活用するスキルを身につけることを目指す。				
到達目標	放送大学のシラバスを参照 放送大学における学びをスタートするにあたり、学びの心構えとその有効性について学ぶ。そして仕事や生活に活用できることを目標として、ものの見方、考え方とともに実践的な知識を習得する。				
成績評価方法	放送大学のシラバスを参照				
成績評価基準	放送大学のシラバスを参照				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	問題とは	社会が急速に変化する中で社会で求められている力について述べる。そして、「問題」や「目標」といったいくつかの概念について、その定義を述べる。	講義	授業内容を復習してください。	秋光 淳生
2	問題を見つける	問題とは現状とあるべき姿とのギャップであり、その差を埋めることが問題解決である。では、どのように問題を見つけ、どのように解決をしていくのだろうか。この回は問題解決のプロセスについて概観したのち、問題の見つけ方として、現状分析や問題意識について述べる。	講義	授業内容を復習してください。	秋光 淳生
3	目標を設定する	具体的な目標を設定し、解決する際に行動を制限する制約条件について述べる。また、解決策を検討するための方法について述べる。	講義	授業内容を復習してください。	秋光 淳生
4	情報を収集して整理する	問題解決においては、関連する情報を探して集め、それらを目的に応じて整理することが必要である。はじめに収集の目的、外部資料の活用について考えた後、情報を作り出す方法、外部情報の活用の仕方、情報検索の方法について学習し、最後に、整理の仕方、考え方、集めた情報の検討などについて理解する。	講義	授業内容を復習してください。	柴山 盛生
5	数値情報を扱う	頭の中にある事柄をデータとして形にすると、人との共有や分析を行うことができる。そして分析を通じて問題解決や発見に資する特徴を導くこ	講義	授業内容を復習してください。	秋光 淳生

		とも可能になる。そこで、数値データの扱いについて学ぶ。			
6	図解化して見る	問題を解決する過程で有効な表現方法の一つに図解がある。図解により問題の全体像や個々の課題の位置関係が分かる。また、自分が考えた内容を短時間で他人に理解してもらうこともできる。口頭で説明したり文章化したりするのが難しいものでも図解化するならば一目で理解できるものが多い。その図解化の考え方、描き方を学習する。	講義	授業内容を復習してください。	柴山 盛生
7	分析的に考える	問題解決においては、様々な事柄を分析してある目標に向けた解決手順を考える。そのために必要な考え方である演繹的推論、帰納的推論、確率判断、意思決定による進め方などを学習する。さらに、物事を選択するため、ゼロベースの視点からの議論を行ったりブレークスルーを発見したりする意思決定を進めながら考える方法を考える。	講義	授業内容を復習してください。	柴山 盛生
8	学習記録と振り返り	問題は個人で処理するものと組織で対処する場合がある。ここでは、前半のまとめとして個人での問題解決に焦点をあてて、特に記録と振り返りについて考える。	講義	授業内容を復習してください。	秋光 淳生
9	発想を広げる	分析的に進める方法とは異なる発想のアプローチを考える。問題の解決策を導く上で、アイデアを出すために物事を発散的に考えたり、通常の関係とは異なる結びつきを考えたりすることを繰り返して発想を広げる方法を学ぶ。ここでは発想に関して、概念、知識、連想などについて説明し、それを基礎とした発想を広げる手法を紹介する。	講義	授業内容を復習してください。	柴山 盛生
10	組織での進め方(1)	組織で問題を解決すると、個人よりも広範囲の問題について解決を進めることができる。また、組織で問題を解決すると継続的に、かつ安定的に問題解決を繰り返し取り組むことができる。個人と組織では問題解決の手法の組み合わせが異なる。グループワークではその推進役であるファシリテーターが重要な役割を持っている。ここでは、組織で問題解決を実施するにあたっての実践的な心構えについて学ぶ。	講義	授業内容を復習してください。	門奈 哲也
11	組織での進め方(2)	複数の人数でアイデア出しをする場合、色々な意見が出て収集が付かなくなることがある。またその逆に、見知らぬ相手と実施すると遠慮しがちになり意見が出ないこともある。ここでは、グループワークの進め方について、手法を活用して効果的なアイデアの	講義	授業内容を復習してください。	門奈 哲也

		出し方、手法、評価・選定方法について学習する。			
12	組織での進め方 (3)	問題を解決するにしても、まず問題を正しく理解しなければ適切な解決ができない。また、組織で問題解決するにはメンバー全員が問題の本質を理解し共有できている必要がある。この回では、問題を確実に認識すること、問題の本質をつかむ方法、あいまいな問題設定の場合の問題の見つけ方、そしてグループでの問題の共有の方法について、システム思考とデザイン思考について学習する。	講義	授業内容を復習してください。	門奈 哲也
13	集団の意思決定とコミュニケーション	多くの人が集まって議論すればそれだけ多様な意見に触れることができるように見える。しかし、集団での意思決定が個人での意思決定よりも絶えず良い結果となるかという点必ずしもそうではない。	講義	授業内容を復習してください。	秋光 淳生
14	解決策を実行する	問題解決に向けて、解決策を実行する。開始にあたって、役割分担、スケジュールの策定など実施計画を検討する。また、実行している途中での計画の進捗状況を把握する方法や、途中での評価、新たに生じた問題への対処などについて考える。ここでは、効果的な問題解決策の進め方を学ぶ。	講義	授業内容を復習してください。	柴山 盛生
15	評価する	問題は解決できたのか、またどの程度目標が達成したのかを判断するための評価方法を学習する。ここでは、評価の対象や種類およびいくつかの数量的でない評価方法や数量的な評価法などの理論と手順について説明するとともに、それらに対応した例を考える。最後にこの科目のまとめを行う。	講義	授業内容を復習してください。	講師全員
日付					

教科書	放送大学テキスト
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護7
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	

実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	教育担当補助教員 看護学科 遠藤恵子 研究室20 kendo@yachts.ac.jp
備考	

授業科目	地元（やまがた）探求Ⅰ	科目英語表記	Home community(Yamagata) basic explorationⅠ		
職名、担当教員氏名	助教 佐藤 志保 助教 鈴木 龍生 教授 菅原 京子				
科目責任者氏名	佐藤 志保				
学内連絡教員氏名					
学科／分野	看護学科	学年	1年		
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	地元（やまがた）で暮らす人々の生活を複数の視点によるアプローチから地元を理解し、学生個々人の地元に対する愛着を深めることを目的とする。				
到達目標	1-1. 地元（やまがた）の強み・弱みと課題について、歴史、食文化など複数の視点によるアプローチから理解したことを踏まえ、自分の言葉で説明できる 2-1. 大学周辺の地区について、グループメンバーとチームで調査することができる 2-2. 地区踏査を行って気づいた、地元（やまがた）の強み・弱み、課題について、まとめることができる 2-3. 地区踏査を通しまとめた内容について、効果的なポスター発表をすることができる 3-1. 自分にとっての地元とは何かを説明できる 3-2. 自分にとっての地元を探究する意義を自分の言葉で説明できる				
成績評価方法	ミニレポート10% 到達目標 1-1 を評価 レポート30% 到達目標 1-1、2-2、3-1～2 を評価 ミニツッペーパー20% 到達目標 1-1、2-1 を評価 プレゼンならびにポスター20% 到達目標 2-1～3 を評価 調査や発表への参加態度20% 到達目標 2-1～3 を評価				
成績評価基準	到達目標 1-1～3-2 特に優れている : 内容を理解し、論理的に正しく、かつ明確に十分説明できる 優れている : 内容を理解し、論理的に正しく、かつ明確に概ね説明できる 良好である : 内容を理解し、論理的に正しく概ね説明できる 最低限の到達 : 一部不十分なところもあるが、ある程度説明できる 目標に達していない : 説明できない				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	地元（やまがた）を探求するとは	・地元の用語に関連する概念 ・地元を探求する意義	講義	ミニレポート（800字以上）	佐藤志保
2	地元（やまがた）の文化の特徴・1	歴史的視点からみた地元（やまがた）の生活の特徴	講義	事後学習：外部講師の講義からの学びや気づきを整理する。	スポット講師
3	地元（やまがた）の文化の特徴・2	食文化的視点からみた地元（やまがた）の生活の特徴	講義	事後学習：外部講師の講義からの学びや気づきを整理する。	スポット講師
4	地元探求（住民の暮らしと文化について）	1. オリエンテーション 地区踏査の方法・実施上の注意 2. 大学周辺の地域を調査するにあたり、地域を選定する。 グループで、調査内容など企画・立案する	1-1. 講義 2-1. グループワーク	事前学習：地区踏査に向けて、大学周辺の地理や歴史などについて調べておく。	佐藤志保 鈴木龍生
5	地元探求(地区踏査)	・計画に基づき、大学周辺を地区踏査し、地元の強み・弱み、課題について探究する ・調査結果をまとめ、発表用ポスターを作成する	グループワーク	地区踏査を行っての気づきを整理する。	佐藤志保 鈴木龍生
6	地元探求(地区踏査)	調査結果をまとめ、発表用ポスターを作成する	グループワーク	必要時、第7講までにグループごと地区踏査の結果を整理	佐藤志保 鈴木龍生

				する	
7	地元探求(まとめと発表)	地区踏査の結果から、地域住民の暮らしと文化についてまとめる。	グループワーク	自分の地元の強み・弱みを考察する。	佐藤志保 鈴木龍生
8	地元探求(まとめと発表)	第7回でまとめた内容を発表する。	グループワーク 全体プレゼンテーション	レポート(1200字以上)	佐藤志保 鈴木龍生

日付					
6.4.12(金) 3					
6.5. 1(水) 3					
6.5.24(金) 3					
6.5.24(金) 4					
6.5.31(金) 3					
6.5.31(金) 4					
6.6.14(金) 3					
6.6.14(金) 4					

教科書	特にありません。
参考書	参考図書は講義の中で随時紹介します。
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護5
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	佐藤志保：第1共同研究室 ssato@yachts.ac.jp 鈴木龍生：第1共同研究室 rsuzuki@yachts.ac.jp 菅原京子：第7研究室 ksugawara@yachts.ac.jp
備考	グループでの演習があるので、健康に留意し休まず参加できるようにしましょう。

授業科目	地元（やまがた）探求Ⅱ		科目英語表記	Home community(Yamagata) basic explorationⅡ		
職名、担当教員氏名	助教 佐藤 志保 助教 鈴木 龍生 教授 安保 寛明					
科目責任者氏名	佐藤 志保					
学内連絡教員氏名						
学科／分野	看護学科	学年	1年			
科目区分	総合基礎	必修・選択の別	必修			
授業形態	講義／演習	開講時期	後期	単位数	1単位	
授業概要	地元貢献することとキャリアデザインの意義を理解し、自らのキャリアをデザインすることを目的とする。					
到達目標	1-1. 地元（やまがた）の生活に密着した医療について、自分の言葉で説明できる 1-2. 地元（やまがた）の医療の課題について、検討することができる 2-1. 看護職として地元貢献する意義と役割について、自分の言葉で述べることができる 3-1. 先輩看護職のキャリアを分析し、自らのキャリアデザインに活かすことができる 3-2. 自らのキャリアをデザインし、人前で発表することができる					
成績評価方法	ミニレポート①、②20% 到達目標 1-1～2、2-1を評価 レポート30% 到達目標 2-1、3-1～2を評価 ミニツツペーパー10% 到達目標 1-1、2-1を評価 プレゼン内容20% 到達目標 3-1～2を評価 グループ討議や発表への参加態度20% 到達目標 3-1～2を評価					
成績評価基準	到達目標 1-1～3-2 特に優れている : 内容を理解し、論理的に正しく、かつ明確に十分説明できる 優れている : 内容を理解し、論理的に正しく、かつ明確に概ね説明できる 良好である : 内容を理解し、論理的に正しく概ね説明できる 最低限の到達 : 一部不十分なところもあるが、ある程度説明できる 目標に達していない : 説明できない					

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	キャリアデザインとは・1	・キャリアデザインとは何か ・自己のキャリアデザインについて関心を持つ	講義	ミニレポート①（800字以上）	佐藤志保 鈴木龍生
2	キャリアデザインとは・2：地元（やまがた）の医療福祉関連事情	・地元貢献するとはどういうことか？ ・地元の生活に密着した医療福祉に関連する施設について ・各施設の果たす役割について	講義	ミニレポート②（800字以上）	佐藤志保 鈴木龍生
3	地元で働くというキャリアデザイン・1	・地元で働くことの意義と働くことでわかる地元の特徴を知る ・卒業生等（看護師・助産師・保健師）から、地元で働くことの意義を語ってもらい、講師と意見交換をする ・看護師・保健師・助産師が勤務する場所について	講義 グループワーク	事後学習：外部講師の講義からの学びや気づきを整理する。	スポット講師
4	地元で働くというキャリアデザイン・2	・地元で働くことの意義と働くことでわかる地元の特徴を知る ・卒業生等（看護師・助産師・保健師）から、地元で働くことの意義を語ってもらい、講師と意見交換をする ・看護師・保健師・助産師が勤務する場所について	講義 グループワーク	事後学習：外部講師の講義からの学びや気づきを整理する。	スポット講師

5	地元で働くというキャリアデザイン・3	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で働くことの意義と働くことでわかる地元の特徴を知る ・卒業生等（看護師・助産師・保健師）から、地元で働くことの意義を語ってもらい、講師と意見交換をする ・看護師・保健師・助産師が勤務する場所について 	講義 グループワーク	事後学習：外部講師の講義からの学びや気づきを整理する。	スポット講師
6	地元で働くというキャリアデザイン・4	地元住民の生活に関連した職種から活動内容を聞く	講義 グループワーク	事後学習：外部講師の講義やグループワークからの学びや気づきを整理する。	スポット講師
7	キャリアをデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で生活する意義を学生自身が改めてまとめ発表する ・学生同士の意見交換をとおして理解を深める *グループ内プレゼン 	講義 グループワーク	事後学習：講義やグループワークからの学びや気づきを整理する。	佐藤志保 鈴木龍生
8	キャリアをデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で生活する意義を学生自身が改めてまとめ発表する ・学生同士の意見交換をとおして理解を深める ・まとめ *グループ内プレゼン 	講義 グループワーク	レポート（1200字以上）	佐藤志保 鈴木龍生

日付

教科書	特にありません。
参考書	講義の中で随時紹介します。
ディプロマ・ポリシーとの関連	看護5
先修条件指定科目	非該当
先修条件指定科目においてあらかじめ修得しておかなければならない科目	非該当
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	佐藤志保：第1共同研究室 ssato@yachts.ac.jp 鈴木龍生：第1共同研究室 rsuzuki@yachts.ac.jp 安保寛明：研究室15 hambo@yachts.ac.jp
備考	スポット講師が担当する授業が複数あります。様々な話をさくことができる貴重な機会なので、体調管理に留意し、欠席しないようにしましょう。